

各 務 原 市
子ども・子育て支援に関する
ニーズ調査報告書

調査結果報告書

令和6年3月
各務原市

内容

I. 調査概要	1
調査の目的	1
調査の設計	1
調査票の配布と回収状況	1
報告書の見方について	2
II. 調査結果（就学前児童）	3
お住まいの地域について	3
お子さんご家族の状況について	3
育児環境について	5
お子さんの保護者（母親）の就労状況について	11
お子さんの保護者（父親）の就労状況について	16
お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	18
お子さんの地域の子育て支援拠点事業の利用状況について	26
お子さんの土曜日・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	33
お子さんの病気の際の対応について（平日の教育・保育事業を利用する方のみ）	38
お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	45
【お子さんが5歳以上の方】小学校就学後の放課後の過ごし方について	56
【すべての方】育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	70
その他のことについて	74
III. 調査結果（小学生）	80
お住まいの地域について	80
お子さんご家族の状況について	80
お子さんの保護者（母親）の就労状況について	85
お子さんの保護者（父親）の就労状況について	90
放課後の過ごし方について【お子さんが小学校1～3年生の方】	93
放課後の過ごし方について【お子さんが小学校4～6年生の方】	103
放課後の過ごし方について【全員の方】	108
お子さんの病気の際の対応について	117
ファミリー・サポート・センターの利用について	125
その他のことについて	129
IV. 子ども・子育て支援に関する自由意見	135
就学前児童の保護者の自由意見	135
小学生の保護者の自由意見	142
V. 調査結果からみた課題	148
1. 総括	148
2. 調査結果からみた課題等	148

I. 調査概要

調査の目的

本市では、「子ども・子育て支援法」に基づき、平成27年3月に「すべての子どもと親が幸せを実感できるまち～子どもと家族の笑顔を地域全体で育むために～」を基本理念とした各務原市子ども・子育て支援事業計画『子どものみらい応援プラン』を策定し、様々な子育て支援事業に取り組んでおります。

本プランは令和2年度から令和6年度までの5か年計画であることから、来年度には令和7年度を始期とする次期計画を策定することとなります。

次期計画策定にあたり、市民の皆さまの子育て支援に関する生活実態や要望・意見などを把握し、計画の基礎データとするために、アンケート調査を実施しました。

調査の設計

調査票は調査対象者別に作成しており、各調査の件数及び調査期間・方法は、以下のとおりです。

① 調査票「子ども・子育て支援に関するニーズ調査（就学前児童の保護者）」	
調査対象者	市内在住の就学前児童を持つ保護者から無作為抽出
調査票配布数	2,450人
調査期間	令和5年12月1日～令和6年1月8日
調査方法	WEB回答方式
② 調査票「子ども・子育て支援に関するニーズ調査（小学生の保護者）」	
調査対象者	市内在住の小学2年生及び小学6年生を持つ保護者
調査票配布数	2,450人
調査期間	令和5年12月4日～令和6年1月8日
調査方法	WEB回答方式

調査票の配布と回収状況

調査によるそれぞれの配布・回収状況は、以下のとおりです。

調査対象者	配布数	回収数	回収率(%)
就学前児童の保護者	2,450	479	19.6
小学生の保護者	2,450	519	21.2

報告書の見方について

○ 年齢・学年の定義

就学前児童・小学生の年齢定義は、アンケート調査において誕生日の年月を回答しているため、下表による年齢区分により集計を行いました。

年齢区分	学年区分（低学年・高学年）	該当する生年月	
0歳児		令和4年4月以降	
1歳児		令和3年4月～令和4年3月	
2歳児		令和2年4月～令和3年3月	
3歳児		年少	平成31年4月～令和2年3月
4歳児		年中	平成30年4月～平成31年3月
5歳児	年長	平成29年4月～平成30年3月	
6歳児	1年生	低学年	平成28年4月～平成29年3月
7歳児	2年生		平成27年4月～平成28年3月
8歳児	3年生		平成26年4月～平成27年3月
9歳児	4年生	高学年	平成25年4月～平成26年3月
10歳児	5年生		平成24年4月～平成25年3月
11歳児	6年生		平成23年4月～平成24年3月

（注）調査期間【令和5年度】における年齢定義

○ 電算処理の注意点

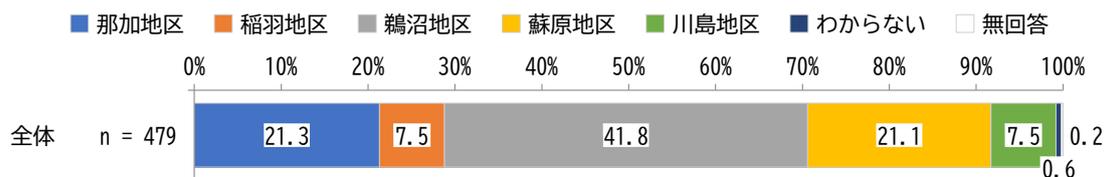
- ・ 比率はすべて百分率（％）で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100%にならない場合もあります。
- ・ 複数回答の場合、回答の合計比率が100%を超える場合があります。
- ・ グラフ・表として示したもののうち、回答数が0の場合は表示を省略しています。また、選択肢の見出しを簡略化してある場合もあります。

II. 調査結果（就学前児童）

お住まいの地域について

問1 お住まいの地区はどちらですか。（あてはまる番号1つに○）

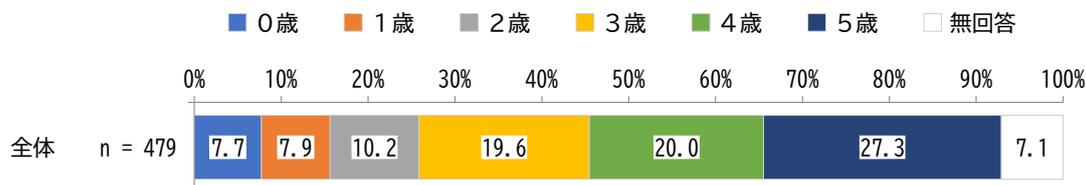
- 「鵜沼地区」が41.8%で最も多く、次いで「那加地区」が21.3%、「蘇原地区」が21.1%となっています。



お子さんとご家族の状況について

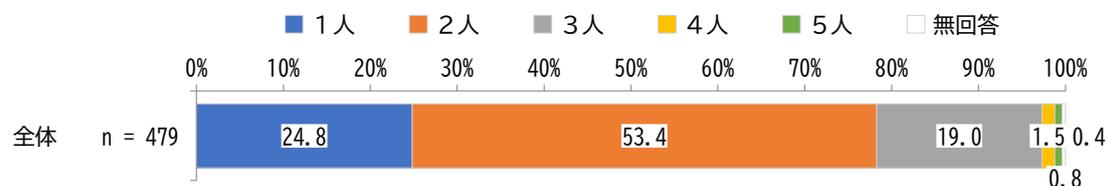
問2 お子さんの生年月月をご記入ください。（年齢）

- 「5歳」が27.3%で最も多く、次いで「4歳」が20.0%、「3歳」が19.6%となっています。



問3 お子さんのきょうだいは何人ですか。

- 「2人」が53.4%で最も多く、次いで「1人」が24.8%、「3人」が19.0%となっています。



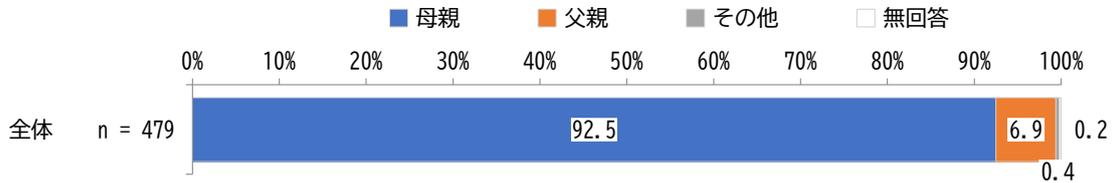
問3-1 末子の年齢

- 「0歳」が19.6%で最も多く、次いで「5歳以上」が10.4%、「1歳」「3歳」が9.6%となっています。



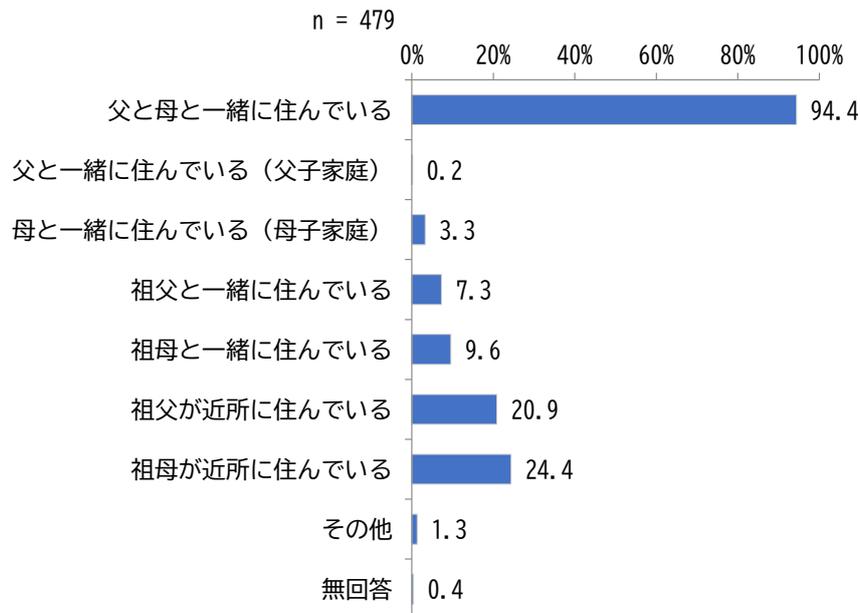
問 4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。
(あてはまる番号1つに○)

➤ 「母親」が92.5%、「父親」が6.9%となっています。



問 5 お子さんと一緒に住んでいる人はどなたですか。また、近所に祖父母が住んでいますか。
(あてはまる番号すべてに○)

➤ 「父と母と一緒に住んでいる」が94.4%で最も多く、次いで「祖母が近所に住んでいる」が24.4%、「祖父が近所に住んでいる」が20.9%となっています。



問 6 お子さんの子育て (教育を含む) を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(あてはまる番号1つに○)

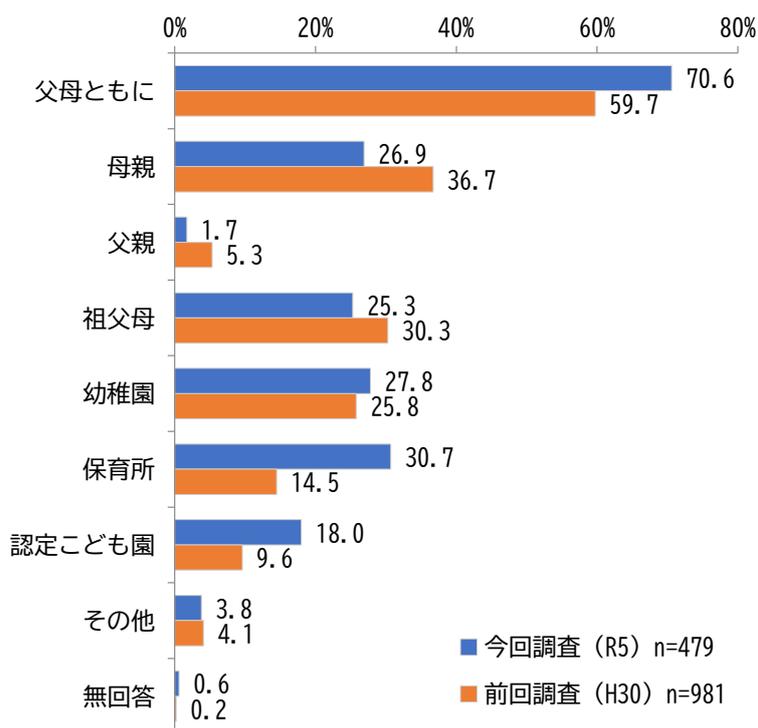
➤ 「父母ともに」が58.5%、「主に母親」が40.3%となっています。



育児環境について

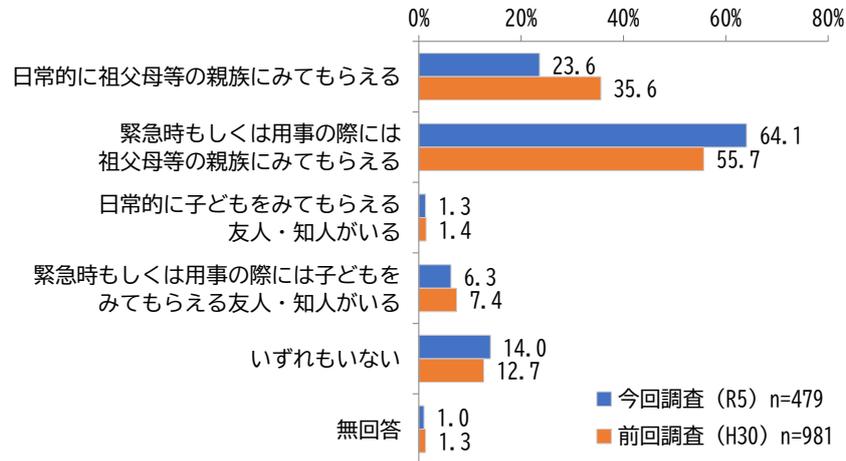
問7 お子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係でお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

- 「父母ともに」が70.6%で最も多く、次いで「保育所」が30.7%、「幼稚園」が27.8%となっています。
- 前回調査と比較すると、「父母ともに」「保育所」「認定こども園」の割合が増加しており、「母親」の割合は減少しています。



問8 日頃、お子さんを見てもらえる親族・知人はいますか。(あてはまる番号すべてに○)

- 「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が64.1%で最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が23.6%、「いずれもない」が14.0%となっています。
- 前回調査と比較すると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が増加しており、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合は減少しています。

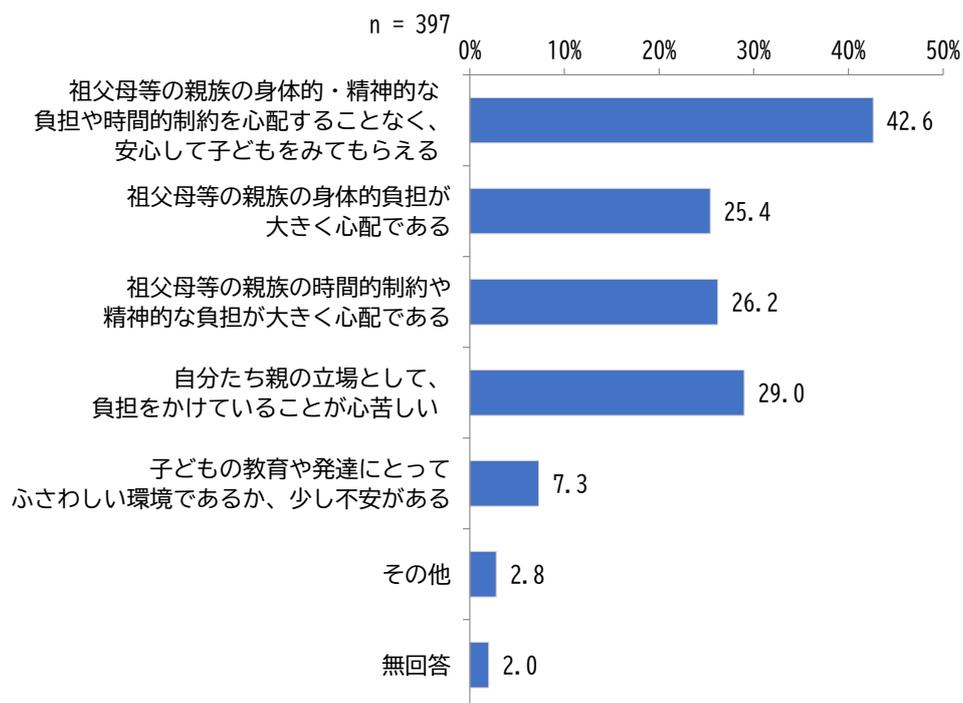


【問8で「1.日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「2.緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた方】

問8-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

(あてはまる番号すべてに○)

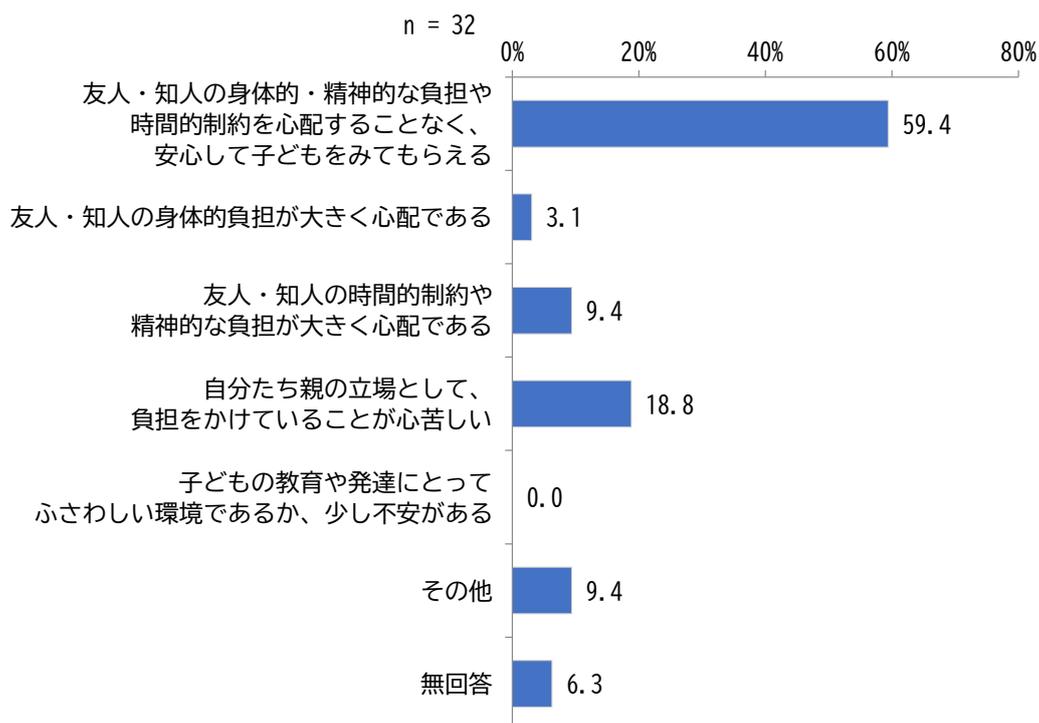
- 「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が42.6%で最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が29.0%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が26.2%となっています。



【問8で「3.日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「4.緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」に○をつけた方】

問8-2 友人・知人にみてもらっている状況についてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

- 「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が59.4%で最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が18.8%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が9.4%となっています。



問9 お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(あてはまる番号1つに○)

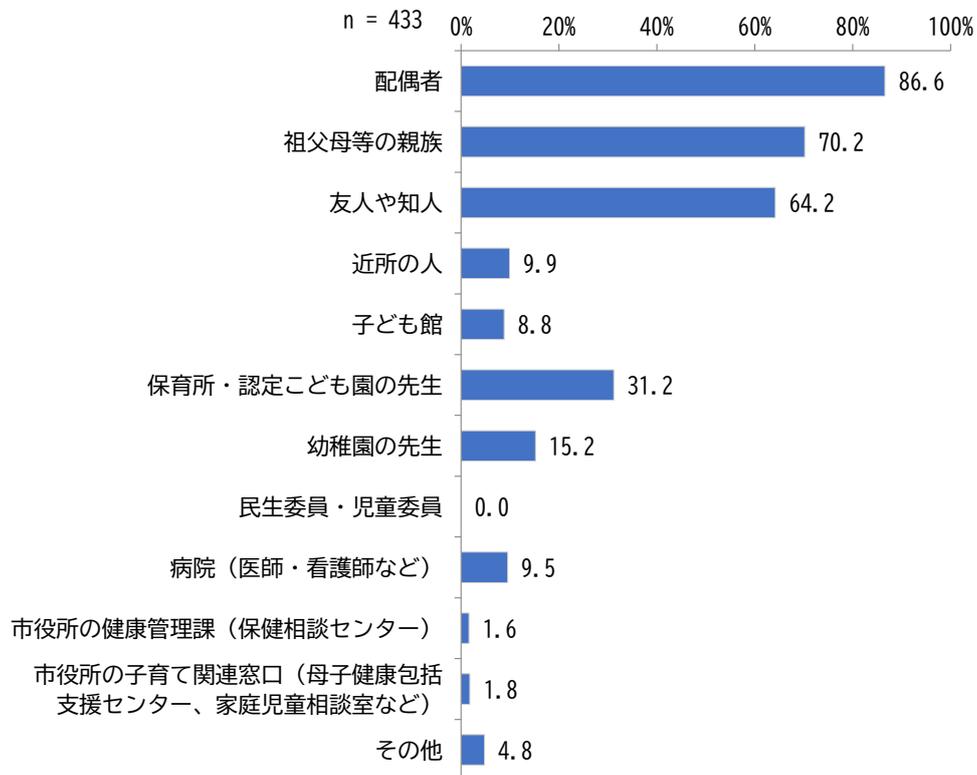
- 「いる／ある」が90.4%、「いない／ない」が8.6%となっています。



【問9で「1.いる／ある」に○をつけた方】

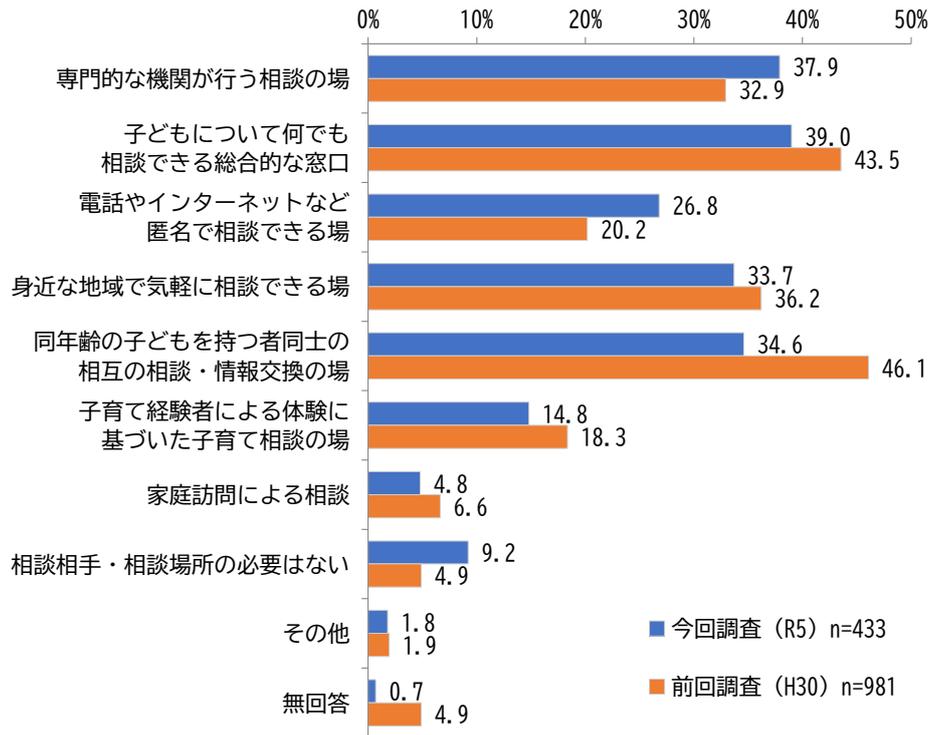
問9-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。
（あてはまる番号すべてに○）

➤ 「配偶者」が86.6%で最も多く、次いで「祖父母等の親族」が70.2%、「友人や知人」が64.2%となっています。



問 9-2 今後、子育てについての相談先として次のうちどれを希望しますか。
 (あてはまる番号すべてに○)

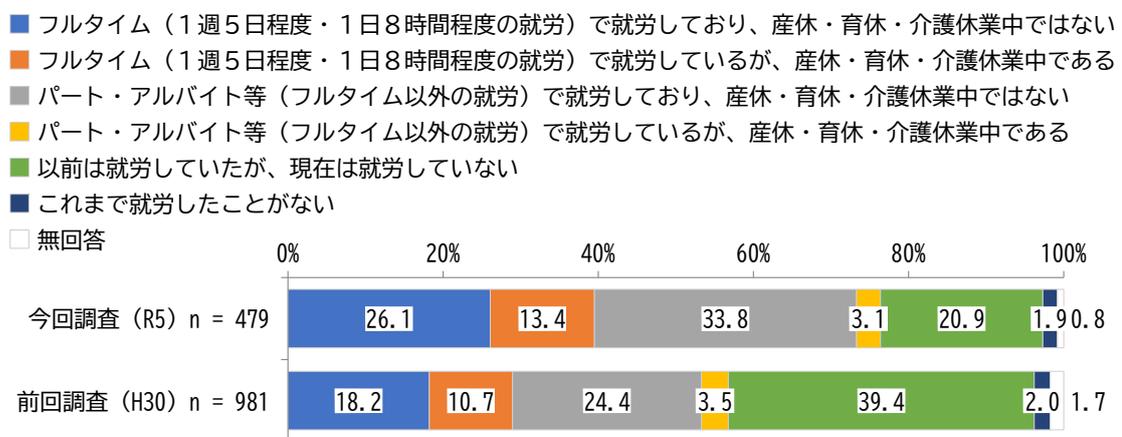
- 「子どもについて何でも相談できる総合的な窓口」が 39.0%で最も多く、次いで「専門的な機関が行う相談の場」が 37.9%、「同年齢の子どもを持つ者同士の相互の相談・情報交換の場」が 34.6%となっています。
- 前回調査と比較すると、「電話やインターネットなど匿名で相談できる場」の割合が増加しており、「同年齢の子どもを持つ者同士の相互の相談・情報交換の場」の割合は減少しています。



お子さんの保護者（母親）の就労状況について

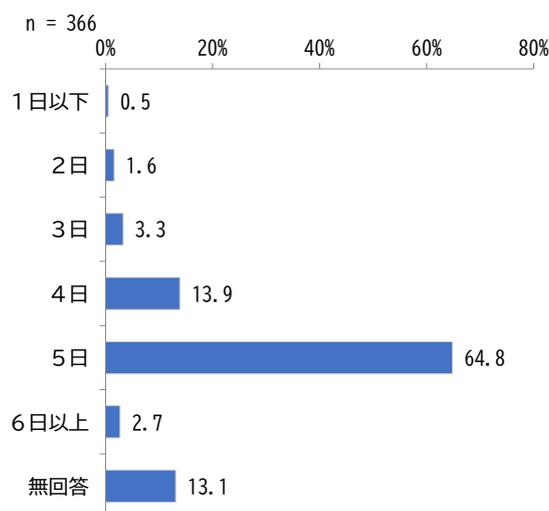
問 10 【母親について】お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。（あてはまる番号1つに○）

- 「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が33.8%で最も多く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が26.1%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が20.9%となっています。
- 前回調査と比較すると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が増加しており、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合は減少しています。



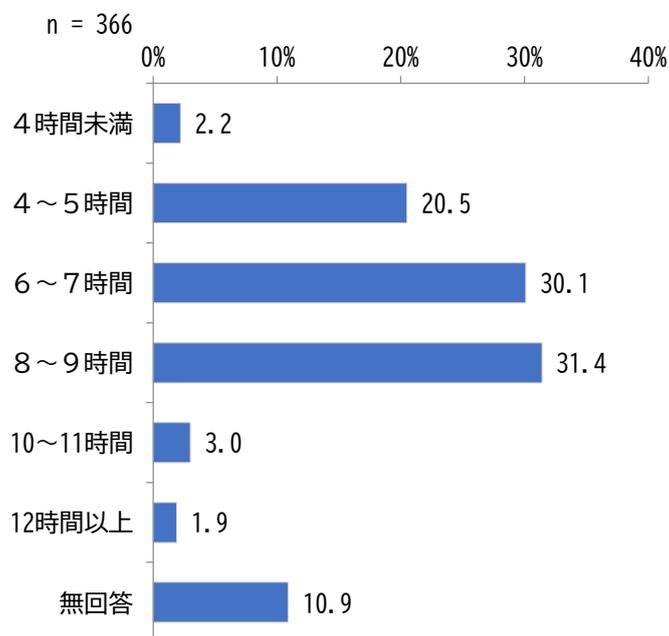
問 10-1(1) 【母親】1週当たりの「就労日数」

- 「5日」が64.8%で最も多く、次いで「4日」が13.9%、「3日」が3.3%となっています。



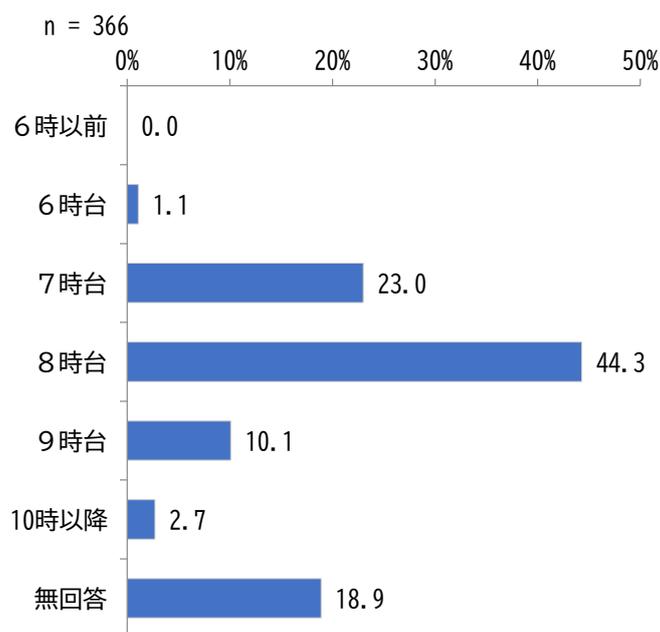
問 10-1(2) 【母親】 1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」

- 「8～9時間」が31.4%で最も多く、次いで「6～7時間」が30.1%、「4～5時間」が20.5%となっています。



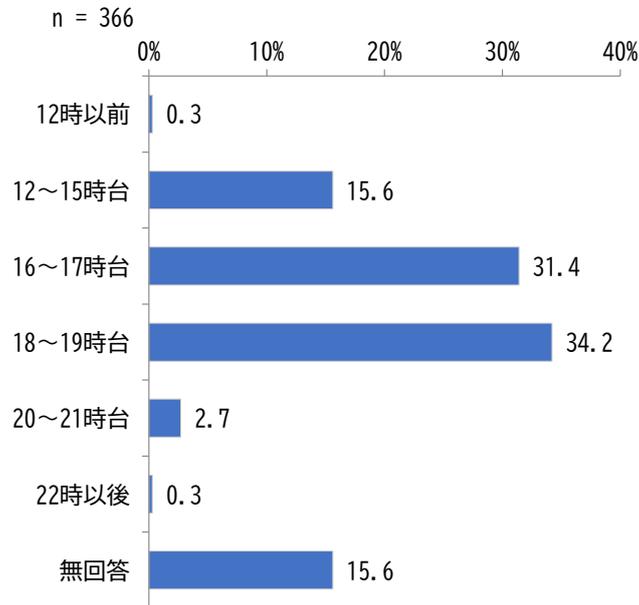
問 10-2(1) 【母親】 出勤時刻

- 「8時台」が44.3%で最も多く、次いで「7時台」が23.0%、「9時台」が10.1%となっています。



問 10-2(2) 【母親】 帰宅時刻

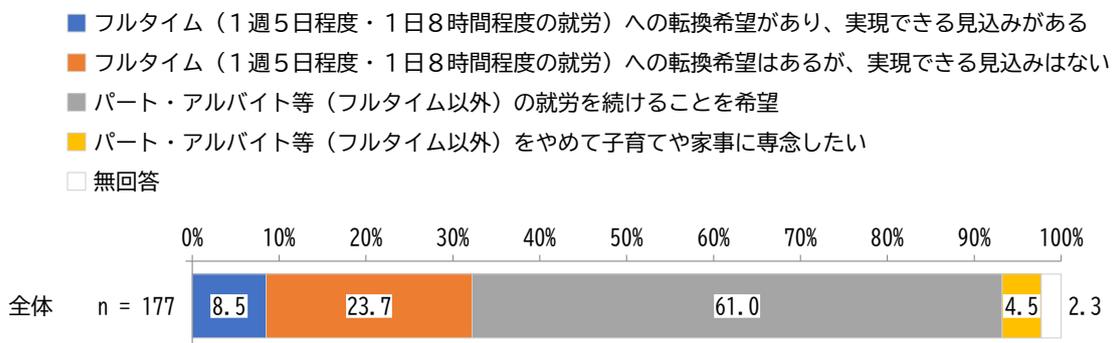
- 「18～19 時台」が 34.2%で最も多く、次いで「16～17 時台」が 31.4%、「12～15 時台」が 15.6% となっています。



【問 10 で「3. パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」または「4. パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中である」に○をつけた方】

問 10-3 【母親】 フルタイムへの転換希望はありますか。（あてはまる番号 1 つに○）

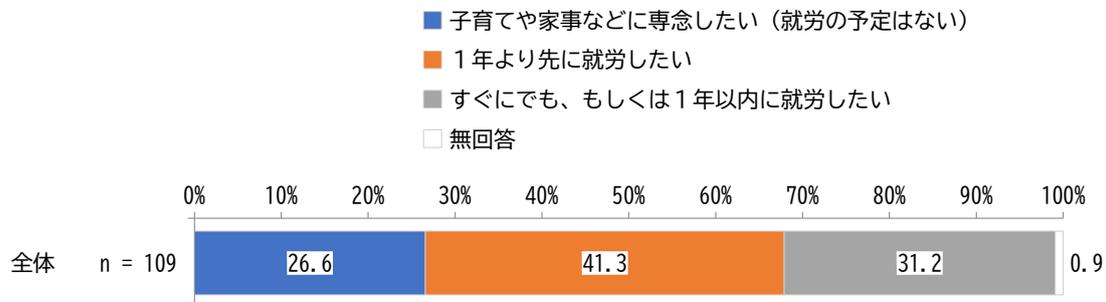
- 「パート・アルバイト等（フルタイム以外）の就労を続けることを希望」が 61.0%、「フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 23.7%となっています。



【問 10 で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方】

問 10-4 【母親】 就労したいという希望はありますか。(あてはまる番号 1 つに○)

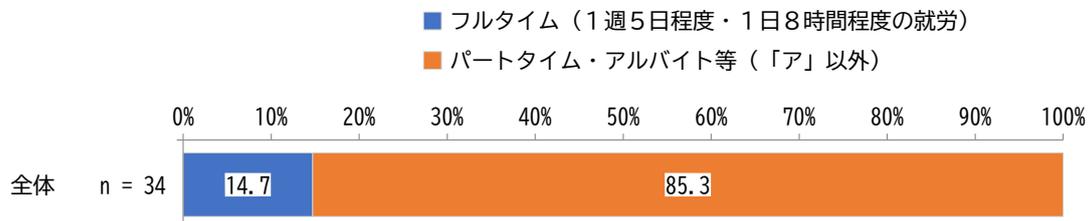
- 「1 年より先に就労したい」が 41.3%、「すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい」が 31.2% となっています。



【問 10-4 で「3. すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい」を選択した方】

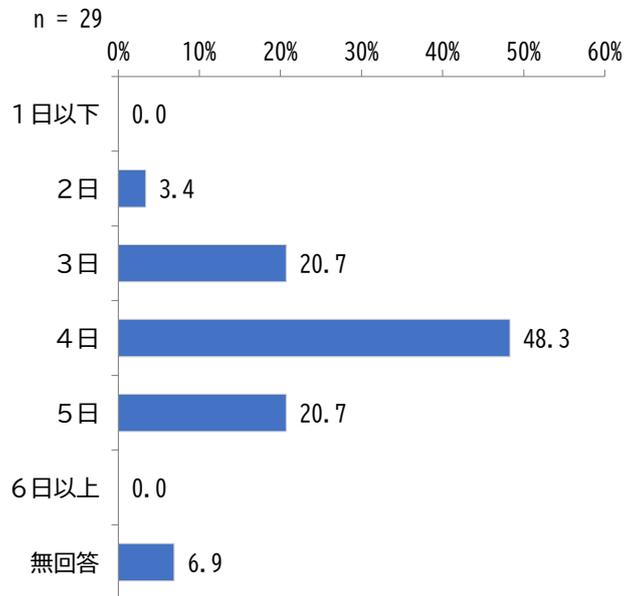
問 10-5 【母親】 希望する就労形態

- 「パートタイム・アルバイト等 (「ア」以外)」が 85.3%、「フルタイム (1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労)」が 14.7% となっています。



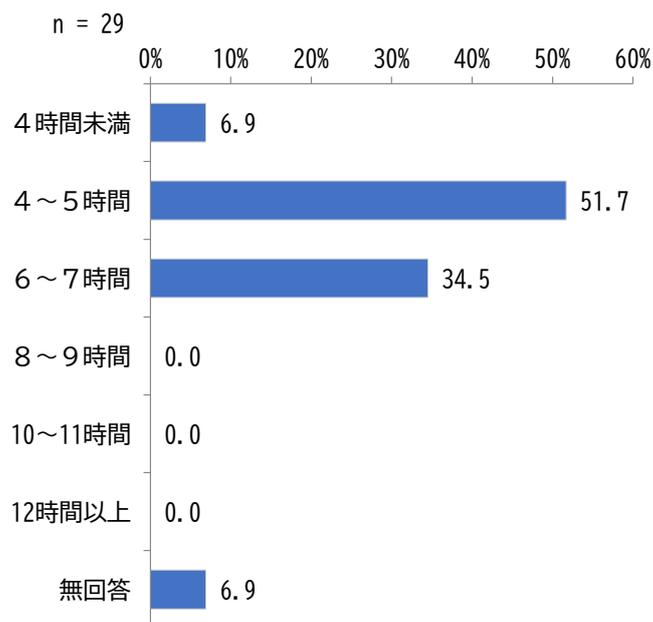
【問 10-5 で「イ. パートタイム・アルバイト等（「ア」以外）」を選択した方】
問 10-6(1) 【母親】 1 週当たりの「希望就労日数」

➤ 「4日」が48.3%で最も多く、次いで「3日」「5日」が20.7%、「2日」が3.4%となっています。



【問 10-5 で「イ. パートタイム・アルバイト等（「ア」以外）」を選択した方】
問 10-6(2) 【母親】 1日当たりの「希望就労時間（残業時間を含む）」

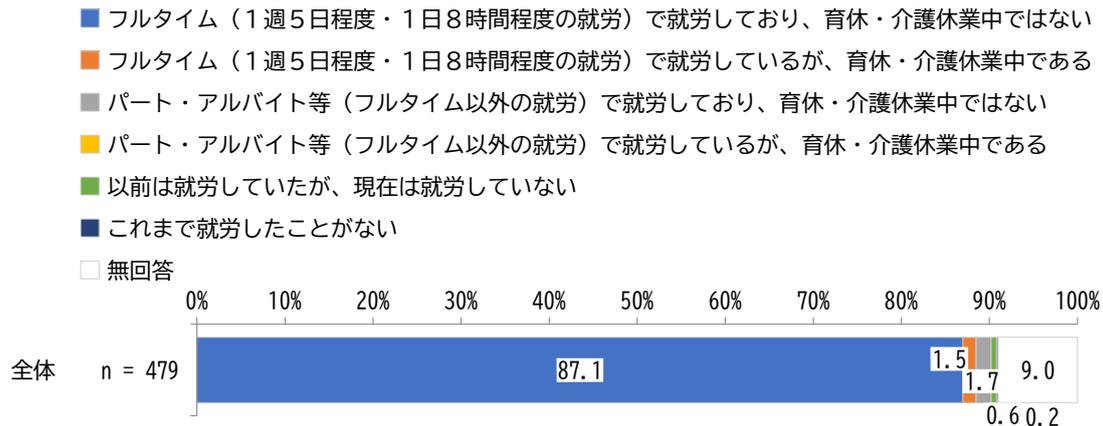
➤ 「4～5時間」が51.7%で最も多く、次いで「6～7時間」が34.5%、「4時間未満」が6.9%となっています。



お子さんの保護者（父親）の就労状況について

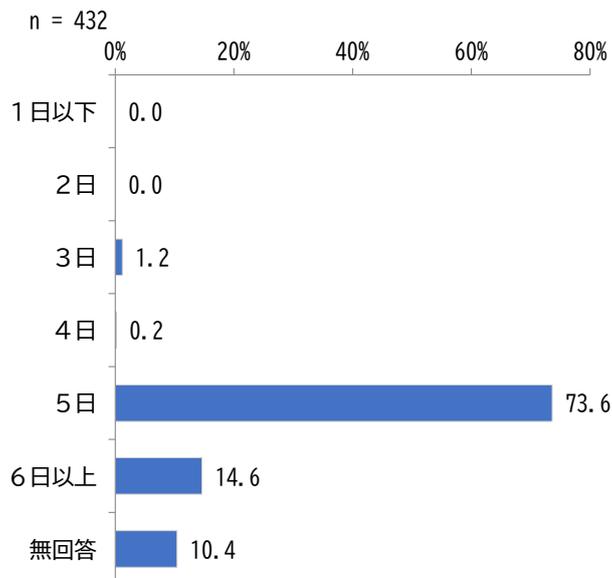
問 11 【父親について】宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。（あてはまる番号1つに○）

- 「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」が87.1%で最も多く、次いで「パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」が1.7%、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である」が1.5%となっています。



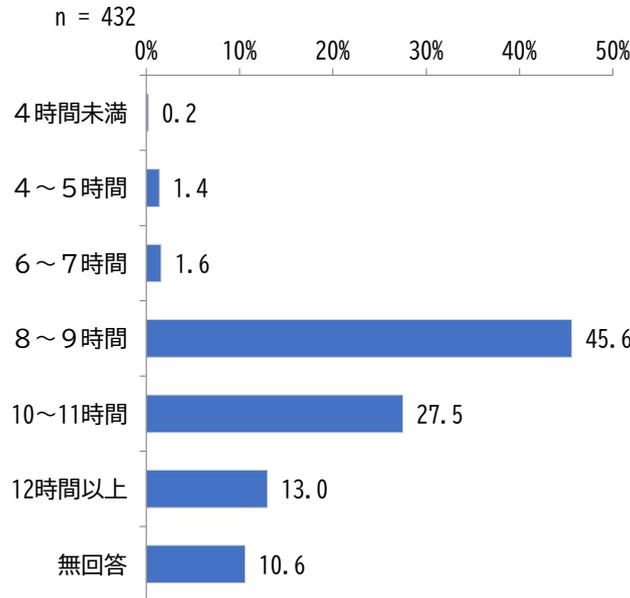
問 11-1(1) 【父親】 1週当たりの「就労日数」

- 「5日」が73.6%で最も多く、次いで「6日以上」が14.6%、「3日」が1.2%となっています。



問 11-1(2) 【父親】 1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」

- 「8～9時間」が45.6%で最も多く、次いで「10～11時間」が27.5%、「12時間以上」が13.0%となっています。

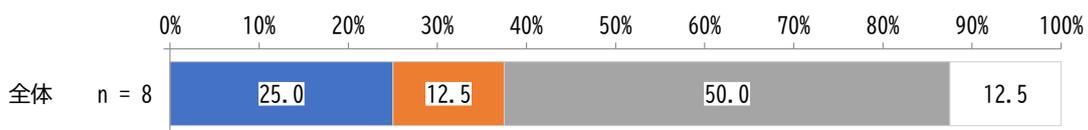


【問 11 で「3. パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」または「4. パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中である」に○をつけた方】

問 11-2 【父親】フルタイムへの転換希望はありますか。（あてはまる番号1つに○）

- 「パート・アルバイト等（フルタイム以外）の就労を続けることを希望」が50.0%、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」が25.0%となっています。

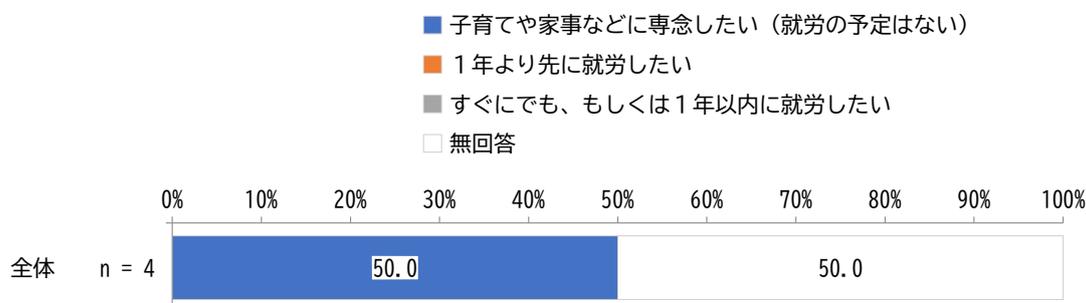
- フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
- フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- パート・アルバイト等（フルタイム以外）の就労を続けることを希望
- パート・アルバイト等（フルタイム以外）をやめて子育てや家事に専念したい
- 無回答



【問 11 で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方】

問 11-3 【父親】就労したいという希望はありますか。(あてはまる番号1つに○)

➤ 「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が50.0%となっています。

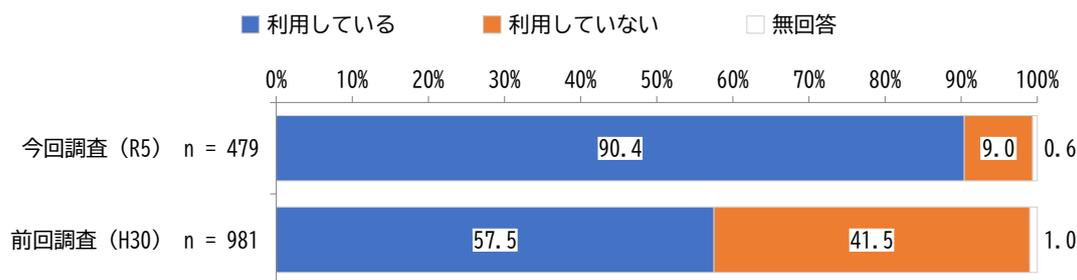


お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問 12 お子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。(あてはまる番号1つに○)

➤ 「利用している」が90.4%、「利用していない」が9.0%となっています。

➤ 前回調査と比較すると、「利用している」の割合が増加しており、「利用していない」の割合は減少しています。

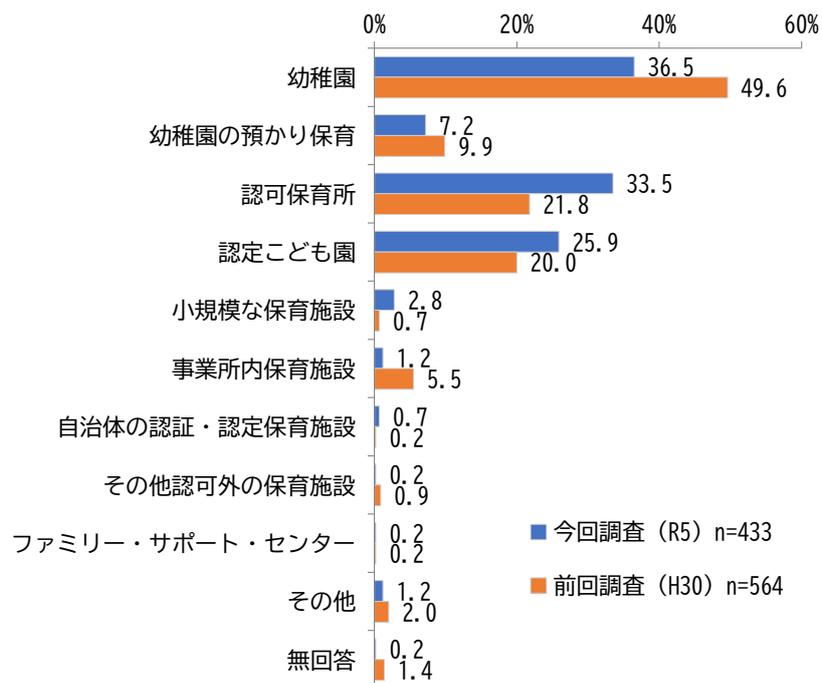


【問 12 で「1.利用している」に○をつけた方】

問 12-1 お子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。

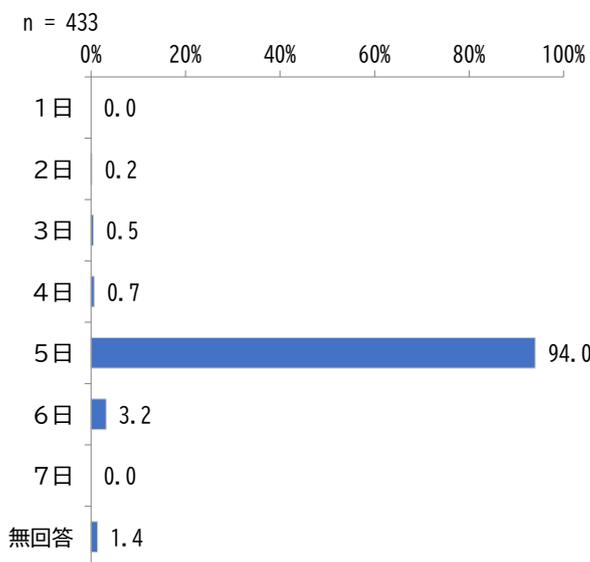
(あてはまる番号すべてに○)

- 「幼稚園」が 36.5% で最も多く、次いで「認可保育所」が 33.5%、「認定こども園」が 25.9% となっています。
- 前回調査と比較すると、「認可保育所」「認定こども園」の割合が増加しており、「幼稚園」の割合は減少しています。



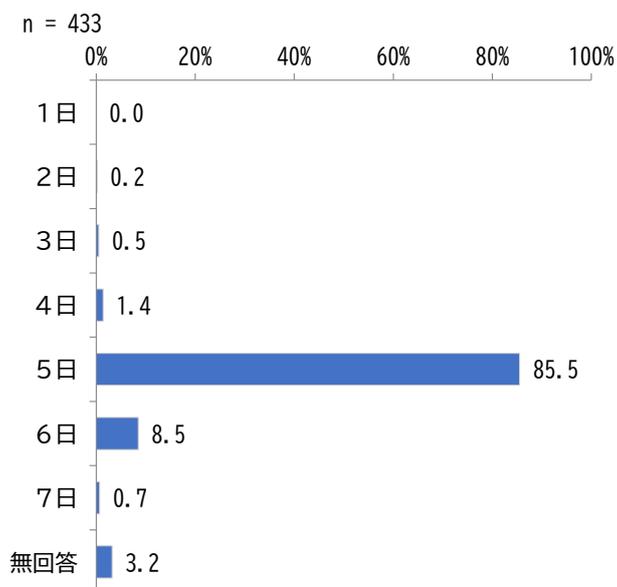
問 12-2(1) 【現在】定期的な教育・保育事業の利用日数（1週当たり）

➤ 「5日」が94.0%で最も多く、次いで「6日」が3.2%、「4日」が0.7%となっています。



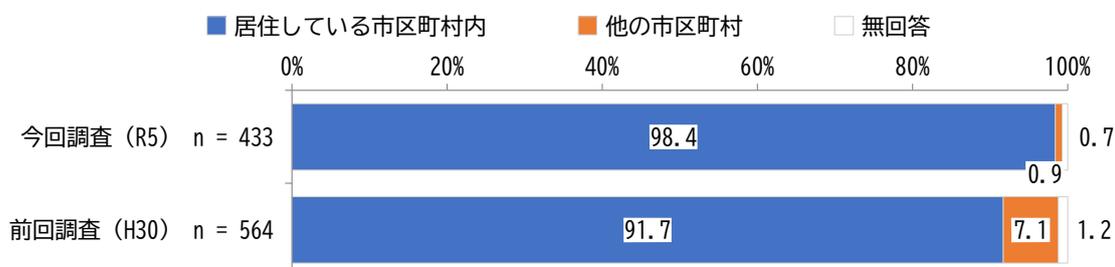
問 12-2(2) 【希望】定期的な教育・保育事業の利用日数（1週当たり）

➤ 「5日」が85.5%で最も多く、次いで「6日」が8.5%、「4日」が1.4%となっています。



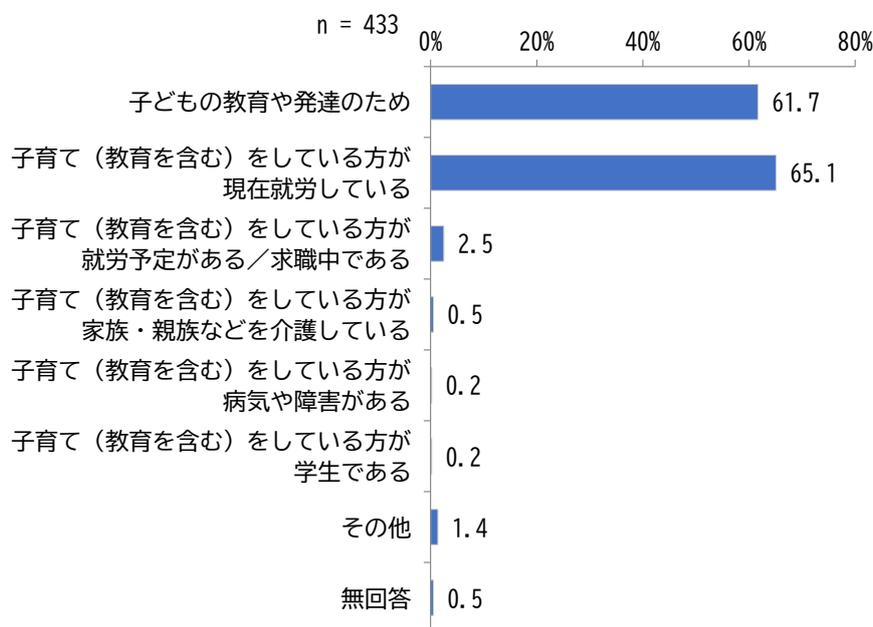
問 12-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどこにありますか。(あてはまる番号一つに○)

- 「居住している市区町村内」が98.4%、「他の市区町村」が0.9%となっています。
- 前回調査と比較すると、「居住している市区町村内」の割合が増加しており、「他の市区町村」の割合は減少しています。



問 12-4 平日に教育・保育事業を利用されている理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

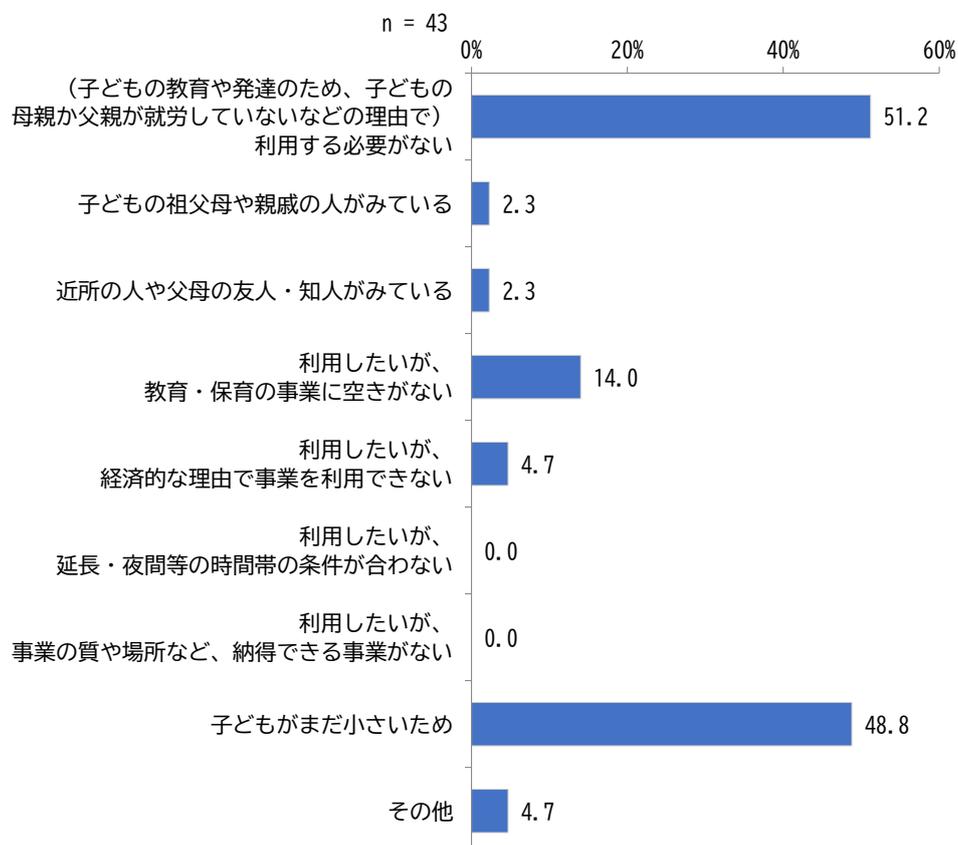
- 「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」が65.1%で最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」が61.7%、「子育て（教育を含む）をしている方が就労予定がある／求職中である」が2.5%となっています。



【問 12 で「2. 利用していない」に○をつけた方】

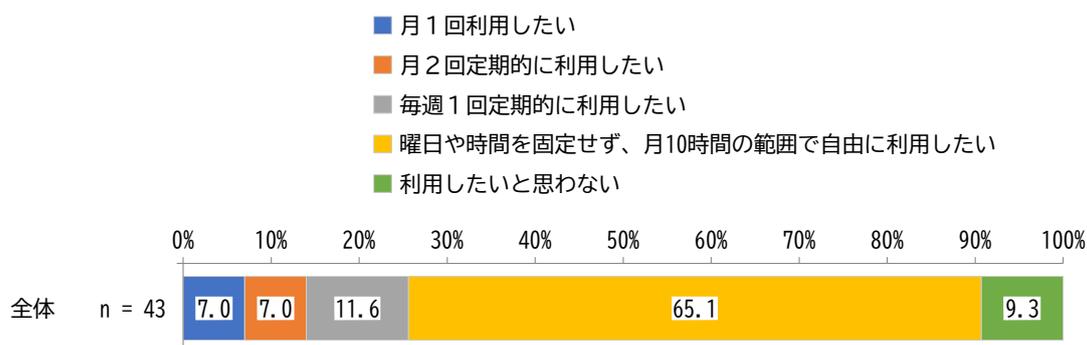
問 12-5 利用していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- 「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない」が 51.2%で最も多く、次いで「子どもがまだ小さいため」が 48.8%、「利用したいが、教育・保育の事業に空きがない」が 14.0%となっています。



問 12-6 国が検討している「こども誰でも通園制度 (仮称)」が創設された場合、仮に月 10 時間まで定期的に利用が可能だとしたら、利用したいと思いますか。(あてはまる番号に○)

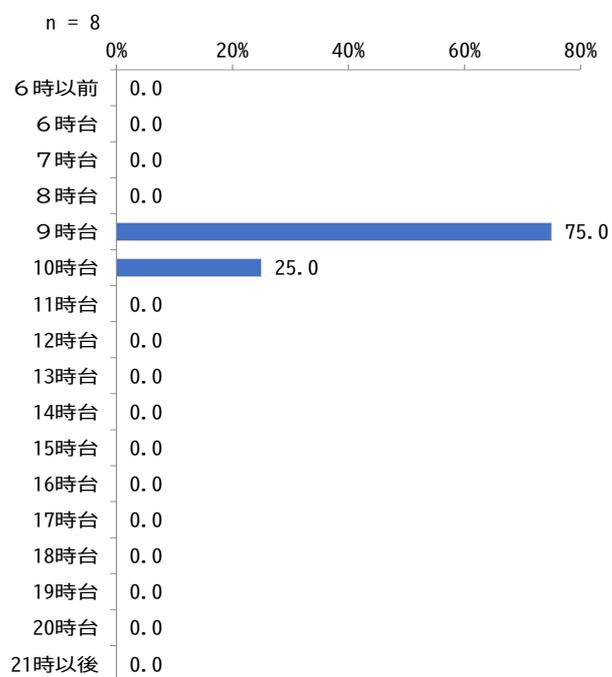
- 「曜日や時間を固定せず、月 10 時間の範囲で自由に利用したい」が 65.1%で最も多く、次いで「毎週 1 回定期的に利用したい」が 11.6%、「利用したいと思わない」が 9.3%となっています。



【問 12-6 で「2. 月 2 回定期的に利用したい」または「3. 毎週 1 回定期的に利用したい」を選んだ方】

問 12-7(1) 希望の利用時間帯をご記入ください。(開始時刻)

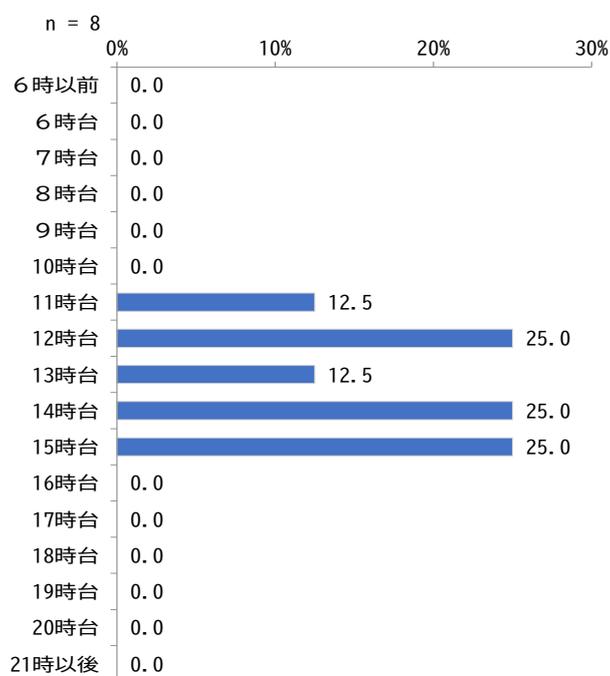
➤ 「9時台」が75.0%で最も多く、次いで「10時台」が25.0%となっています。



【問 12-6 で「2. 月 2 回定期的に利用したい」または「3. 毎週 1 回定期的に利用したい」を選んだ方】

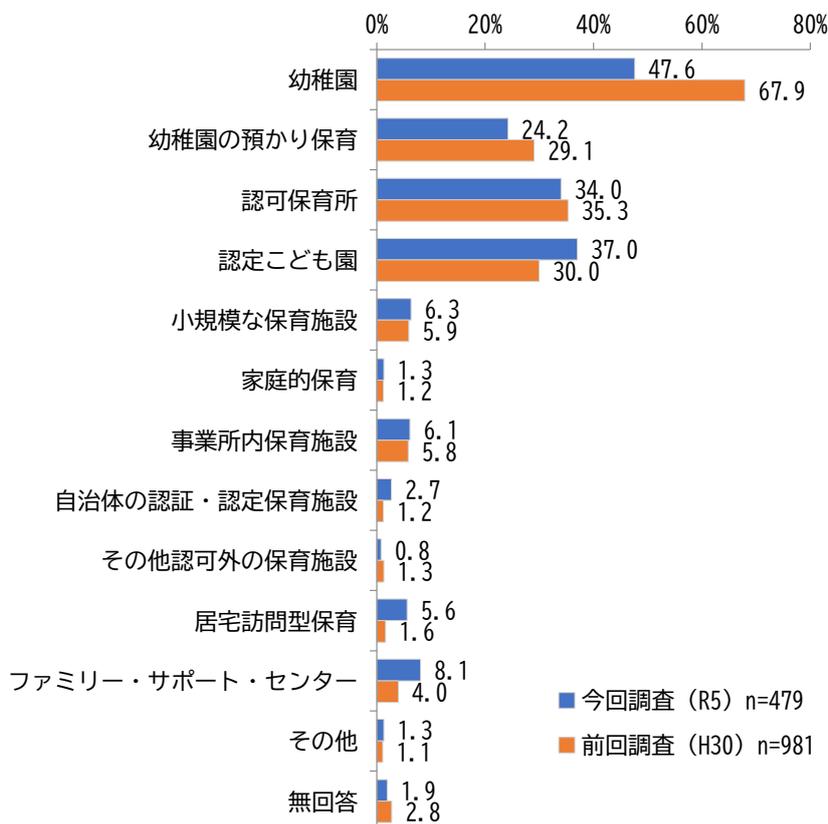
問 12-7(2) 希望の利用時間帯をご記入ください。(終了時刻)

- 「12 時台」「14 時台」「15 時台」が 25.0%で最も多く、次いで「11 時台」「13 時台」が 12.5%となっています。



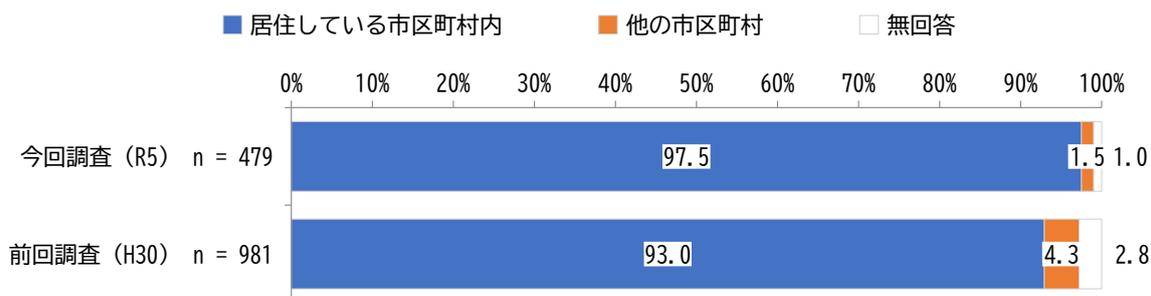
問 13 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的」に利用したいと考える事業はどれですか。

- 「幼稚園」が47.6%で最も多く、次いで「認定こども園」が37.0%、「認可保育所」が34.0%となっています。
- 前回調査と比較すると、「認定こども園」の割合が増加しており、「幼稚園」の割合は減少しています。



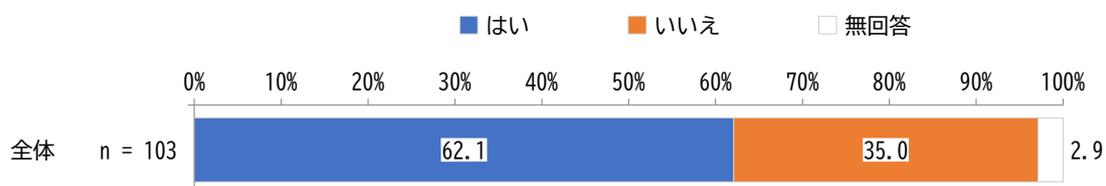
問 13-1 教育・保育事業を利用したい実施場所はどこにありますか。(あてはまる番号1つに○)

- 「居住している市区町村内」が97.5%、「他の市区町村」が1.5%となっています。
- 前回調査とほぼ同じ傾向となっています。



【問13で「1.」または「2.」に○をつけ、かつ「3.～12.」にも○をつけた方】
 問13-2 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合も含む）の利用を強く希望
 しますか

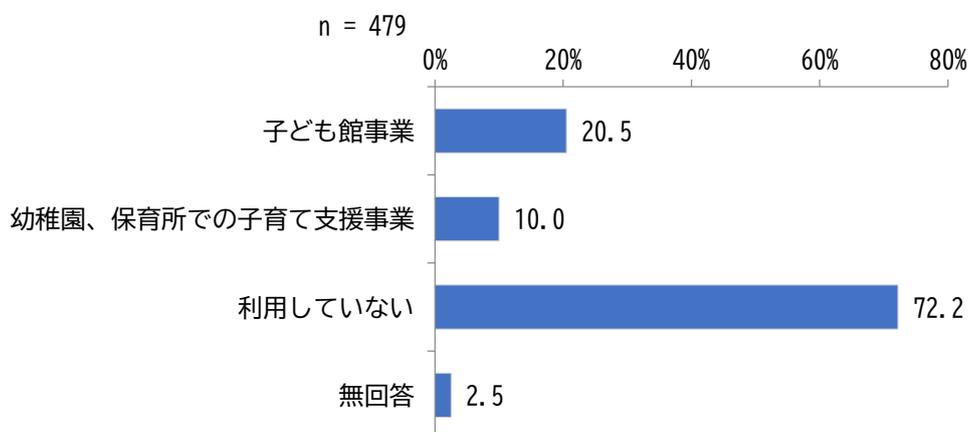
➤ 「はい」が62.1%、「いいえ」が35.0%となっています。



お子さんの地域の子育て支援拠点事業の利用状況について

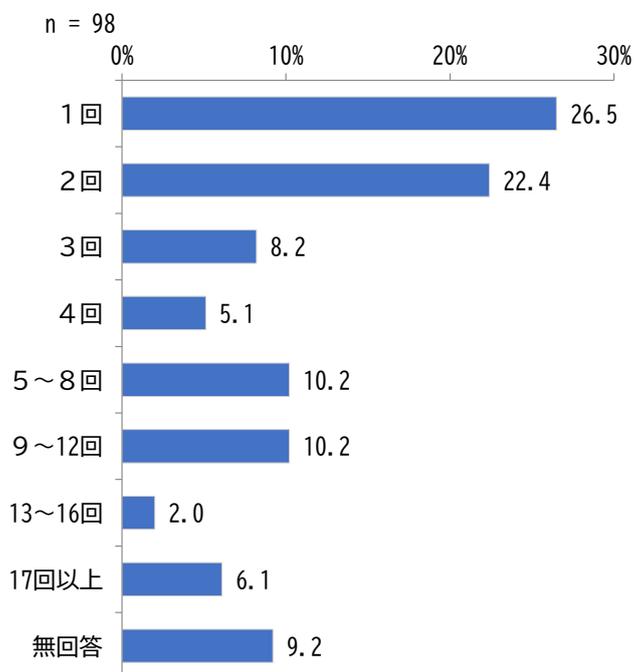
問14 お子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、
 情報提供を受けたりする場）を利用していますか。

➤ 「利用していない」が72.2%で最も多く、次いで「子ども館事業」が20.5%、「幼稚園、保育所
 での子育て支援事業」が10.0%となっています。



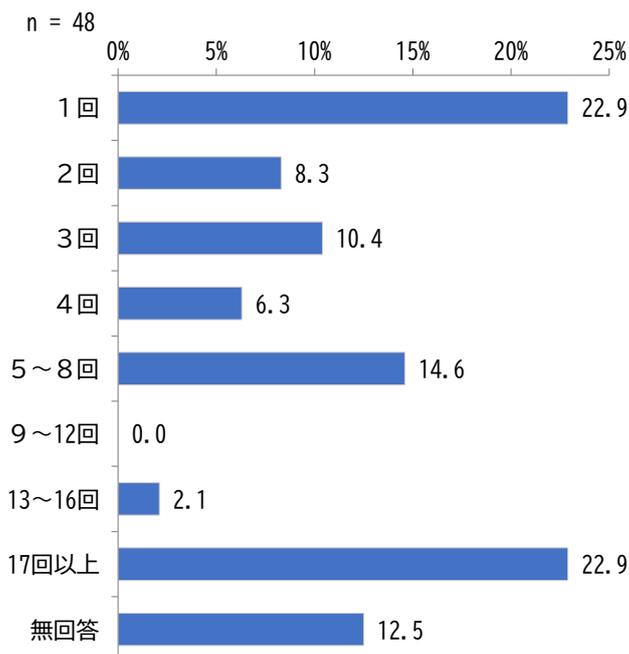
問 14-1 子ども館事業の利用回数（1ヶ月当たり）

- 「1回」が26.5%で最も多く、次いで「2回」が22.4%、「5～8回」「9～12回」が10.2%となっています。



問 14-2 幼稚園、保育所での子育て支援事業の利用回数（1ヶ月当たり）

- 「1回」「17回以上」が22.9%で最も多く、次いで「5～8回」が14.6%、「3回」が10.4%となっています。



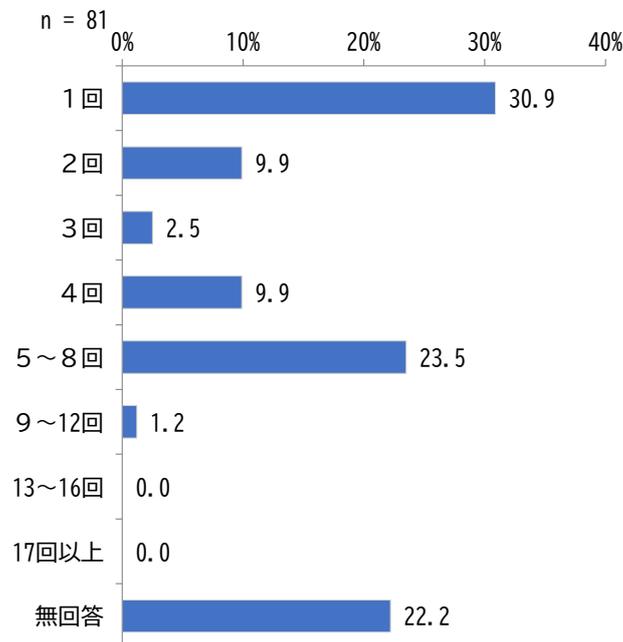
問 15 問 14 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないができれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。（あてはまる番号1つに○）

➤ 「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が67.8%、「利用していないが、今後利用したい」が16.9%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が12.5%となっています。



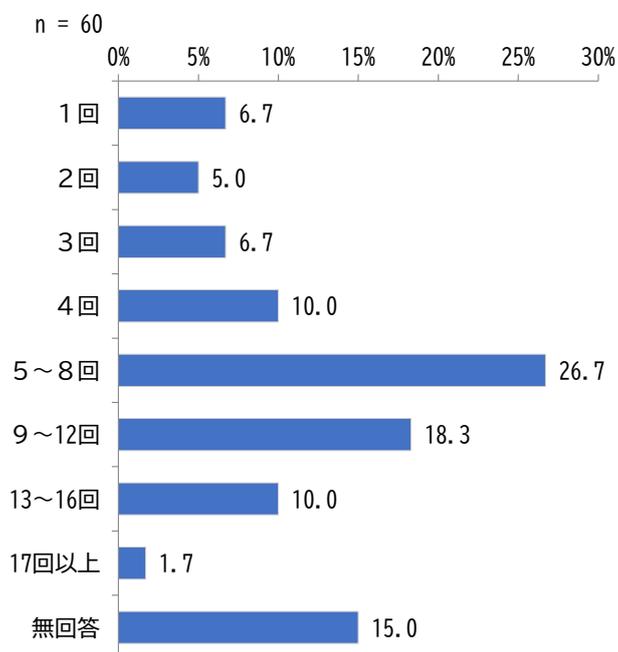
問 15-1 利用していないが、今後利用したい回数（1ヶ月当たり）

➤ 「1回」が30.9%で最も多く、次いで「5～8回」が23.5%、「2回」「4回」が9.9%となっています。



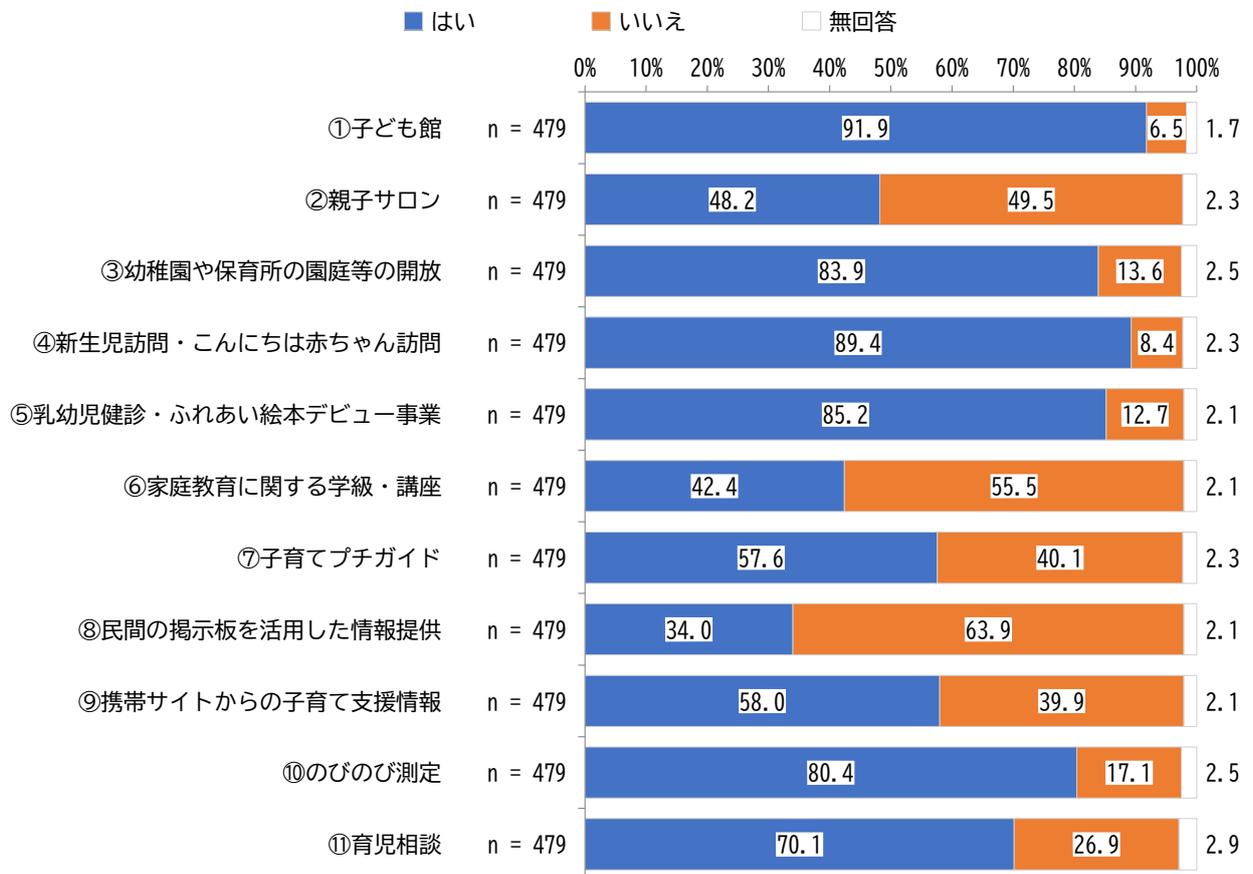
問 15-2 すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい回数（1ヶ月当たり）

- 「5～8回」が26.7%で最も多く、次いで「9～12回」が18.3%、「4回」「13～16回」が10.0%となっています。



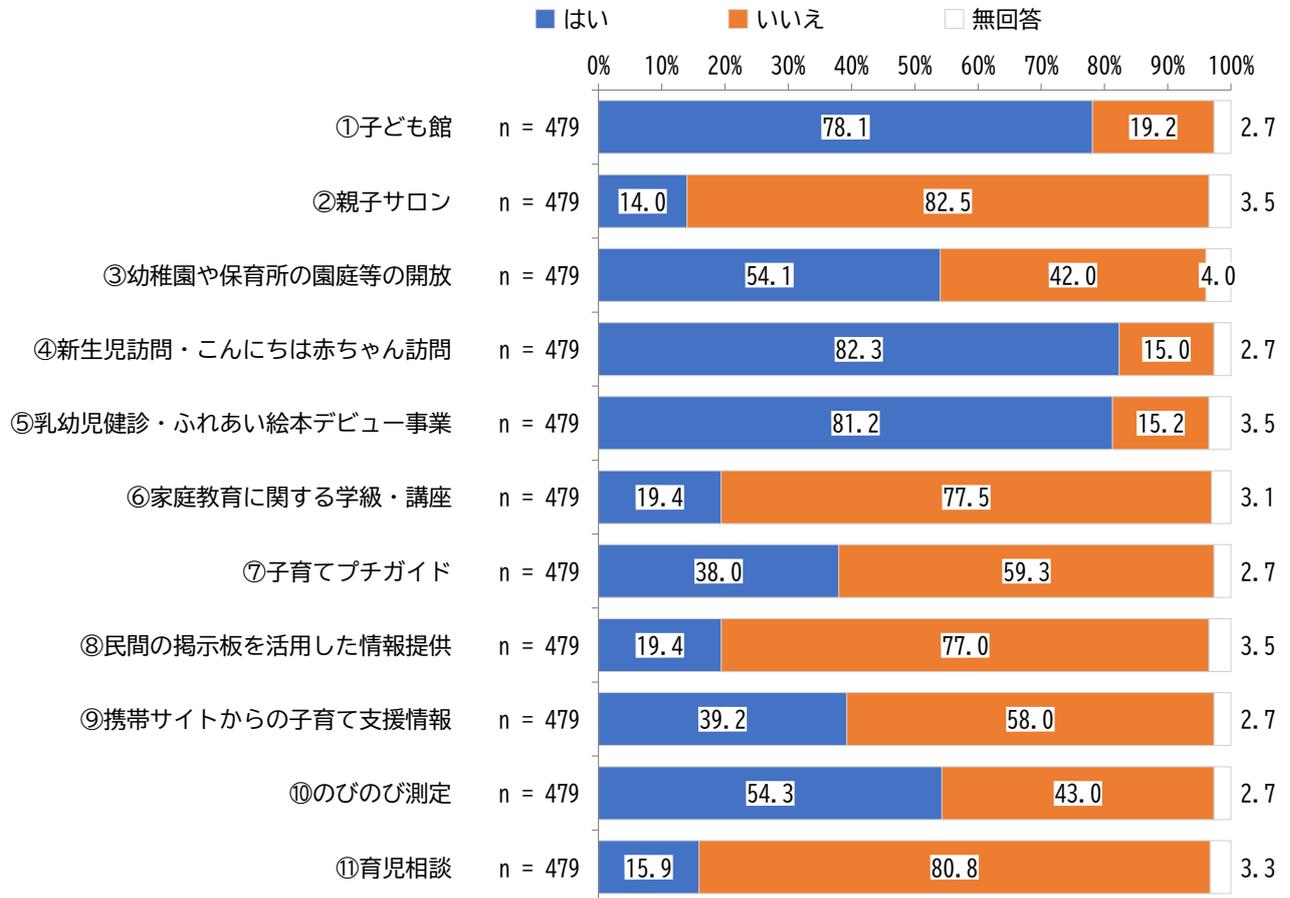
問 16 下記の事業で【知っている】ものをお答えください。

➤ 【知っている】もので一番多いのは「子ども館」で91.9%、次いで「新生児訪問・こんにちは赤ちゃん訪問」が89.4%、「乳幼児健診・ふれあい絵本デビュー事業」が85.2%となっています。



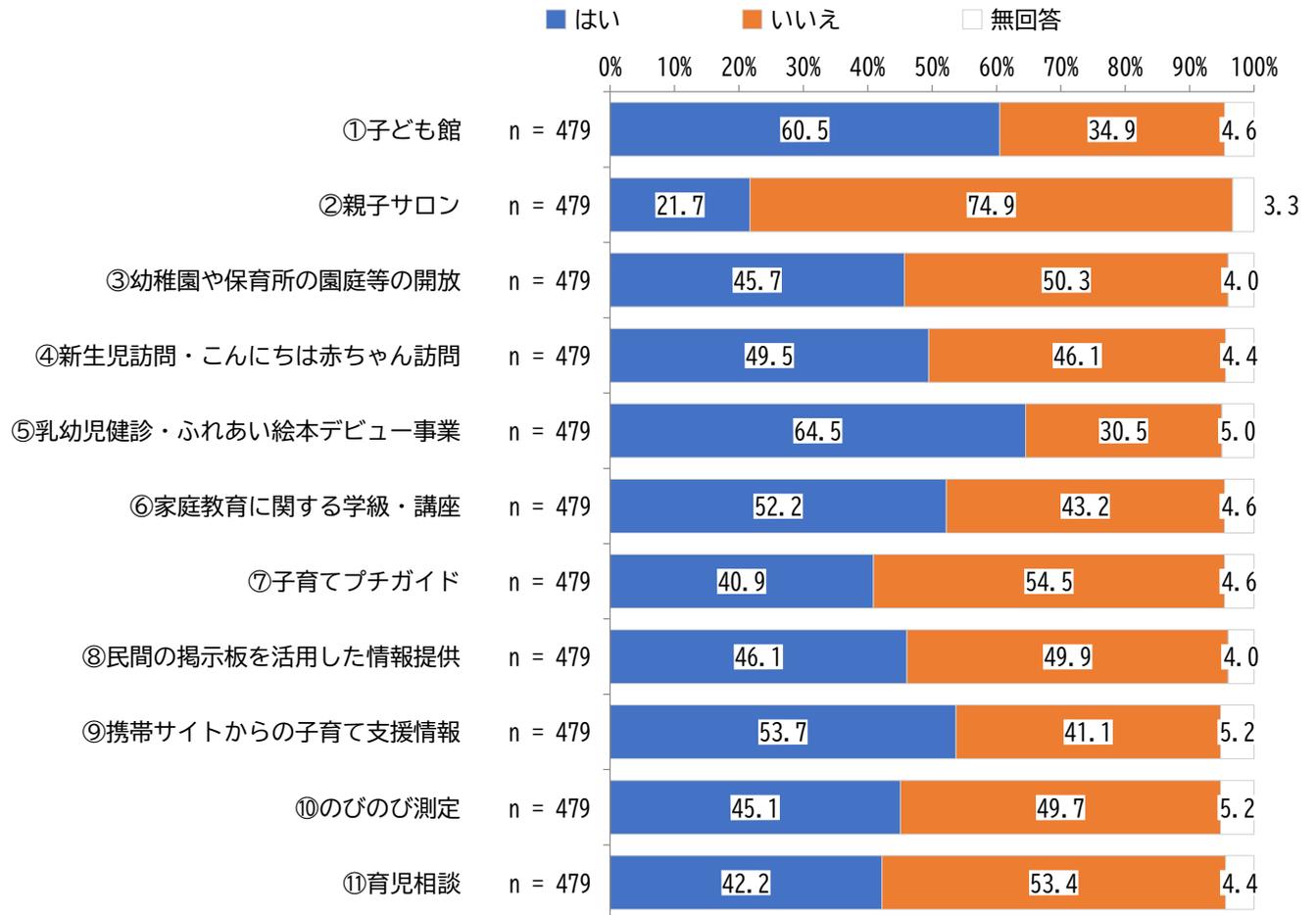
問 16 下記の事業で【これまでに利用したことがある】ものをお答えください。

- 【これまでに利用したことがある】もので一番多いのは「子ども館」で78.1%、次いで「新生児訪問・こんにちは赤ちゃん訪問」が82.3%、「乳幼児健診・ふれあい絵本デビュー事業」が81.2%となっています。



問 16 下記の事業で【今後利用したい】と思うものをお答えください。

➤ 【今後利用したい】もので一番多いのは「乳幼児健診・ふれあい絵本デビュー事業」で64.5%、次いで「子ども館」が60.5%、「携帯サイトからの子育て支援情報」が53.7%となっています。



お子さんの土曜日・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

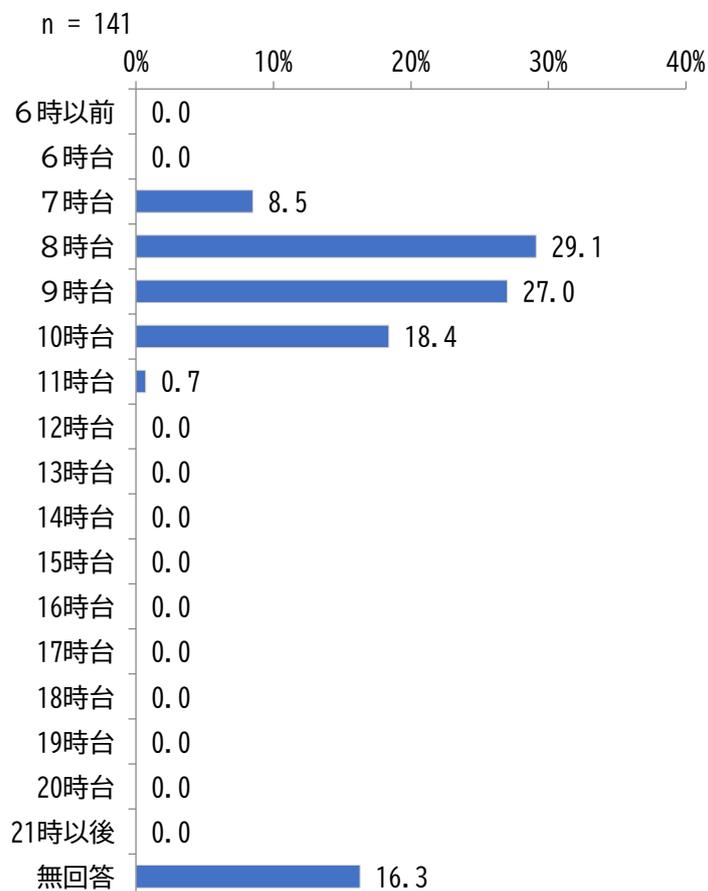
問 17 お子さんについて、【土曜日】に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか。
(あてはまる番号1つに○)

➤ 「利用する必要はない」が68.3%、「月に1～2回は利用したい」が22.1%となっています。



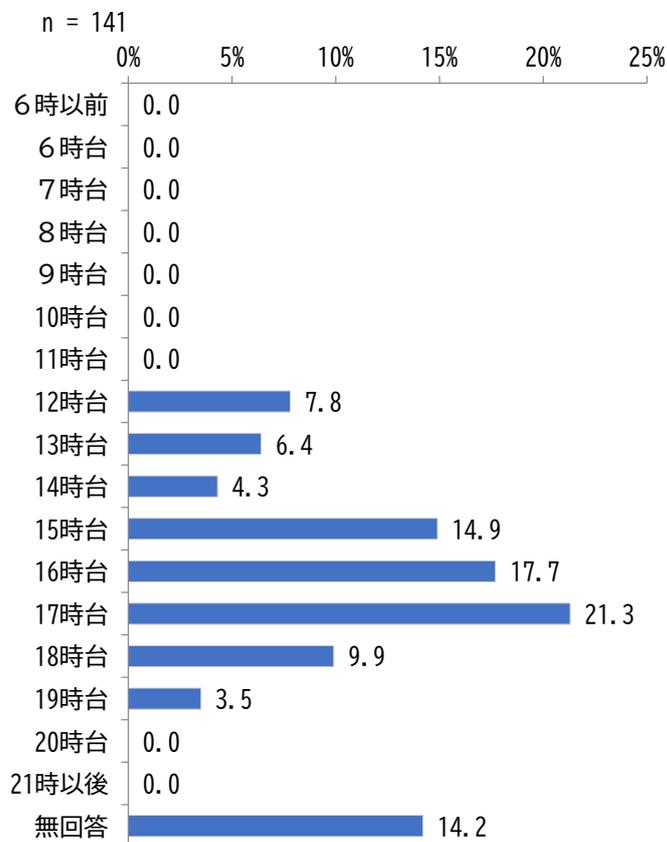
問 17-1(1) 【土曜日：定期的な教育・保育事業の利用希望】希望開始時間

➤ 「8時台」が29.1%で最も多く、次いで「9時台」が27.0%、「10時台」が18.4%となっています。



問 17-1(2) 【土曜日：定期的な教育・保育事業の利用希望】希望終了時間

➤ 「17 時台」が 21.3%で最も多く、次いで「16 時台」が 17.7%、「15 時台」が 14.9%となっています。



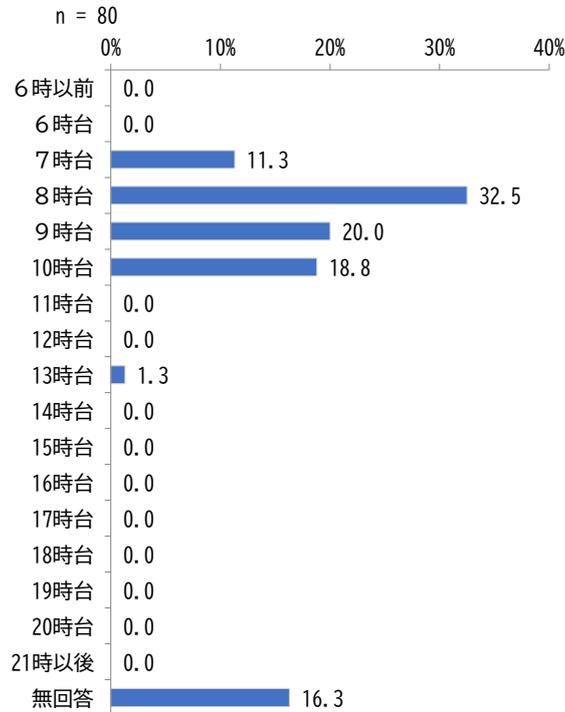
問 17-2 お子さんについて、【日曜日・祝日】に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか。(あてはまる番号1つに○)

➤ 「利用する必要はない」が 80.8%、「月に1～2回は利用したい」が 13.8%となっています。



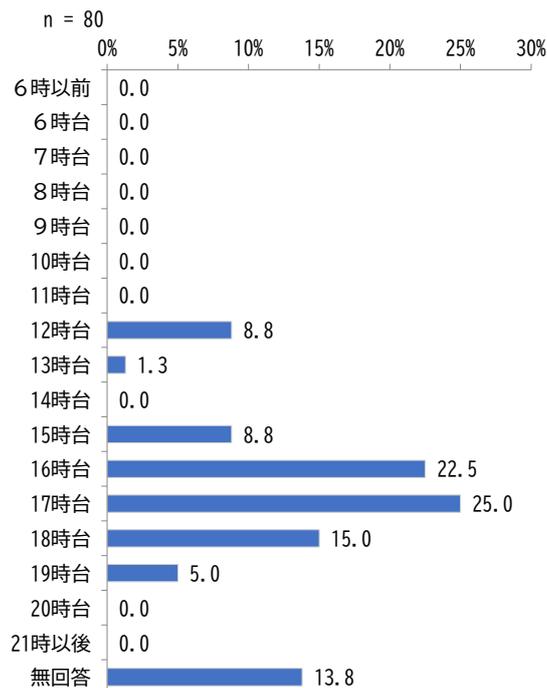
問 17-2(1) 【日祝：定期的な教育・保育事業の利用希望】希望開始時間

- 「8時台」が32.5%で最も多く、次いで「9時台」が20.0%、「10時台」が18.8%となっています。



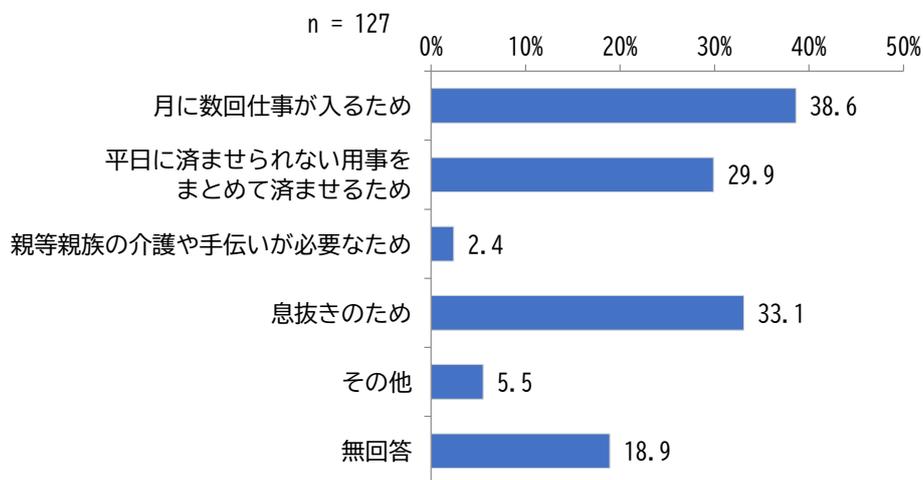
問 17-2(2) 【日祝：定期的な教育・保育事業の利用希望】希望終了時間

- 「17時台」が25.0%で最も多く、次いで「16時台」が22.5%、「18時台」が15.0%となっています。



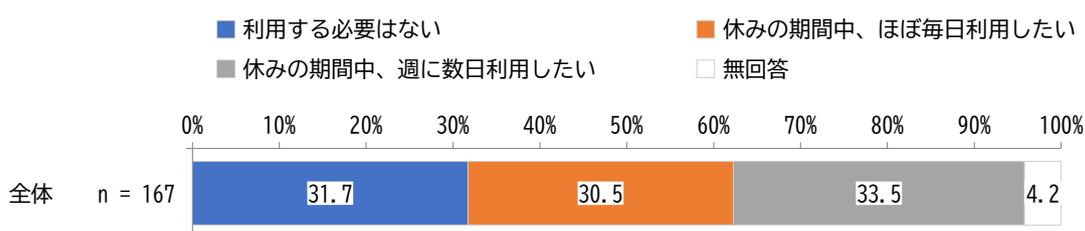
【問 17 もしくは 17-2 で、「3. 月に 1～2 回は利用したい」に○をつけた方】
 問 17-3 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

➤ 「月に数回仕事が入るため」が 38.6%で最も多く、次いで「息抜きのため」が 33.1%、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が 29.9%となっています。



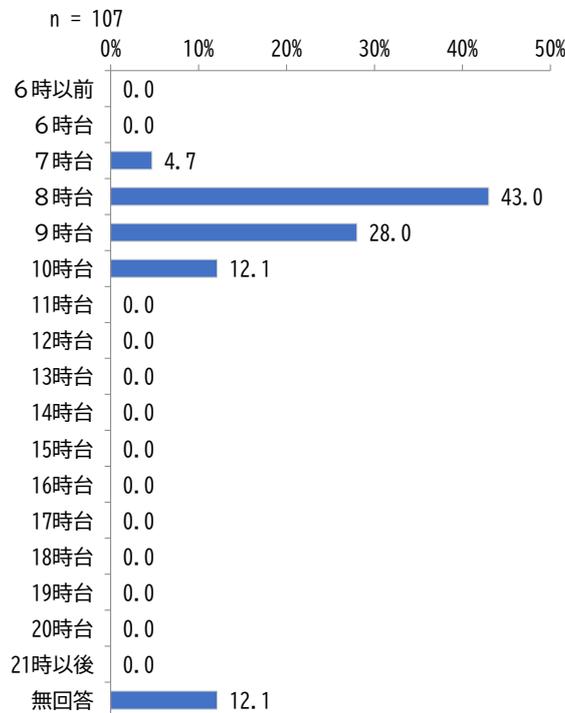
【「幼稚園」を利用されている方】
 問 18 お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の利用を希望しますか。
 (あてはまる番号すべてに○)

➤ 「休みの期間中、週に数日利用したい」が 33.5%、「利用する必要はない」が 31.7%となっています。



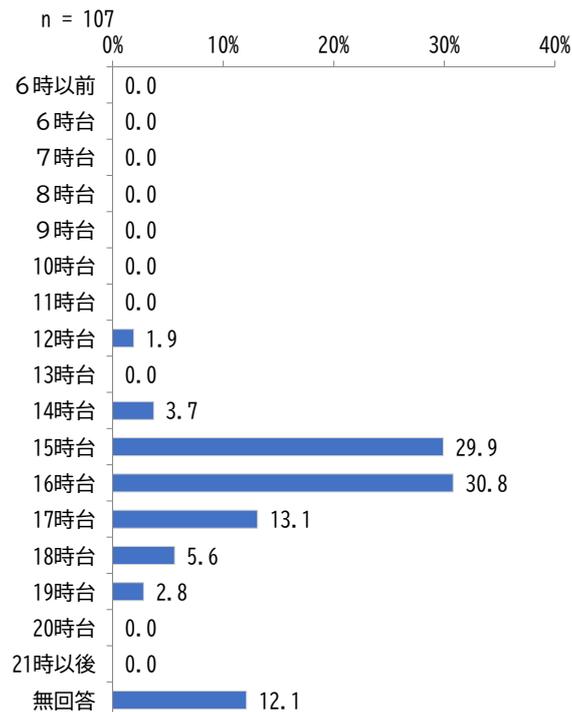
問 18-1 【長期休暇中の幼稚園利用希望の時間帯】開始時間

- 「8時台」が43.0%で最も多く、次いで「9時台」が28.0%、「10時台」が12.1%となっています。



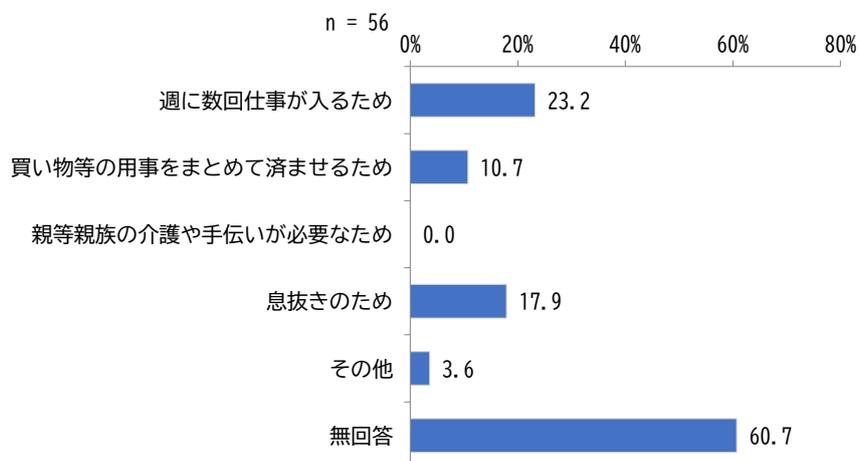
問 18-2 【長期休暇中の幼稚園利用希望の時間帯】終了時間

- 「16時台」が30.8%で最も多く、次いで「15時台」が29.9%、「17時台」が13.1%となっています。



【問 18 で「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方】
 問 18-3 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

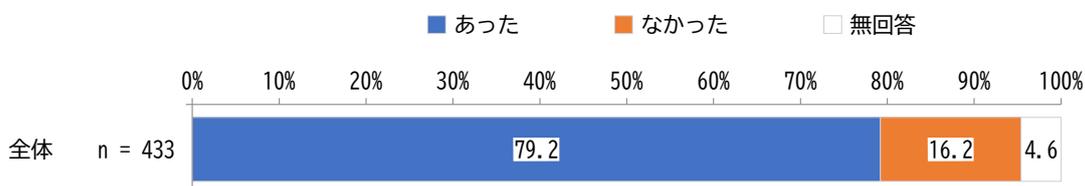
➤ 「週に数回仕事が入るため」が 23.2%で最も多く、次いで「息抜きのため」が 17.9%、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が 10.7%となっています。



お子さんの病気の際の対応について （平日の教育・保育事業 を利用する方のみ）

【問 12 で「1. 利用している」に○をつけた方】
 問 19 この1年間に、お子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。
 （あてはまる番号1つに○）

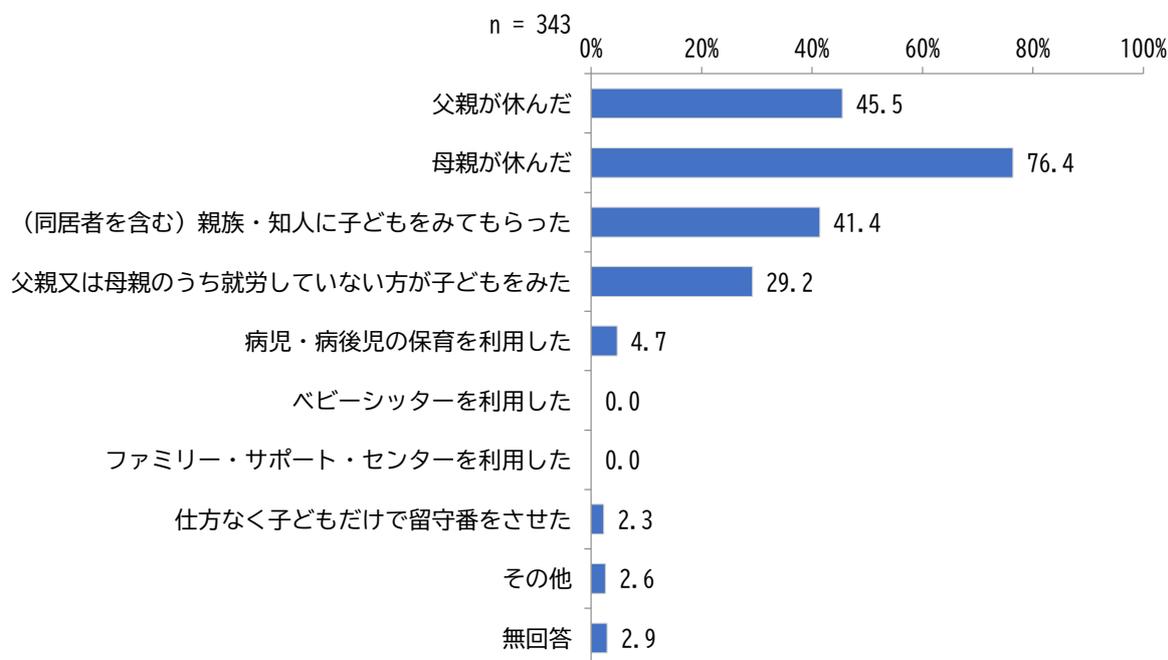
➤ 「あった」が 79.2%、「なかった」が 16.2%となっています。



【問19で「1. あった」に○をつけた方】

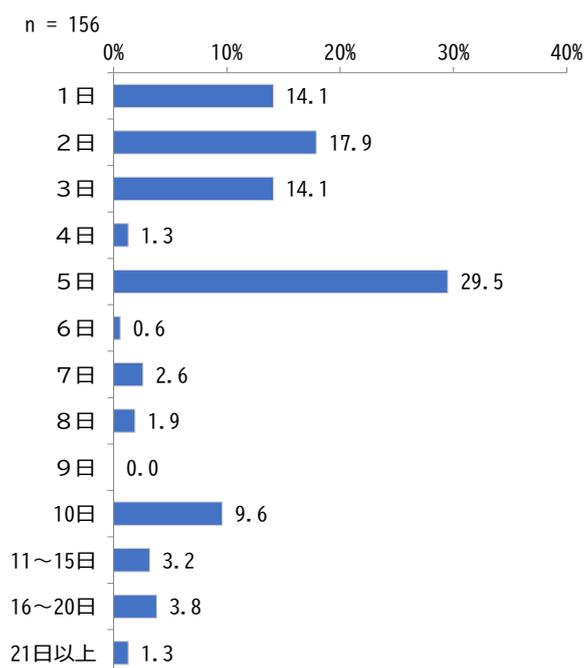
問19-1-1 お子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法はどれになりますか。

- 「母親が休んだ」が76.4%で最も多く、次いで「父親が休んだ」が45.5%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が41.4%となっています。



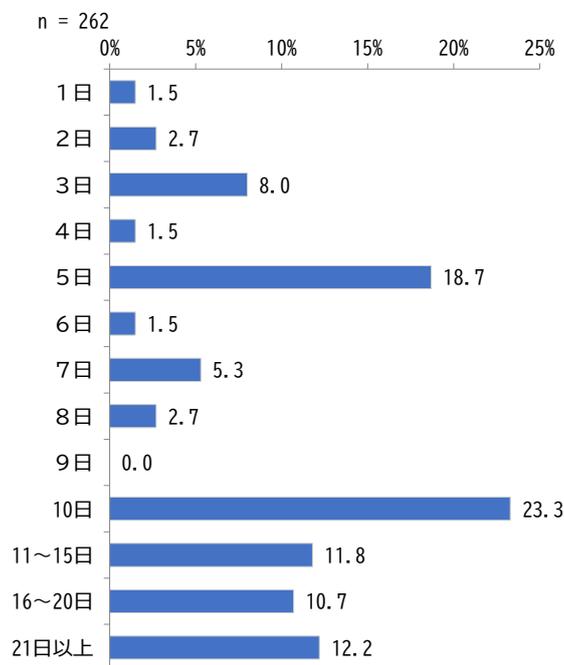
問19-1-2 【この1年間の対処方法(日数)】父親が休んだ

- 「5日」が29.5%で最も多く、次いで「2日」が17.9%、「1日」「3日」が14.1%となっています。



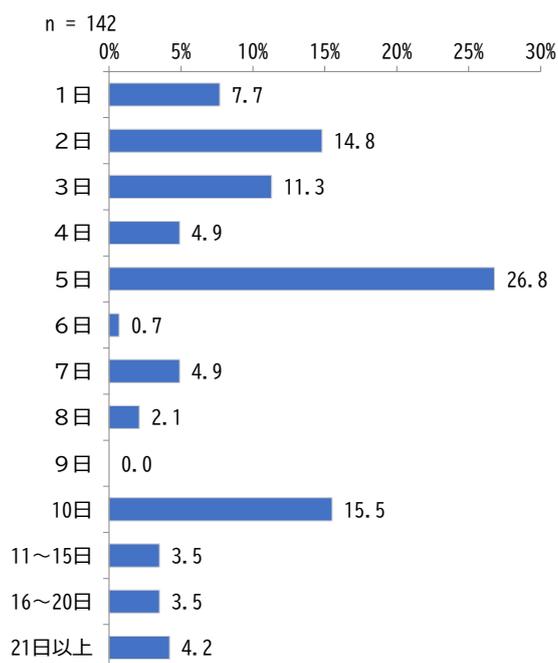
問 19-1-3 【この1年間の対処方法（日数）】 母親が休んだ

➤ 「10日」が23.3%で最も多く、次いで「5日」が18.7%、「21日以上」が12.2%となっています。



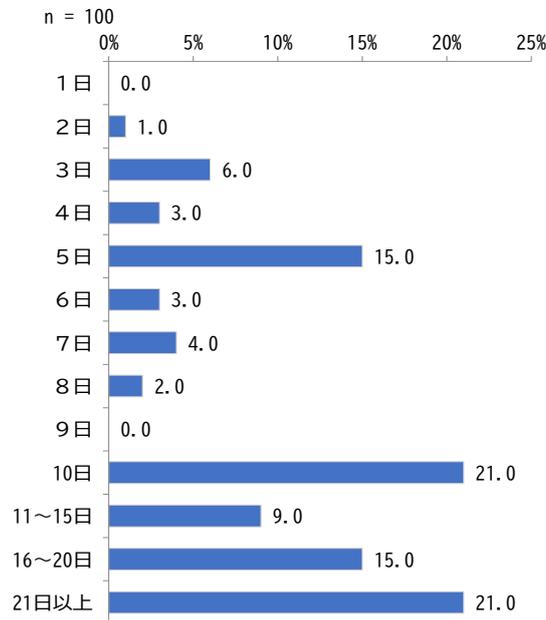
問 19-1-4 【この1年間の対処方法（日数）】 (同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった

➤ 「5日」が26.8%で最も多く、次いで「10日」が15.5%、「2日」が14.8%となっています。



問 19-1-5 【この1年間の対処方法（日数）】 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた

- 「10日」「21日以上」が21.0%で最も多く、次いで「5日」「16～20日」が15.0%、「11～15日」が9.0%となっています。



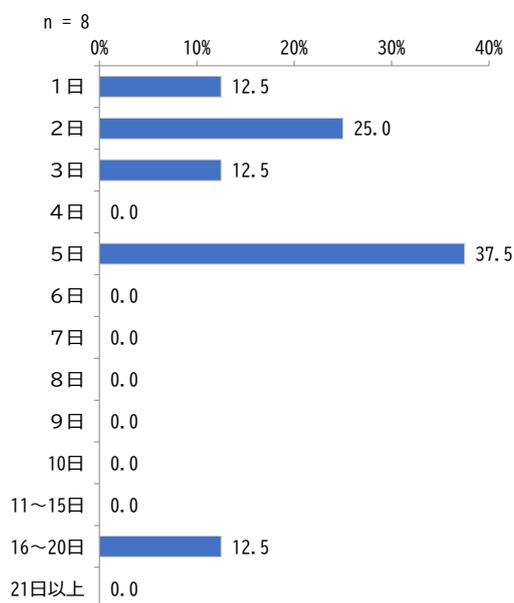
問 19-1-6 【この1年間の対処方法（日数）】 病児・病後児保育施設を利用した

- 「5日」「10日」が25.0%で最も多く、次いで「1日」「3日」「7日」が12.5%、「16～20日」「21日以上」が6.3%となっています。



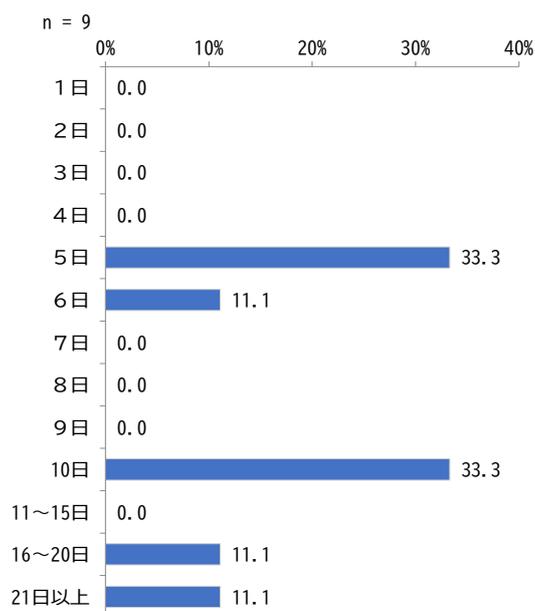
問 19-1-7【この1年間の対処方法（日数）】仕方なく子どもだけで留守番をさせた

- 「5日」が37.5%で最も多く、次いで「2日」が25.0%、「1日」「3日」「16～20日」が12.5%となっています。



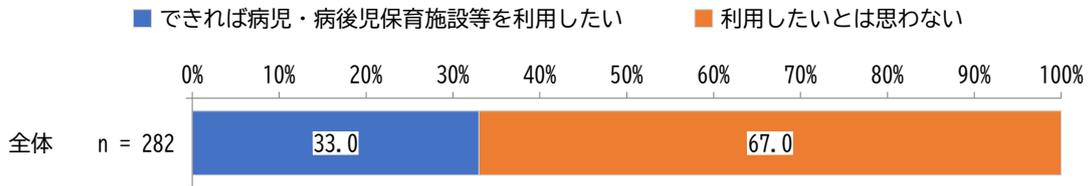
問 19-1-8【この1年間の対処方法（日数）】その他

- 「5日」「10日」が33.3%で最も多く、次いで「6日」「16～20日」「21日以上」が11.1%となっています。



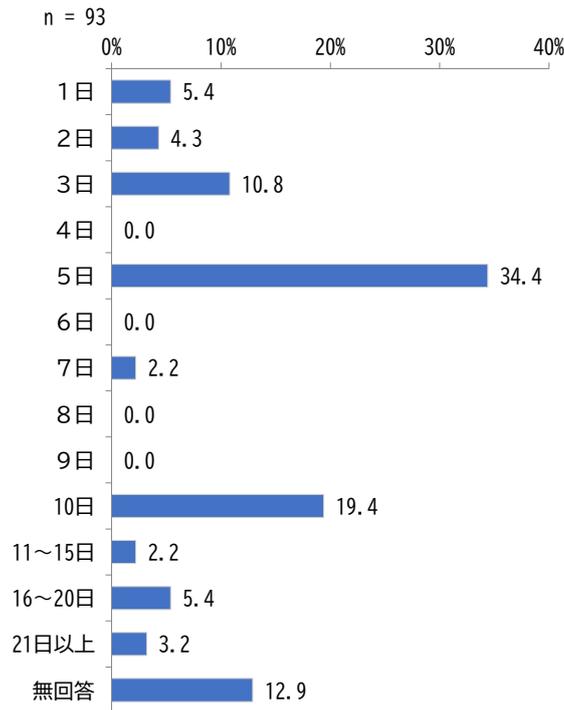
【問 19-1-1 で「1. 父親が休んだ」「2. 母親が休んだ」のいずれかに○をつけた方】
 問 19-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。
 （あてはまる番号1つに○）

➤ 「利用したいとは思わない」が 67.0%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 33.0%となっています。



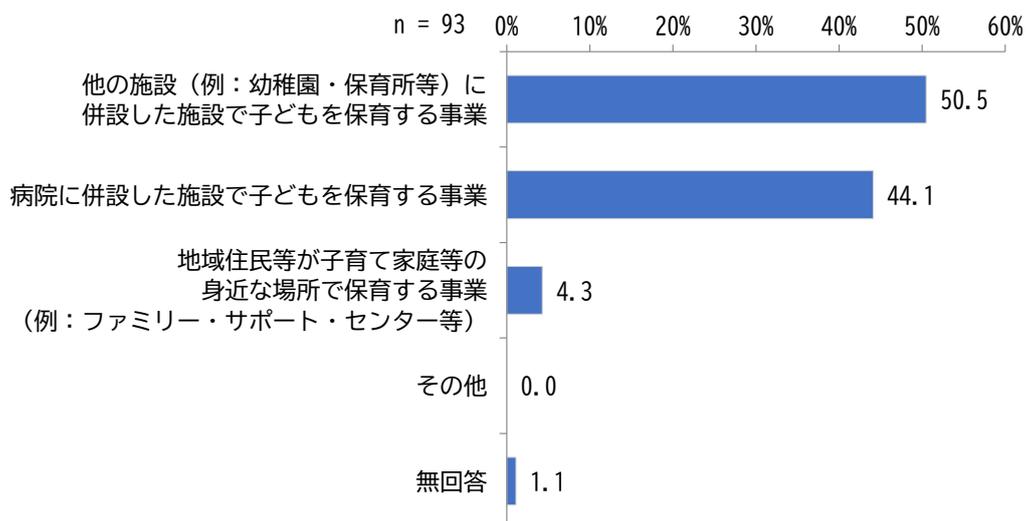
問 19-3 父親・母親が休んだ際の病児・病後児保育施設の「利用したい日数」

➤ 「5日」が 34.4%で最も多く、次いで「10日」が 19.4%、「3日」が 10.8%となっています。



【問 19-3 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方】
問 19-4 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。
(あてはまる番号すべてに○)

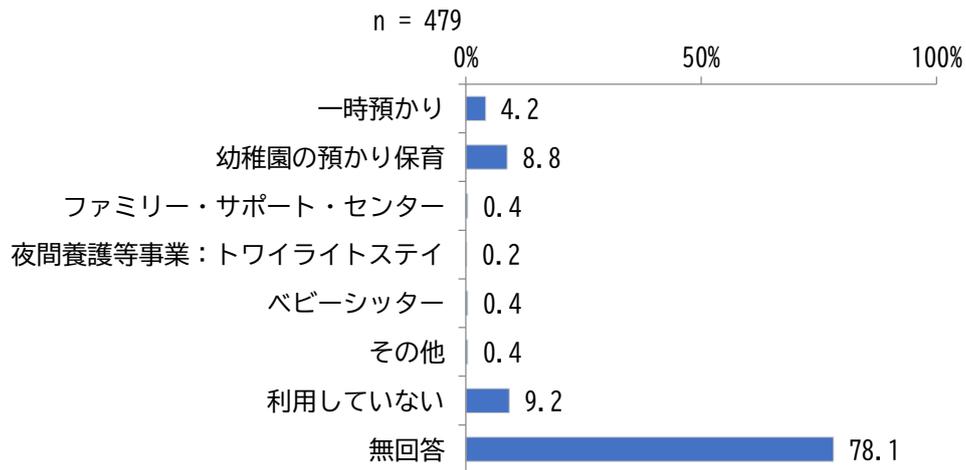
➤ 「他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」が 50.5%、「病院に併設した施設で子どもを保育する事業」が 44.1%となっています。



お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

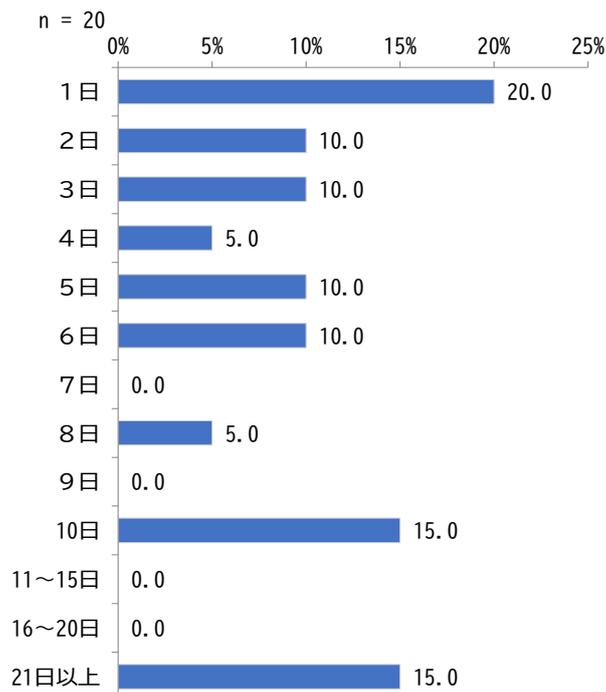
問 20 お子さんについて、平日の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。(あてはまる番号すべてに○)

- 「利用していない」が9.2%で最も多く、次いで「幼稚園の預かり保育」が8.8%、「一時預かり」が4.2%となっています。



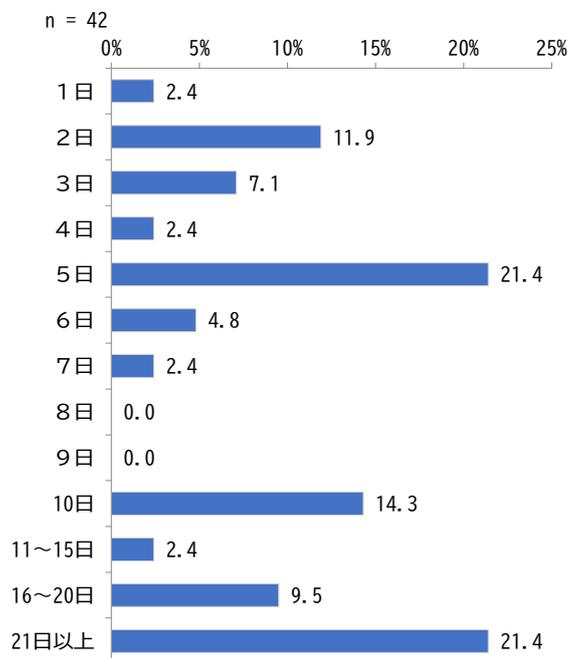
問 20-1 【不定期に利用している教育・保育事業の利用日数（年間）】 一時預かり

- 「1日」が20.0%で最も多く、次いで「10日」「21日以上」が15.0%、「2日」「3日」「5日」「6日」が10.0%となっています。



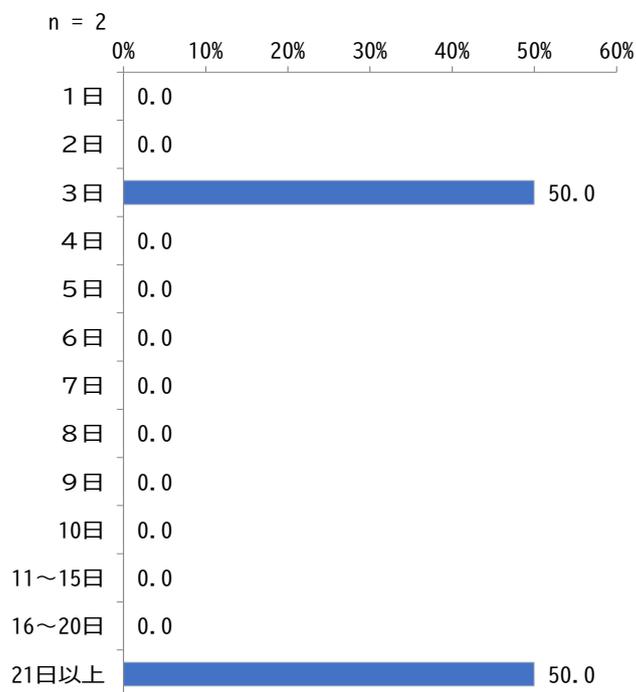
問 20-2 【不定期に利用している教育・保育事業の利用日数（年間）】幼稚園の預かり保育

- 「5日」「21日以上」が21.4%で最も多く、次いで「10日」が14.3%、「2日」が11.9%となっています。



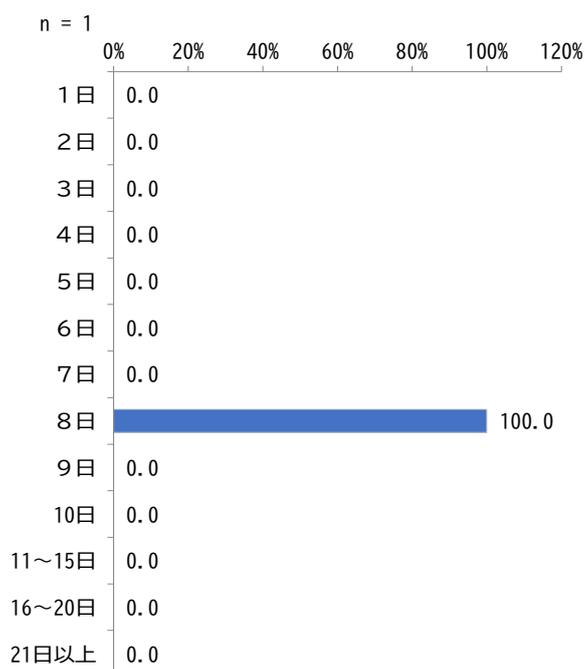
問 20-3 【不定期に利用している教育・保育事業の利用日数（年間）】ファミリー・サポート・センター

➤ 「3日」「21日以上」が50.0%となっています。



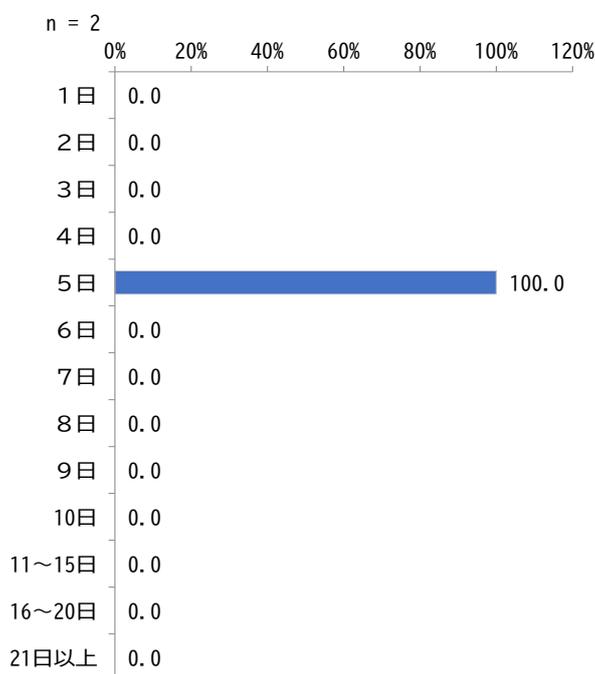
問 20-4 【不定期に利用している教育・保育事業の利用日数（年間）】夜間養護等事業：トワイライトステイ

➤ 「8日」が100.0%となっています。



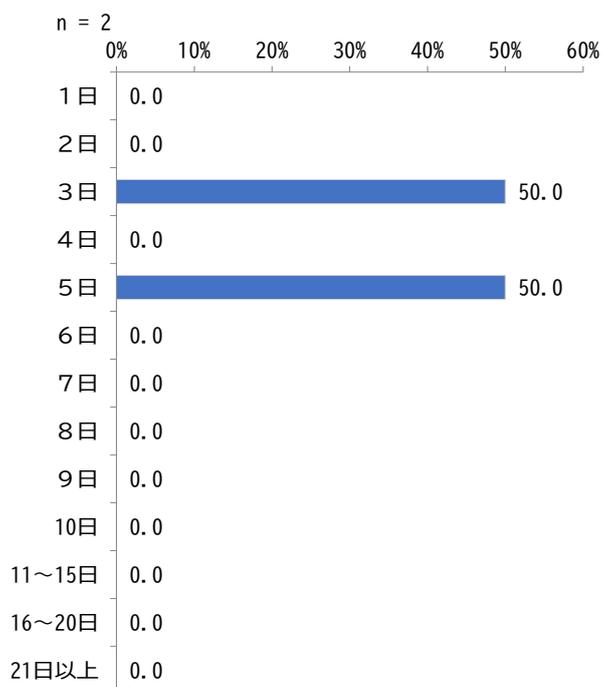
問 20-5 【不定期に利用している教育・保育事業の利用日数（年間）】ベビーシッター

➤ 「5日」が100.0%となっています。



問 20-6 【不定期に利用している教育・保育事業の利用日数（年間）】その他

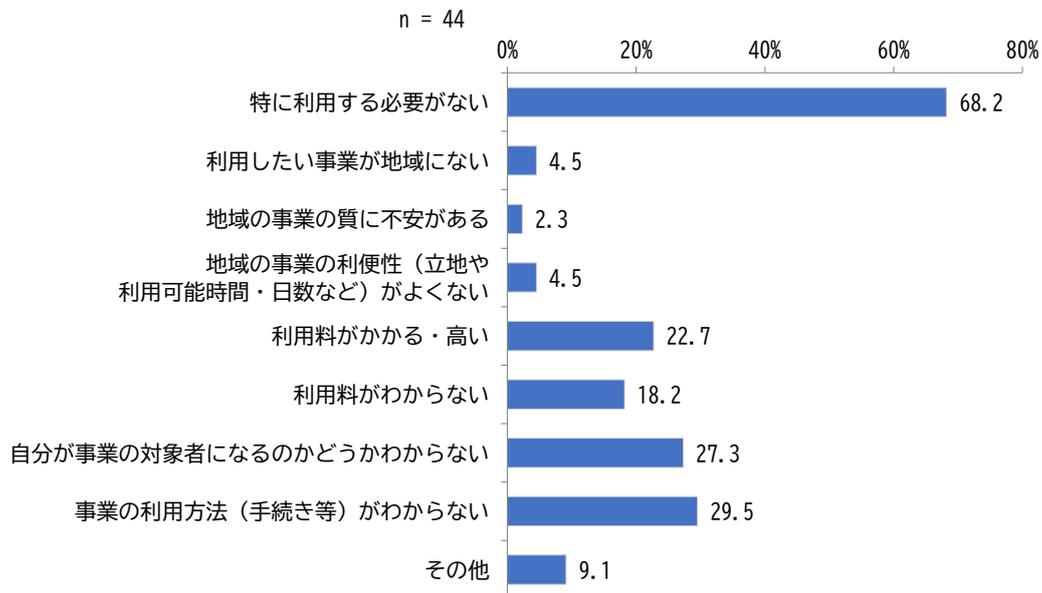
➤ 「3日」「5日」が50.0%となっています。



【問 20 で「7. 利用していない」に○をつけた方】

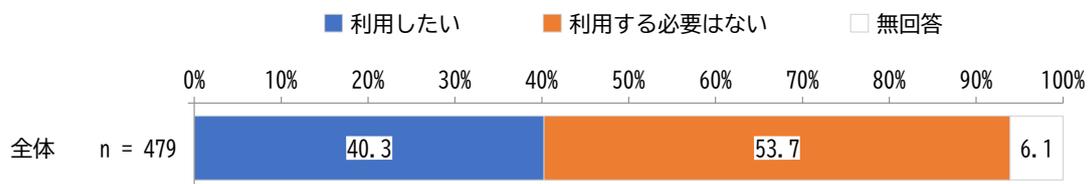
問 20-7 現在利用していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- 「特に利用する必要がない」が68.2%で最も多く、次いで「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が29.5%、「自分が事業の対象者になるのかどうかわからない」が27.3%となっています。



問 21 お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無をお答えください。(あてはまる番号に○)

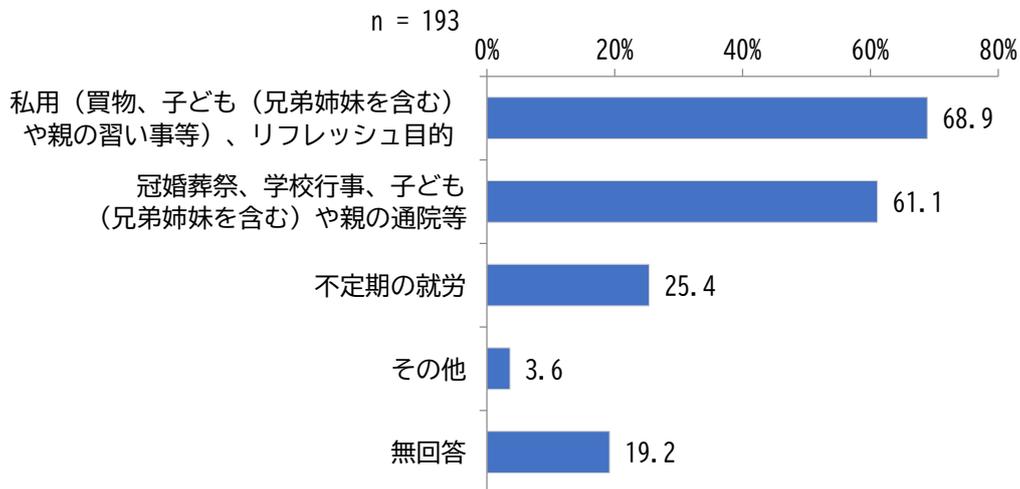
- 「利用する必要はない」が53.7%、「利用したい」が40.3%となっています。



【問 21 で「1. 利用したい」と答えた方】

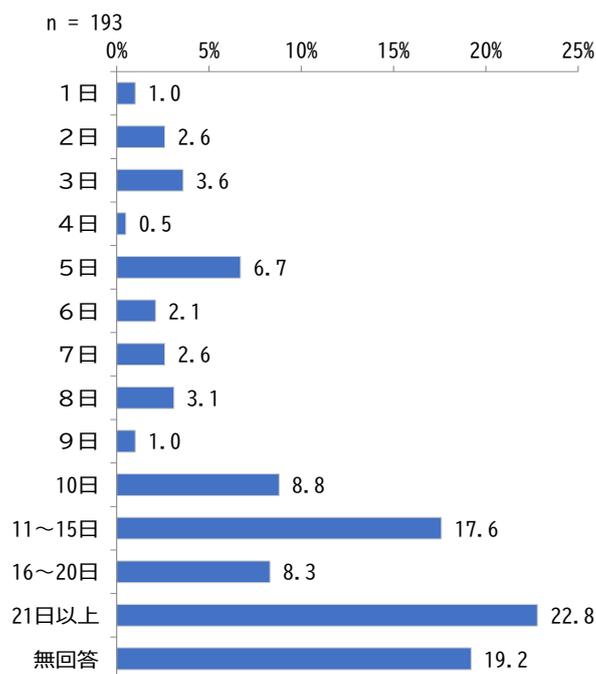
問 21-1 一時保育事業を利用したい目的

- 「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が 68.9%で最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が 61.1%、「不
定期の就労」が 25.4%となっています。



問 21-2 【一時保育事業の利用希望日数（年間）】合計

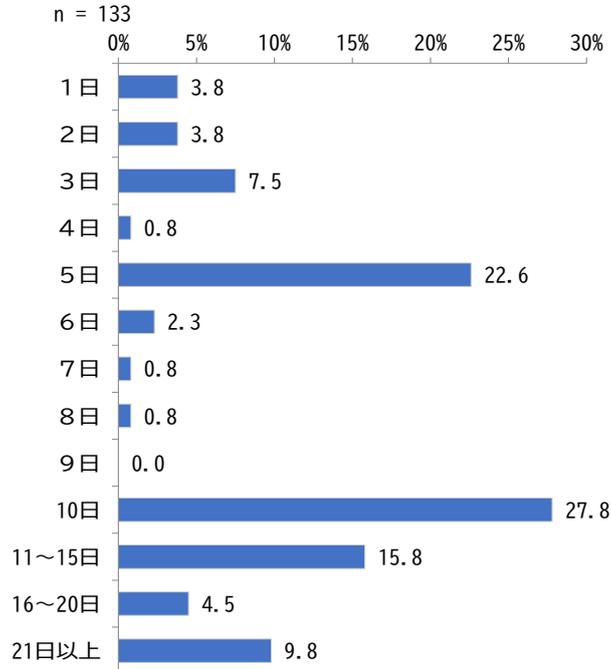
- 「21 日以上」が 22.8%で最も多く、次いで「11～15 日」が 17.6%、「10 日」が 8.8%となっ
ています。



問 21-3 【一時保育事業の利用希望日数（年間）】

私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的

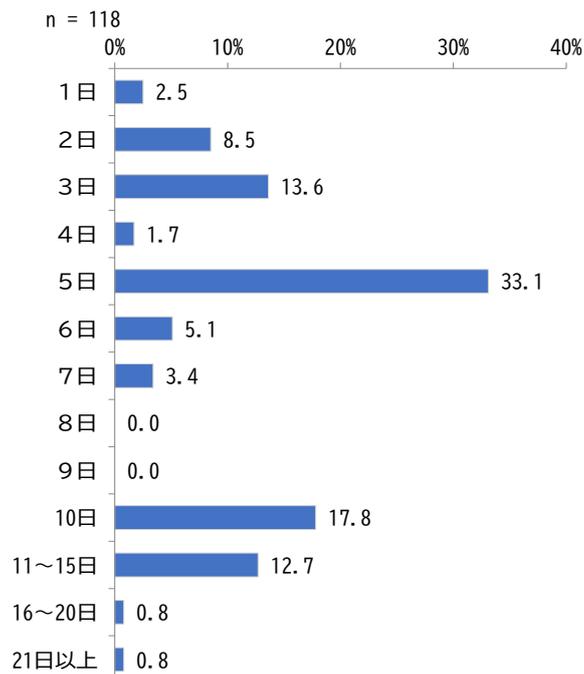
- 「10日」が27.8%で最も多く、次いで「5日」が22.6%、「11～15日」が15.8%となっています。



問 21-4 【一時保育事業の利用希望日数（年間）】

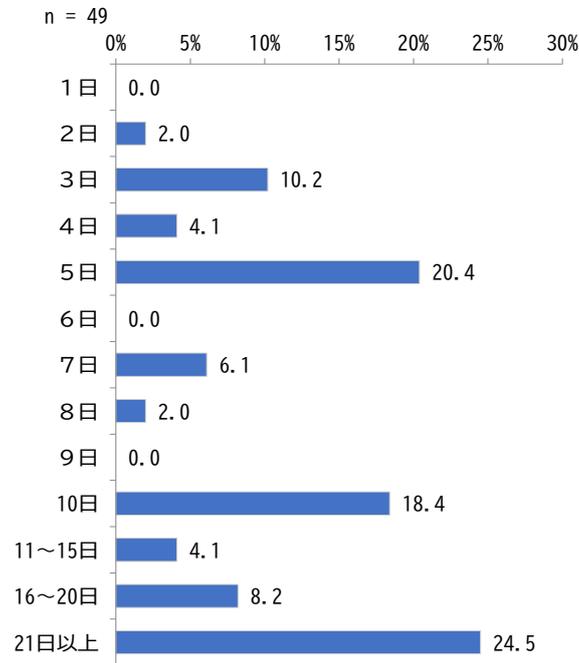
冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等

- 「5日」が33.1%で最も多く、次いで「10日」が17.8%、「3日」が13.6%となっています。



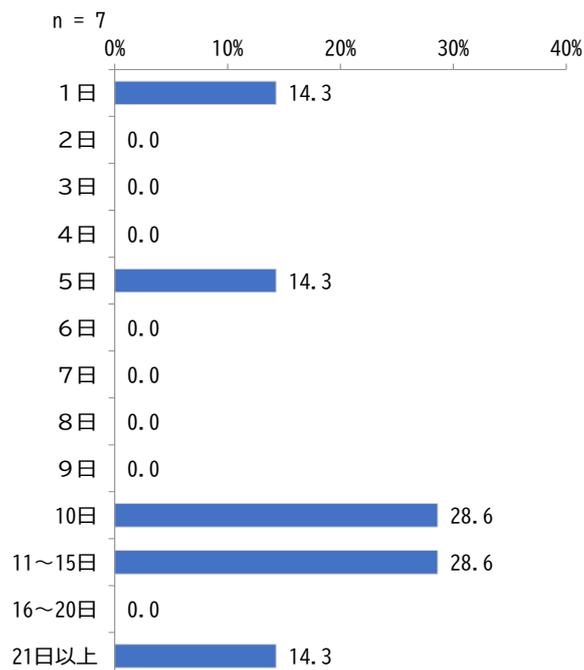
問 21-5 【一時保育事業の利用希望日数（年間）】 不定期の就労

➤ 「21日以上」が24.5%で最も多く、次いで「5日」が20.4%、「10日」が18.4%となっています。



問 21-6 【一時保育事業の利用希望日数（年間）】 その他

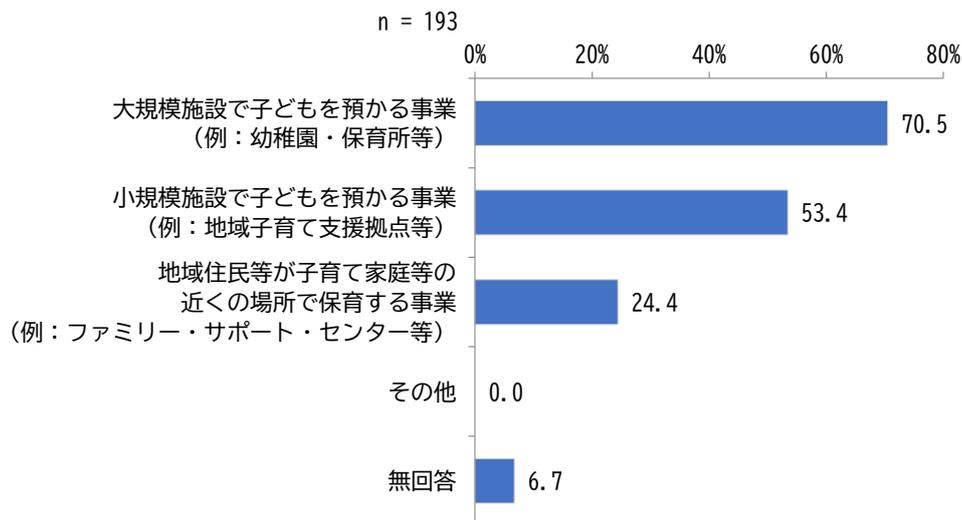
➤ 「10日」「11~15日」が28.6%で最も多く、次いで「1日」「5日」「21日以上」が14.3%となっています。



【問 21 で「1. 利用したい」に○をつけた方】

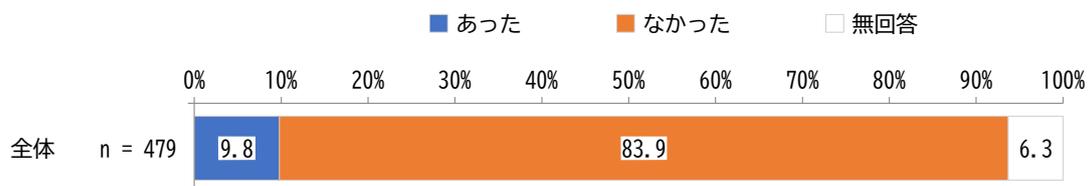
問 21-7 お子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。（あてはまる番号すべてに○）

- 「大規模施設で子どもを預かる事業（例：幼稚園・保育所等）」が70.5%で最も多く、次いで「小規模施設で子どもを預かる事業（例：地域子育て支援拠点等）」が53.4%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」が24.4%となっています。



問 22 この1年間に保護者の用事により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。（預け先が見つからなかった場合も含みます）（あてはまる番号に○）

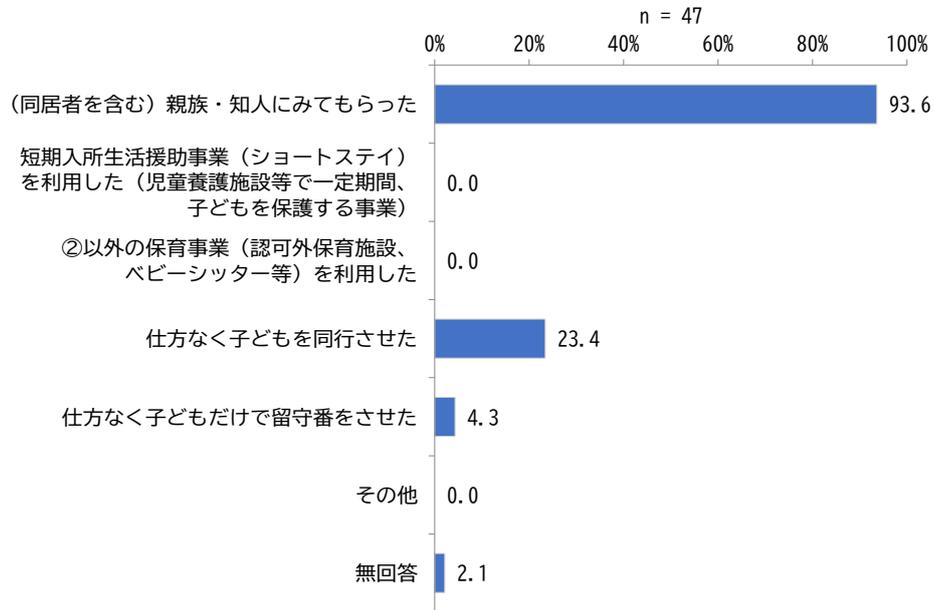
- 「なかった」が83.9%、「あった」が9.8%となっています。



【問 22 で「1. あった」を選択した方】

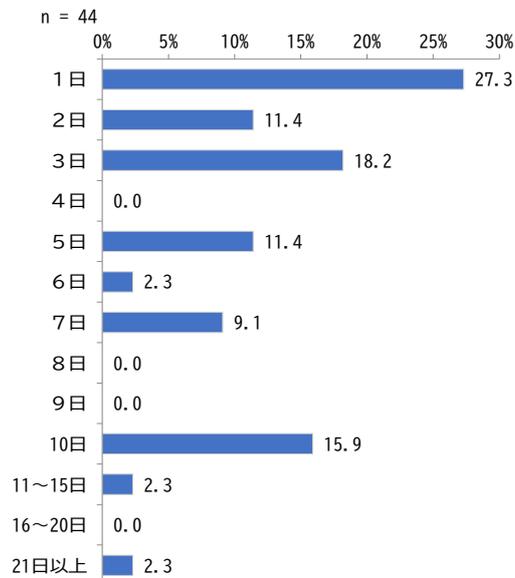
問 22-1 1年間の対処法

- 「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が93.6%で最も多く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が23.4%、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が4.3%となっています。



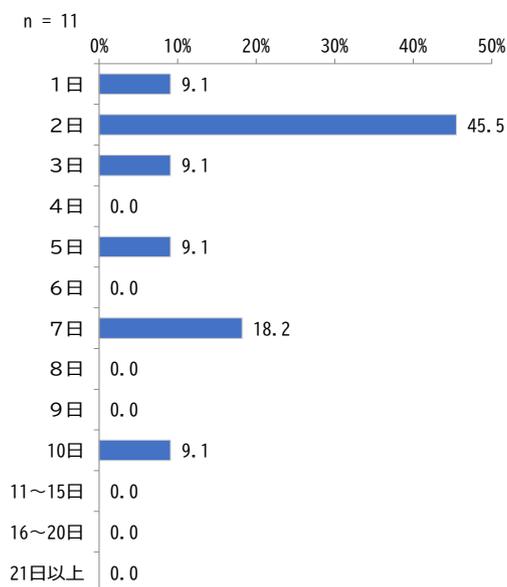
問 22-1(1) 【日数 (年間)】 (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった

- 「1日」が27.3%で最も多く、次いで「3日」が18.2%、「10日」が15.9%となっています。



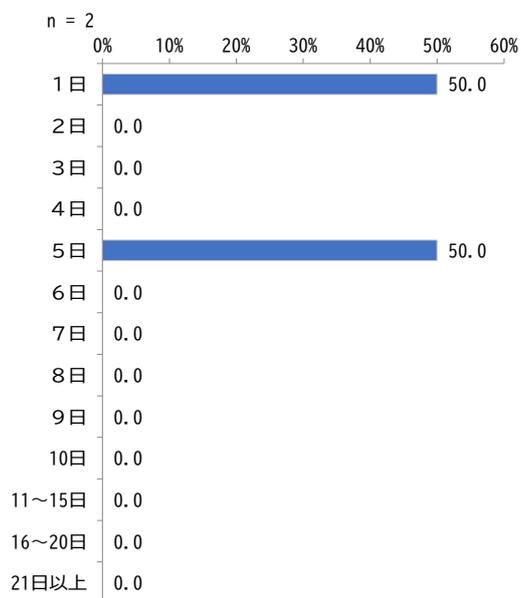
問 22-1(2) 【日数（年間）】仕方なく子どもを同行させた

- 「2日」が45.5%で最も多く、次いで「7日」が18.2%、「1日」「3日」「5日」「10日」が9.1%となっています。



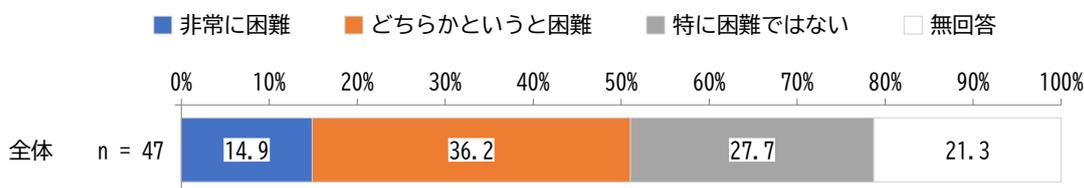
問 22-1(3) 【日数（年間）】仕方なく子どもだけで留守番をさせた

- 「1日」「5日」が50.0%となっています。



【問 22-1(1)で「1. あった (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」に○をつけた方】
 問 22-2 その場合の困難度はどの程度でしたか。(あてはまる番号1つに○)

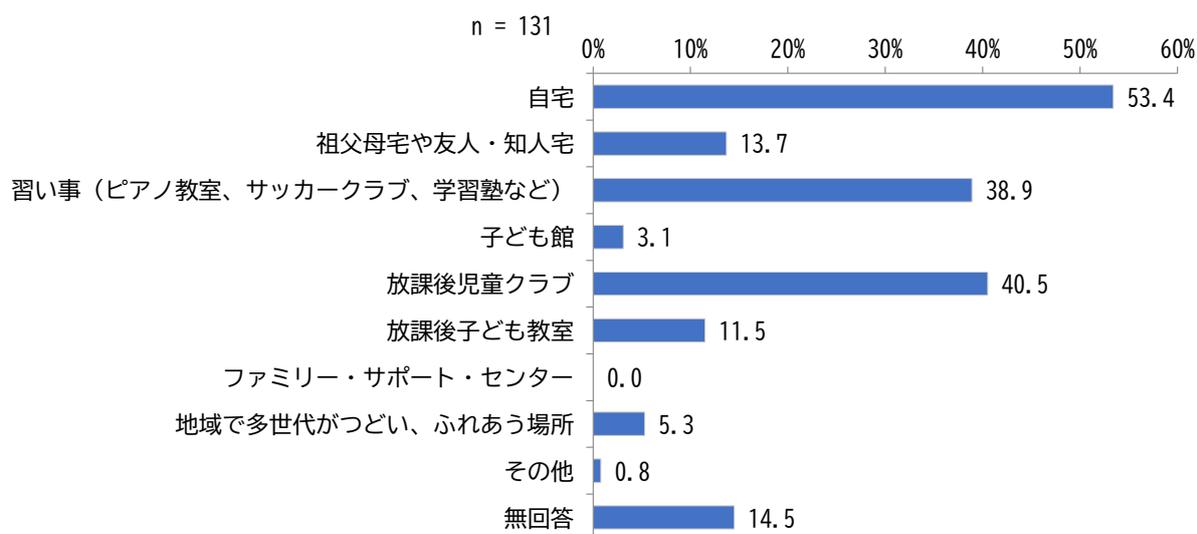
➤ 「どちらかという困難」が36.2%、「特に困難ではない」が27.7%となっています。



【お子さんが5歳以上の方】小学校就学後の放課後の過ごし方について

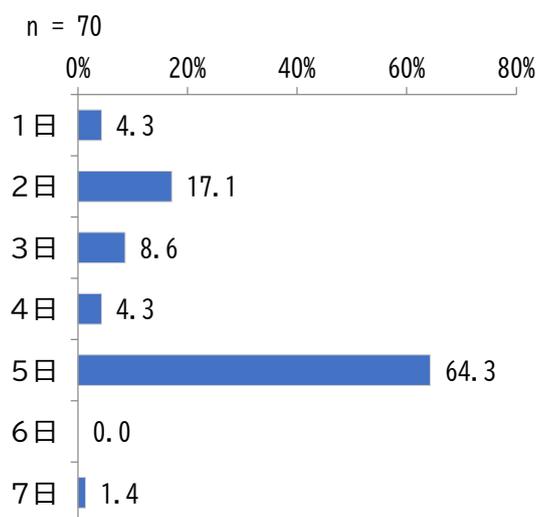
問 23 【5歳児以上】お子さんについて、小学校低学年(1~3年生)のうち、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

➤ 「自宅」が53.4%で最も多く、次いで「放課後児童クラブ」が40.5%、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が38.9%となっています。



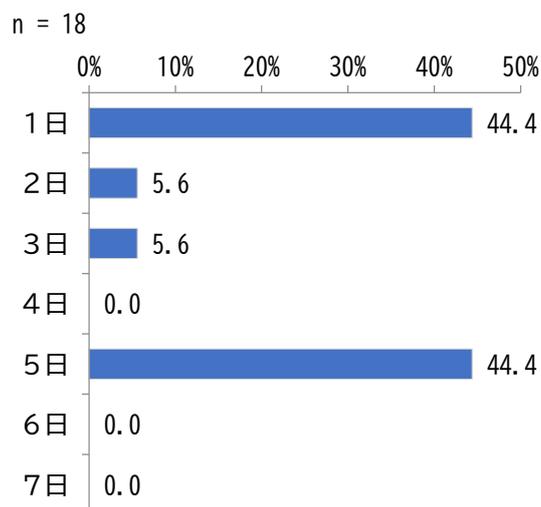
問 23-1 【放課後に過ごさせたい場所（低学年）】 自宅

➤ 「5日」が64.3%で最も多く、次いで「2日」が17.1%、「3日」が8.6%となっています。



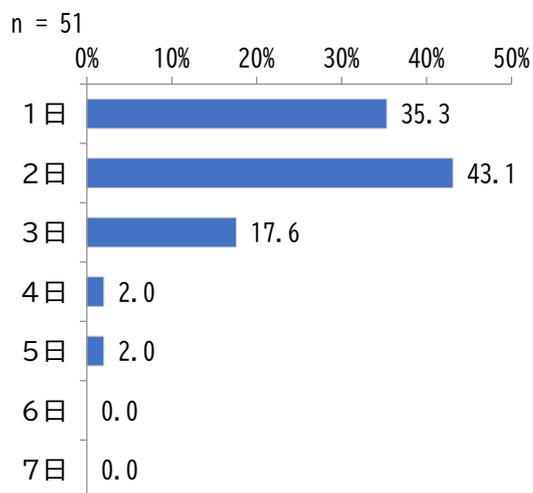
問 23-2 【放課後に過ごさせたい場所（低学年）】 祖父母宅や友人・知人宅

➤ 「1日」「5日」が44.4%で最も多く、次いで「2日」「3日」が5.6%となっています。



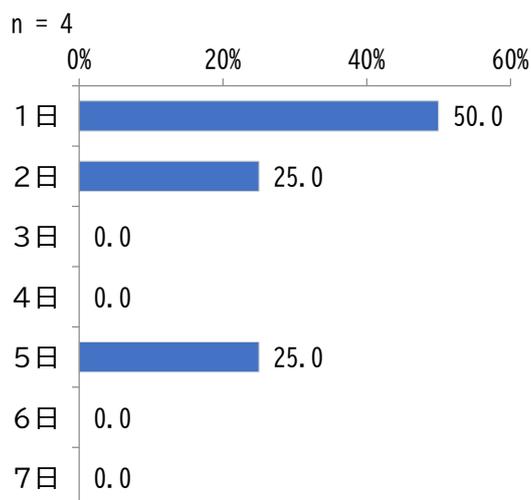
問 23-3 【放課後に過ごさせたい場所（低学年）】習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）

➤ 「2日」が43.1%で最も多く、次いで「1日」が35.3%、「3日」が17.6%となっています。



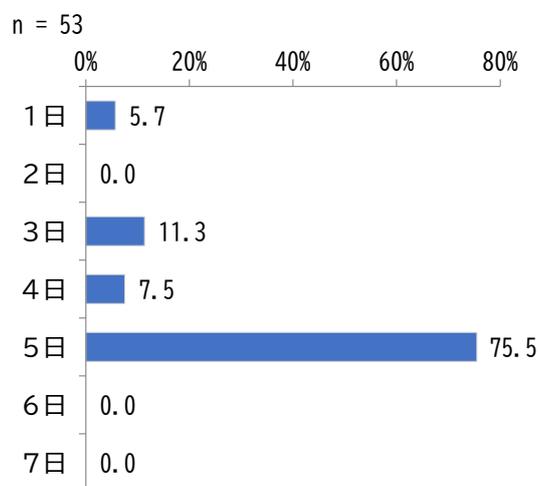
問 23-4 【放課後に過ごさせたい場所（低学年）】子ども館

➤ 「1日」が50.0%で最も多く、次いで「2日」「5日」が25.0%となっています。



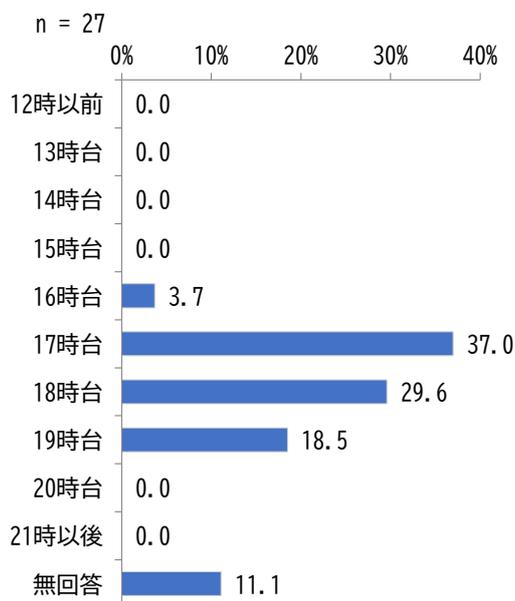
問 23-5 【放課後に過ごさせたい場所（低学年）】放課後児童クラブ

➤ 「5日」が75.5%で最も多く、次いで「3日」が11.3%、「4日」が7.5%となっています。



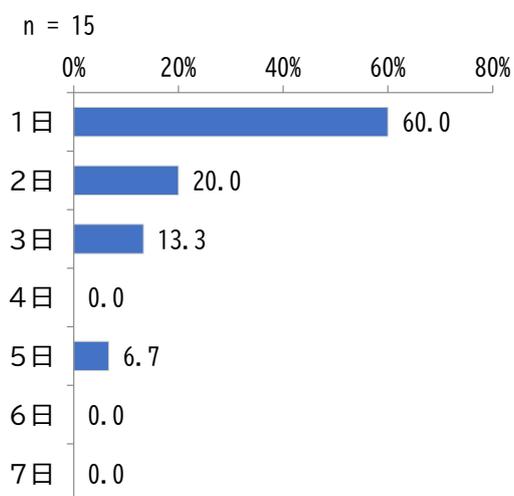
問 23-5-1 【放課後に過ごさせたい場所（低学年）】放課後児童クラブ 下校時からの利用希望時間

➤ 「17時台」が37.0%で最も多く、次いで「18時台」が29.6%、「19時台」が18.5%となっています。



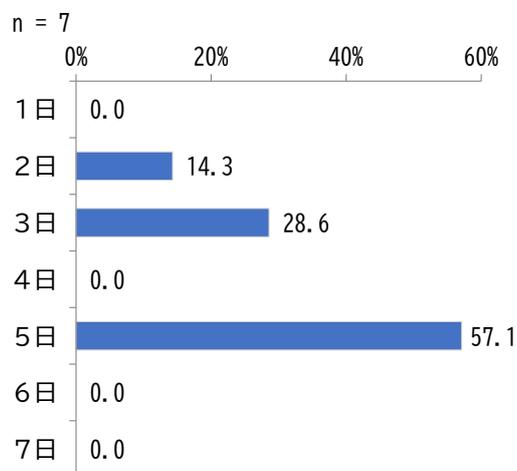
問 23-6 【放課後に過ごさせたい場所（低学年）】放課後子ども教室

➤ 「1日」が60.0%で最も多く、次いで「2日」が20.0%、「3日」が13.3%となっています。



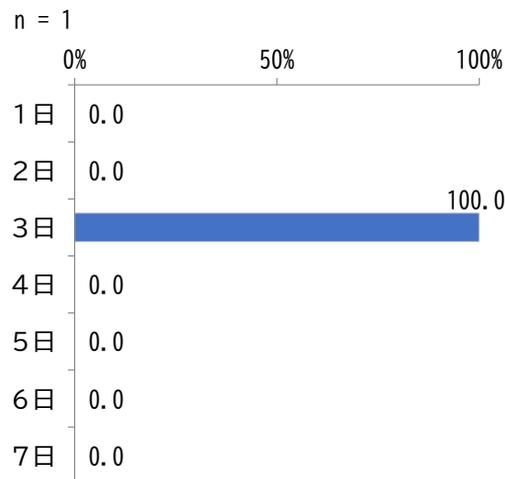
問 23-7 【放課後に過ごさせたい場所（低学年）】放課後等ディサービス

➤ 「5日」が57.1%で最も多く、次いで「3日」が28.6%、「2日」が14.3%となっています。



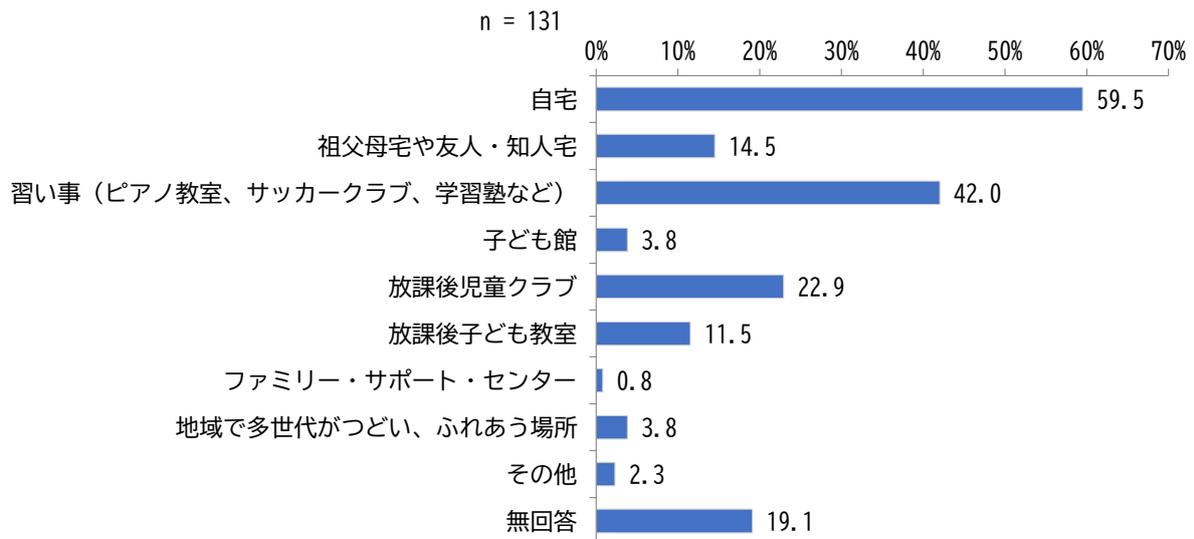
問 23-8 【放課後に過ごさせたい場所（低学年）】 その他

➤ 「3日」が100.0%となっています。



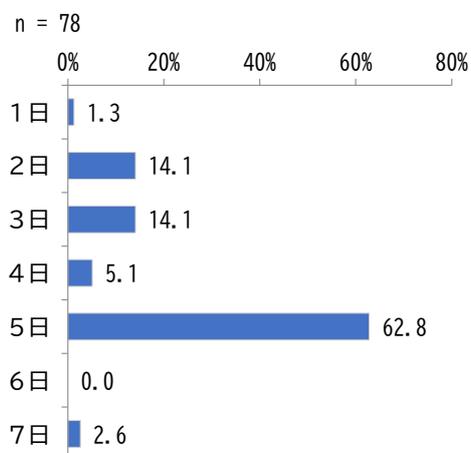
問 24 【5歳児以上】お子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

➤ 「自宅」が59.5%で最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が42.0%、「放課後児童クラブ」が22.9%となっています。



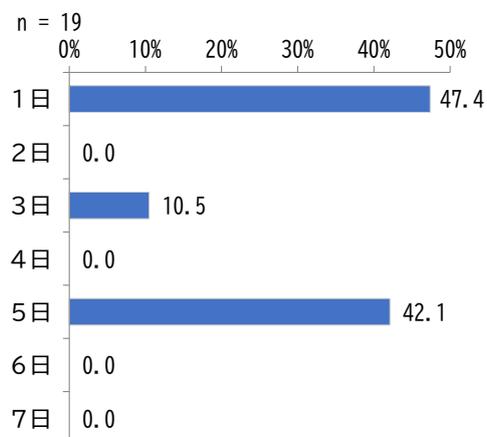
問 24-1 【放課後に過ごさせたい場所（高学年）】 自宅

➤ 「5日」が62.8%で最も多く、次いで「2日」「3日」が14.1%、「4日」が5.1%となっています。



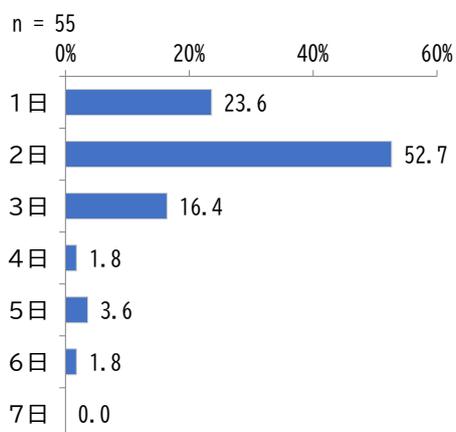
問 24-2 【放課後に過ごさせたい場所（高学年）】 祖父母宅や友人・知人宅

➤ 「1日」が47.4%で最も多く、次いで「5日」が42.1%、「3日」が10.5%となっています。



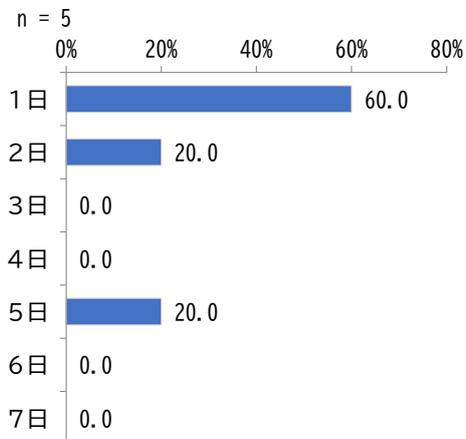
問 24-3 【放課後に過ごさせたい場所（高学年）】習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）

➤ 「2日」が52.7%で最も多く、次いで「1日」が23.6%、「3日」が16.4%となっています。



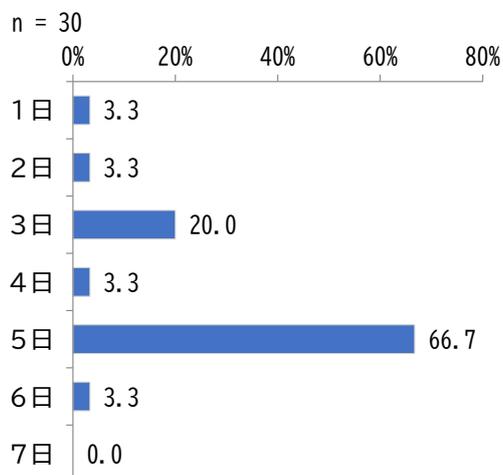
問 24-4 【放課後に過ごさせたい場所（高学年）】子ども館

➤ 「1日」が60.0%で最も多く、次いで「2日」「5日」が20.0%となっています。



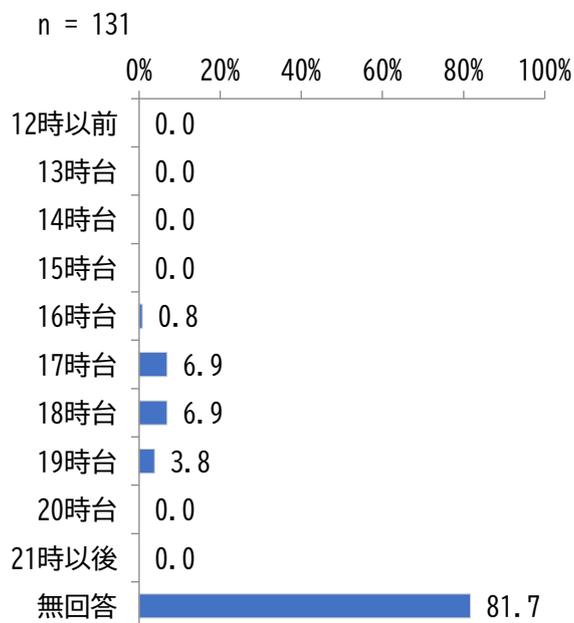
問 24-5 【放課後に過ごさせたい場所（高学年）】放課後児童クラブ

- 「5日」が66.7%で最も多く、次いで「3日」が20.0%、「1日」「2日」「4日」「6日」が3.3%となっています。



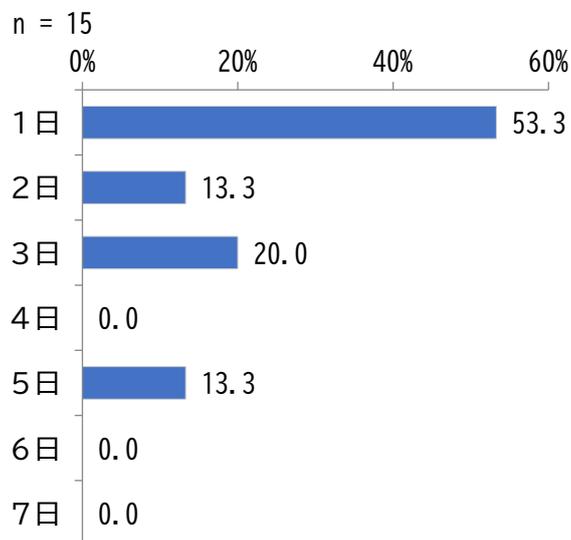
問 24-5-1 【放課後に過ごさせたい場所（高学年）】放課後児童クラブ 下校時からの利用希望時間

- 「17時台」「18時台」が6.9%で最も多く、次いで「19時台」が3.8%、「16時台」が0.8%となっています。



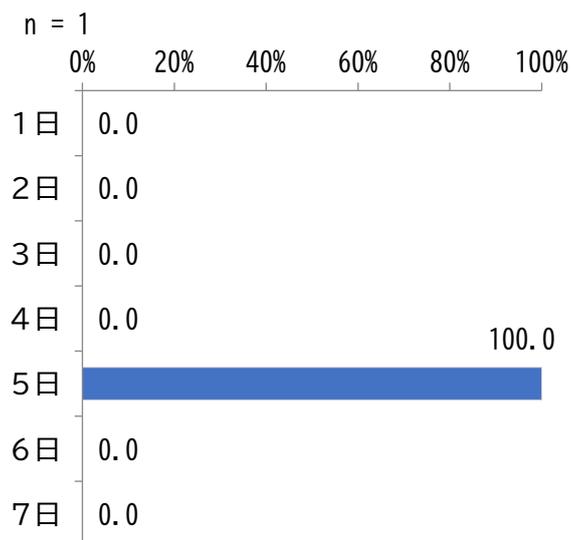
問 24-6 【放課後に過ごさせたい場所（高学年）】放課後子ども教室

- 「1日」が53.3%で最も多く、次いで「3日」が20.0%、「2日」「5日」が13.3%となっています。



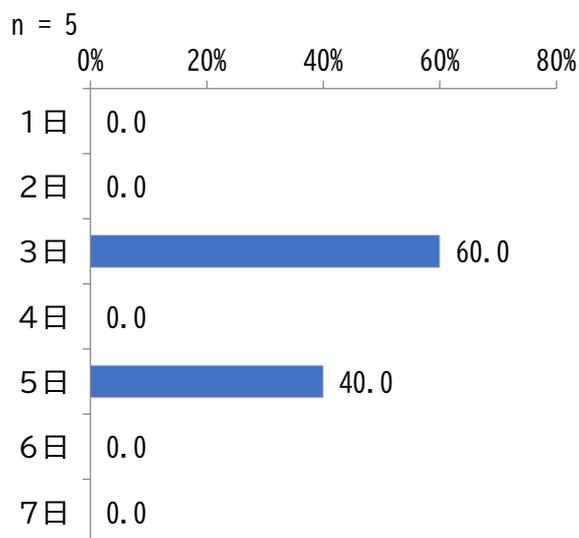
問 24-7 【放課後に過ごさせたい場所（高学年）】ファミリー・サポート・センター

- 「5日」が100.0%となっています。



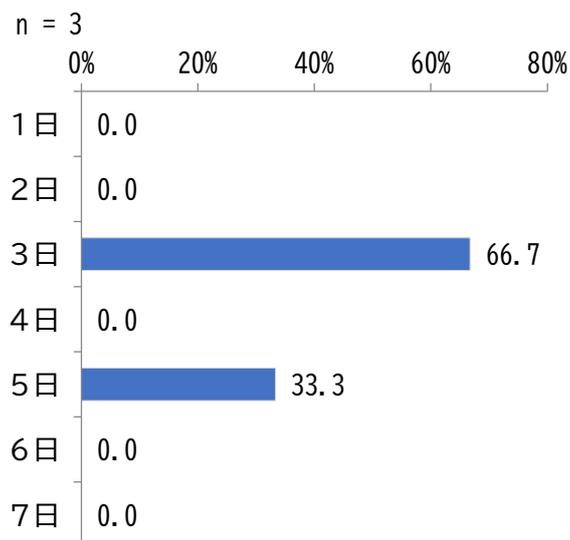
問 24-8 【放課後に過ごさせたい場所（高学年）】放課後等ディサービス

➤ 「3日」が60.0%で最も多く、次いで「5日」が40.0%となっています。



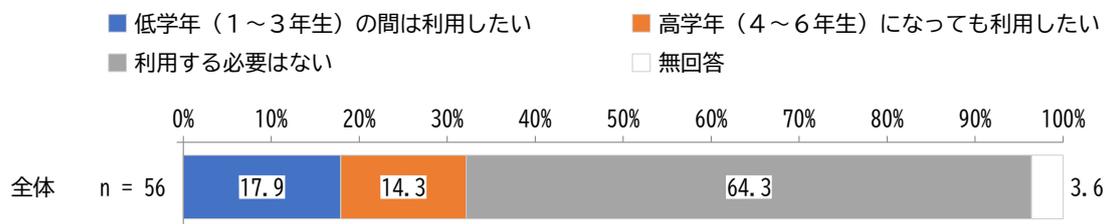
問 24-9 【放課後に過ごさせたい場所（高学年）】その他

➤ 「3日」が66.7%で最も多く、次いで「5日」が33.3%となっています。



【問 23 または問 24 で「5. 放課後児童クラブ」に○をつけた方】
 問 25-1-1 お子さんについて、【土曜日】に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。

➤ 「利用する必要はない」が 64.3%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が 17.9%となっています。



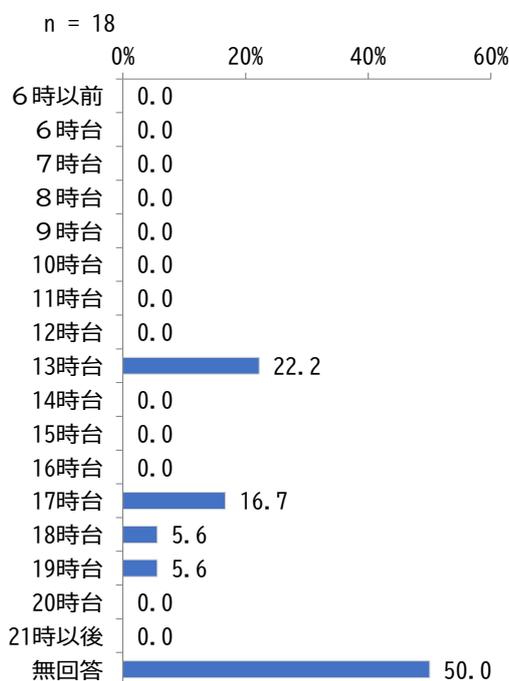
問 25-1-2 【土曜日：放課後児童クラブの利用希望】希望開始時間

➤ 「7時台」が 22.2%で最も多く、次いで「8時台」が 16.7%、「9時台」が 11.1%となっています。



問 25-1-3 【土曜日：放課後児童クラブの利用希望】 希望終了時間

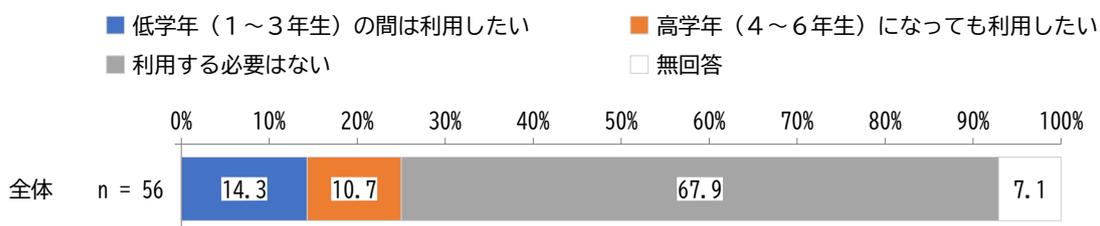
- 「13 時台」が 22.2%で最も多く、次いで「17 時台」が 16.7%、「18 時台」「19 時台」が 5.6% となっています。



【問 23 または問 24 で「5. 放課後児童クラブ」に○をつけた方】

問 25-2-1 お子さんについて、【日曜日・祝日】に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。

- 「利用する必要はない」が 67.9%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が 14.3% となっています。



問 25-2-2 【日祝：放課後児童クラブの利用希望】 希望開始時間

➤ 「7時台」「8時台」が7.1%となっています。



問 25-2-3 【日祝：放課後児童クラブの利用希望】 希望終了時間

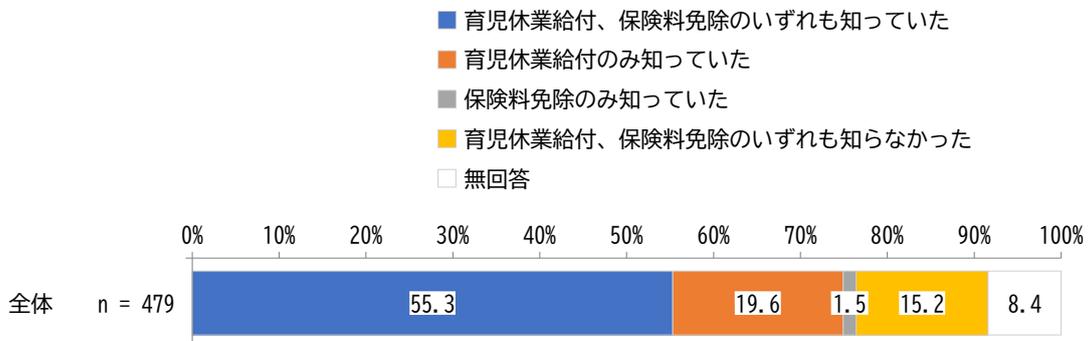
➤ 「17時台」が14.3%となっています。



【すべての方】 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

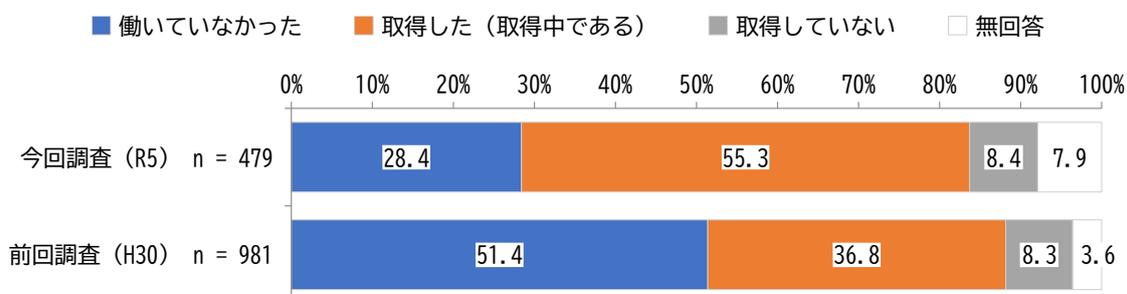
問 26 育児休業給付、社会保険料免除の仕組みについて、ご存じでしたか。
(あてはまる番号1つに○)

➤ 「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が55.3%、「育児休業給付のみ知っていた」が19.6%となっています。



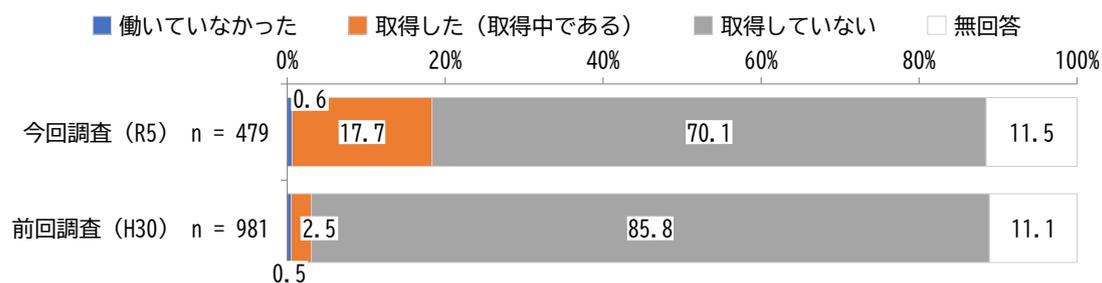
問 27-1 お子さんが生まれた時、【母親】もしくは父母双方が育児休業を取得しましたか。(あてはまる番号1つに○)

- 「取得した(取得中である)」が55.3%、「働いていなかった」が28.4%となっています。
- 前回調査と比較すると、「取得した(取得中である)」の割合が増加しており、「働いていなかった」の割合は減少しています。



問 27-2 お子さんが生まれた時、【父親】もしくは父母双方が育児休業を取得しましたか。(あてはまる番号1つに○)

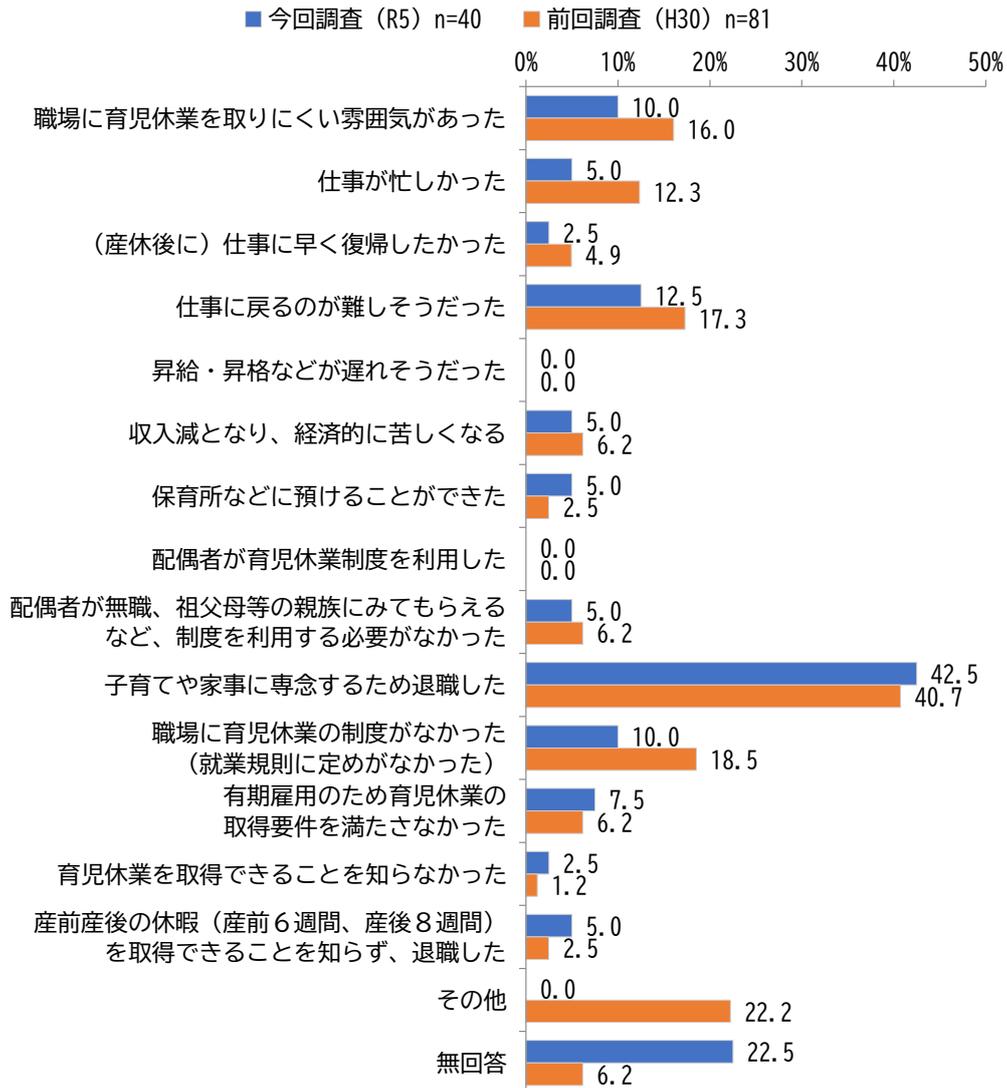
- 「取得していない」が70.1%、「取得した(取得中である)」が17.7%となっています。
- 前回調査と比較すると、「取得した(取得中である)」の割合が増加しており、「取得していない」の割合は減少しています。



【問 27-1 で「3. 取得していない」に○をつけた方】

問 27-3 【母親】 育児休業を取得していない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

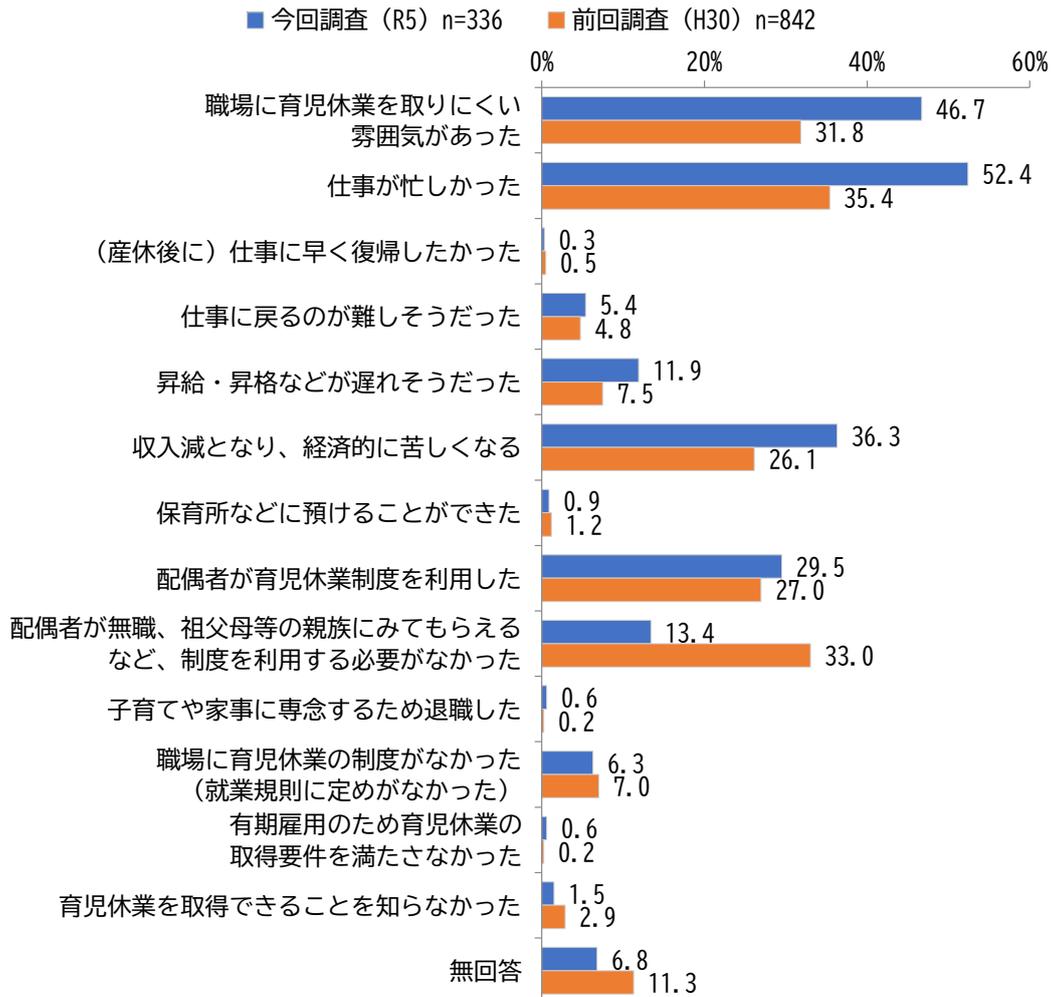
- 「子育てや家事に専念するため退職した」が 42.5%で最も多く、次いで「仕事に戻るのが難しそうだった」が 12.5%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が 10.0%となっています。
- 前回調査と比較すると、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」「仕事が忙しかった」「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が減少しています。



【問 27-2 で「3. 取得していない」に○をつけた方】

問 27-4 【父親】 育児休業を取得していない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

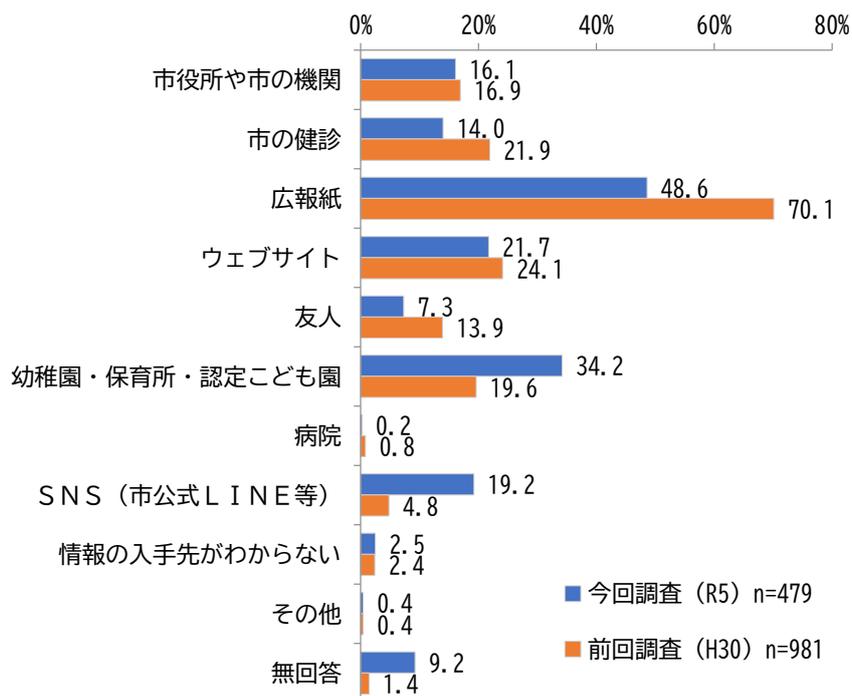
- 「仕事が忙しかった」が 52.4%で最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が 46.7%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が 36.3%となっています。
- 前回調査と比較すると、「仕事が忙しかった」「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「収入減となり、経済的に苦しくなる」の割合が増加しており、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合は減少しています。



その他のことについて

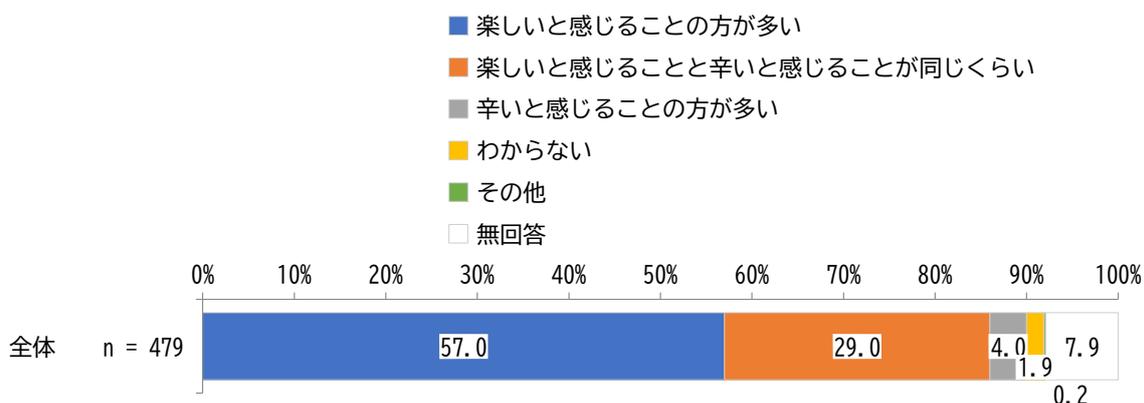
問 28 市の子育てに関する情報をどのように入手していますか。(あてはまる番号2つまでに○)

- 「広報紙」が48.6%で最も多く、次いで「幼稚園・保育所・認定こども園」が34.2%、「ウェブサイト」が21.7%となっています。
- 前回調査と比較すると、「幼稚園・保育所・認定こども園」「SNS（市公式LINE等）」の割合が増加しており、「広報紙」「市の健診」「友人」の割合は減少しています。



問 29 自分にとって、子育てを楽しんでいることが多いですか、それとも辛いと感じることが多いですか。(あてはまる番号1つに○)

- 「楽しいと感じることの方が多い」が57.0%、「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」が29.0%となっています。

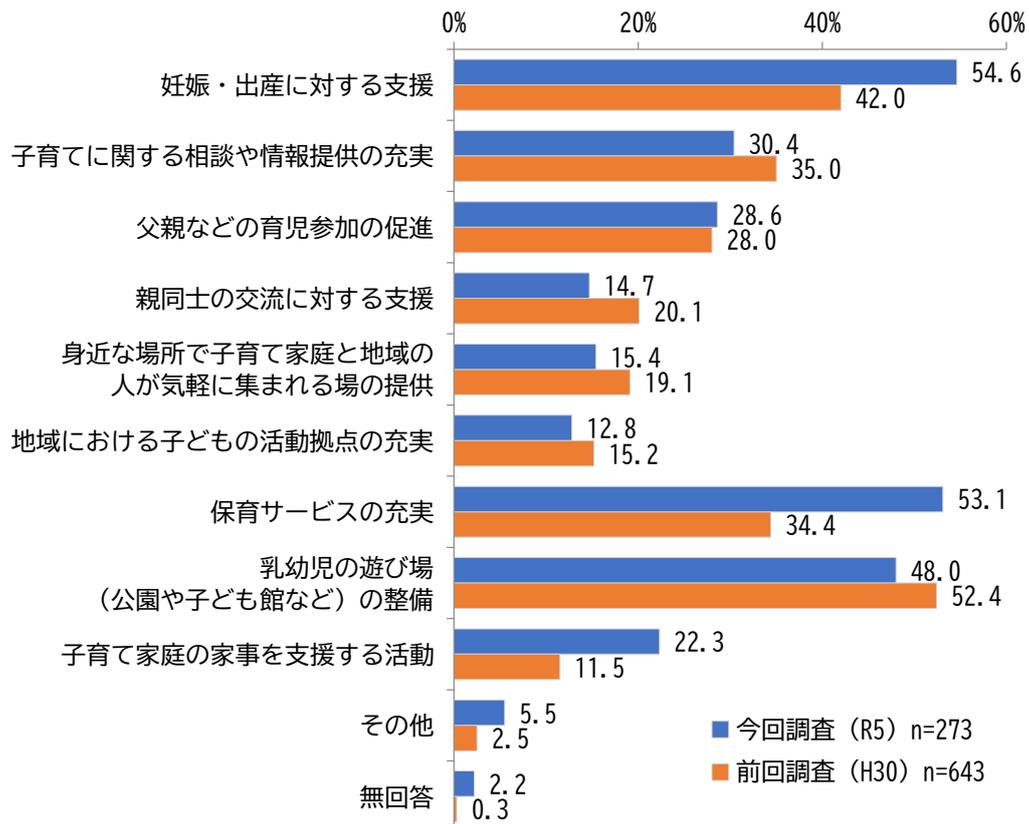


【問 29 で「1. 楽しいと感じることの方が多い」に○をつけた方】

問 29-1 子育てをする中で、どのような支援・対策が有効と感じますか。

(あてはまる番号3つまでに○)

- 「妊娠・出産に対する支援」が54.6%で最も多く、次いで「保育サービスの充実」が53.1%、「乳幼児の遊び場（公園や子ども館など）の整備」が48.0%となっています。
- 前回調査と比較すると、「保育サービスの充実」「妊娠・出産に対する支援」「子育て家庭の家事を支援する活動」の割合が増加しています。

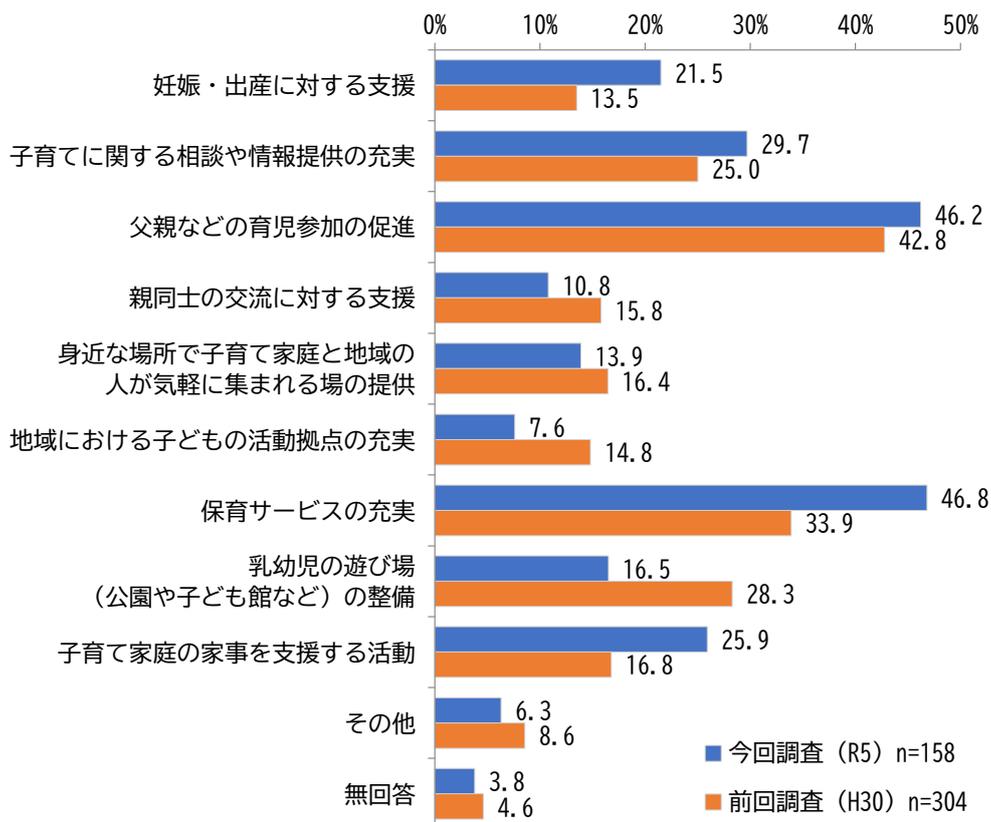


【問 29 で「2. 楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」もしくは「3. 辛いと感じることの方が多い」に○をつけた方】

問 29-2 自分にとって子育ての辛さを解消する為に必要なことは何ですか。

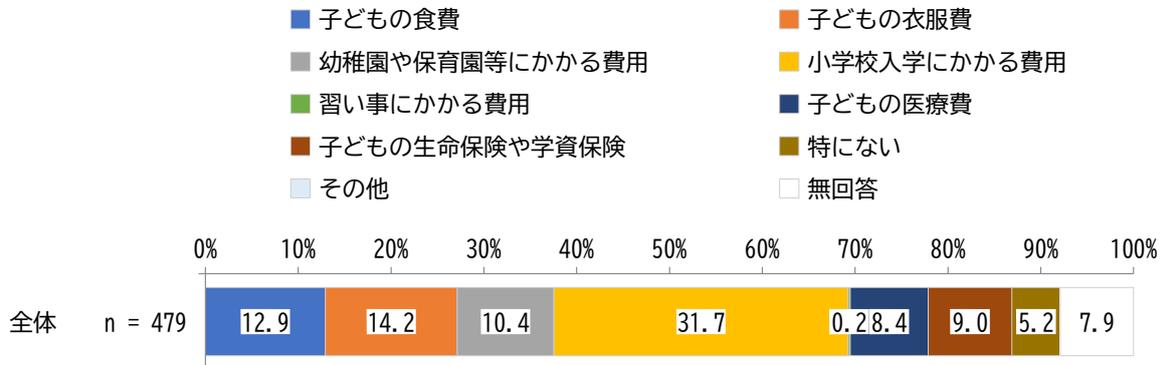
(あてはまる番号3つまでに○)

- 「保育サービスの充実」が46.8%で最も多く、次いで「父親などの育児参加の促進」が46.2%、「子育てに関する相談や情報提供の充実」が29.7%となっています。
- 前回調査と比較すると、「保育サービスの充実」「子育て家庭の家事を支援する活動」「妊娠・出産に対する支援」の割合が増加しており、「乳幼児の遊び場（公園や子ども館など）の整備」「地域における子どもの活動拠点の充実」の割合は減少しています。



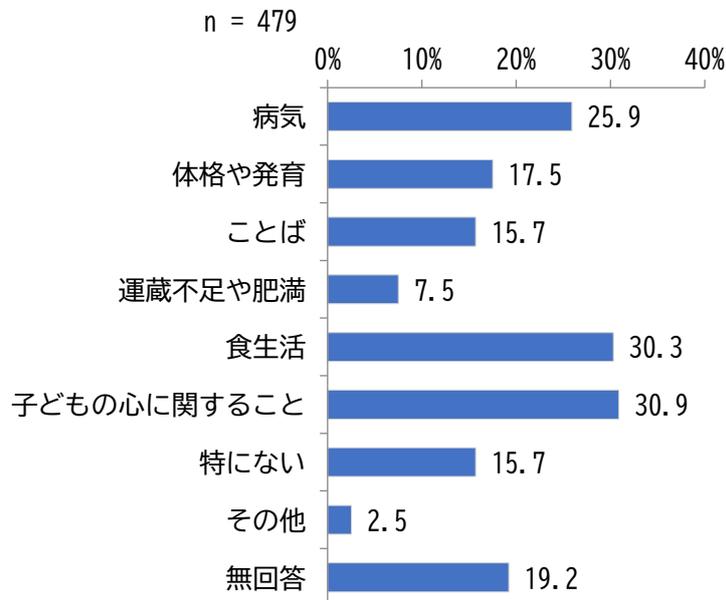
問 30 子育てにかかる費用のうち、負担を感じる費用は何ですか。(あてはまる番号1つに○)

➤ 「小学校入学にかかる費用」が31.7%で最も多く、次いで「子どもの衣服費」が14.2%、「子どもの食費」が12.9%となっています。



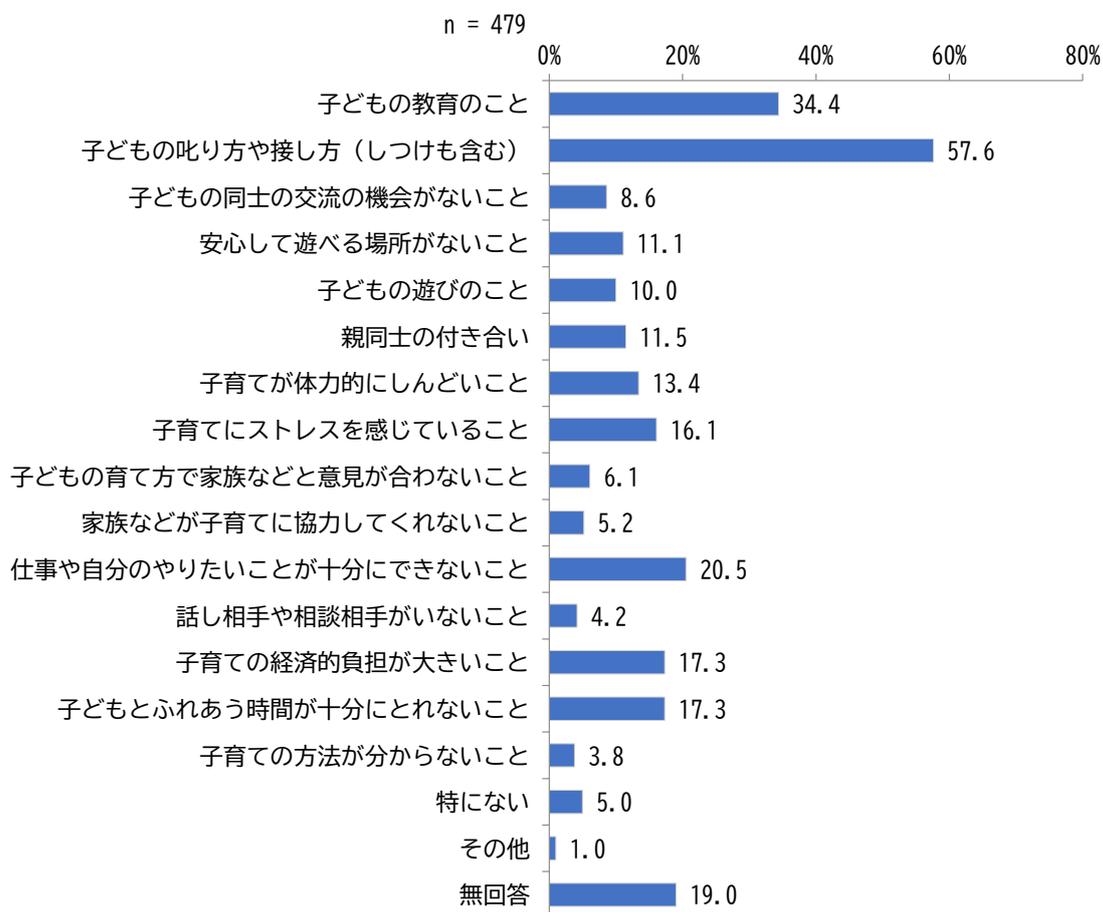
問 31 子育てに関して日常悩んでいること、また気になることはどのようなことですか。(あてはまる番号すべてに○) 子どもの病気や健康、発育のこと

➤ 「子どもの心に関すること」が30.9%で最も多く、次いで「食生活」が30.3%、「病気」が25.9%となっています。



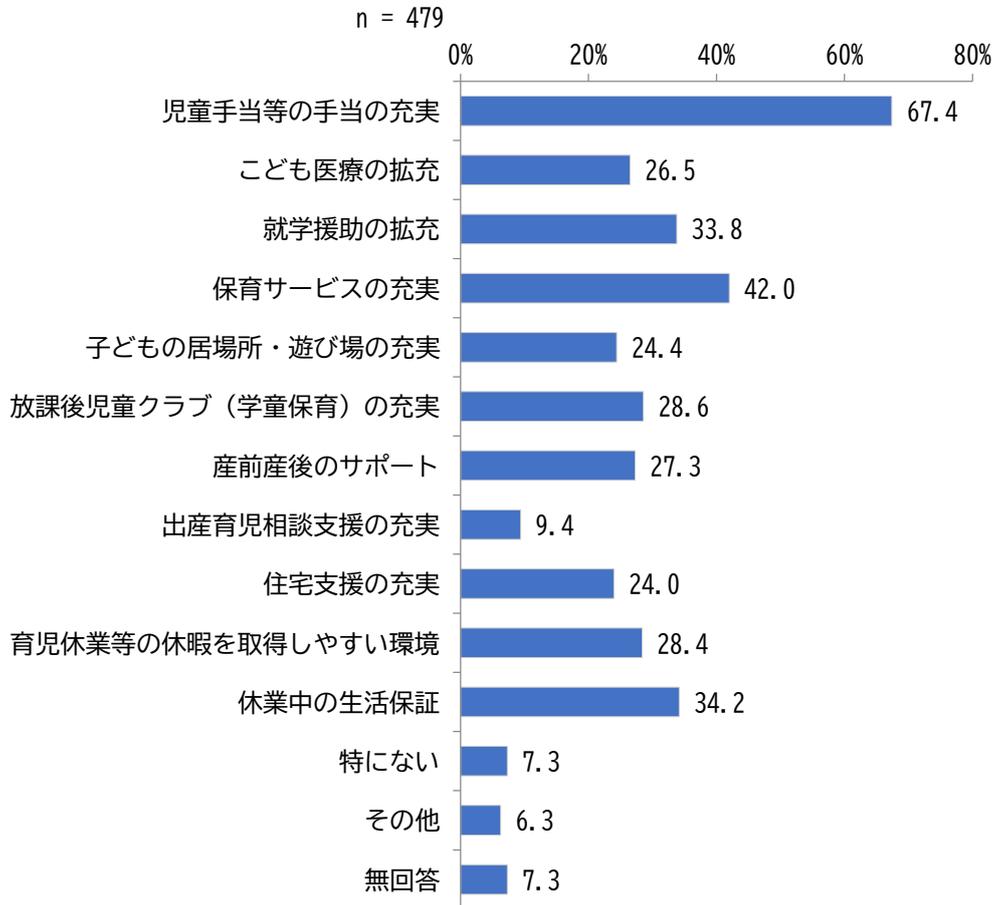
問 32 子育てに関して日常悩んでいること、また気になることはどのようなことですか。(あてはまる番号すべてに○) 子どもの病気や健康、発育以外のこと

➤ 「子どもの叱り方や接し方(しつけも含む)」が57.6%で最も多く、次いで「子どもの教育のこと」が34.4%、「仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと」が20.5%となっています。



問 33 市からどのような支援があれば、更にもうひとりの子どもを授かりたいと思いますか。
(あてはまる番号すべてに○)

➤ 「児童手当等の手当の充実」が67.4%で最も多く、次いで「保育サービスの充実」が42.0%、「休業中の生活保証」が34.2%となっています。

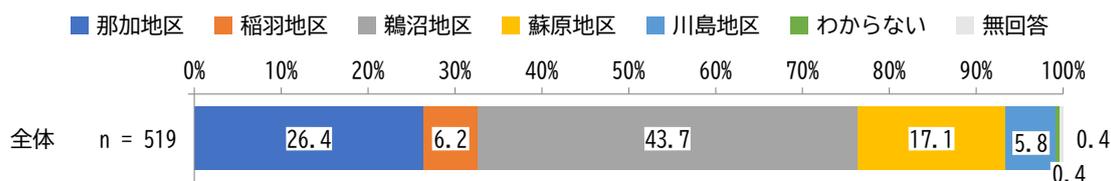


III. 調査結果（小学生）

お住まいの地域について

問1 お住まいの地区はどちらですか。（あてはまる番号1つに○）

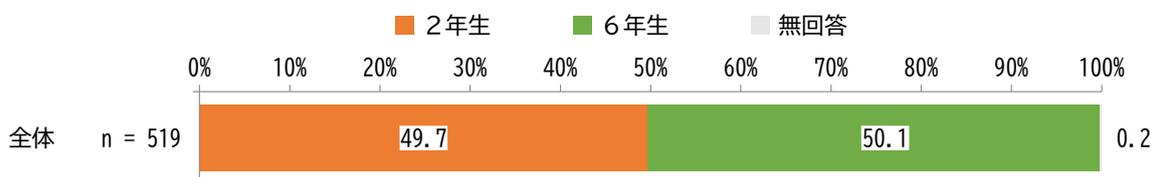
- 「鶉沼地区」が43.7%で最も多く、次いで「那加地区」が26.4%、「蘇原地区」が17.1%となっています。



お子さんご家族の状況について

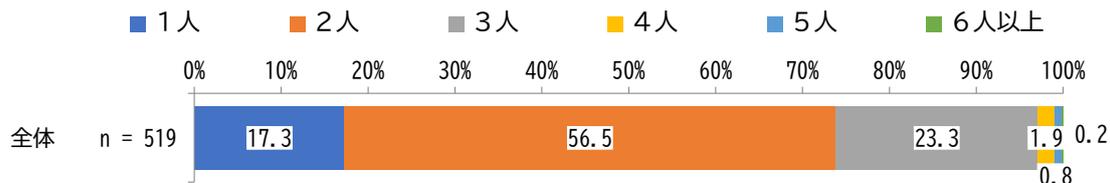
問2 お子さんは何年生ですか。（あてはまる番号1つに○）

- 「6年生」が50.1%、「2年生」が49.7%となっています。



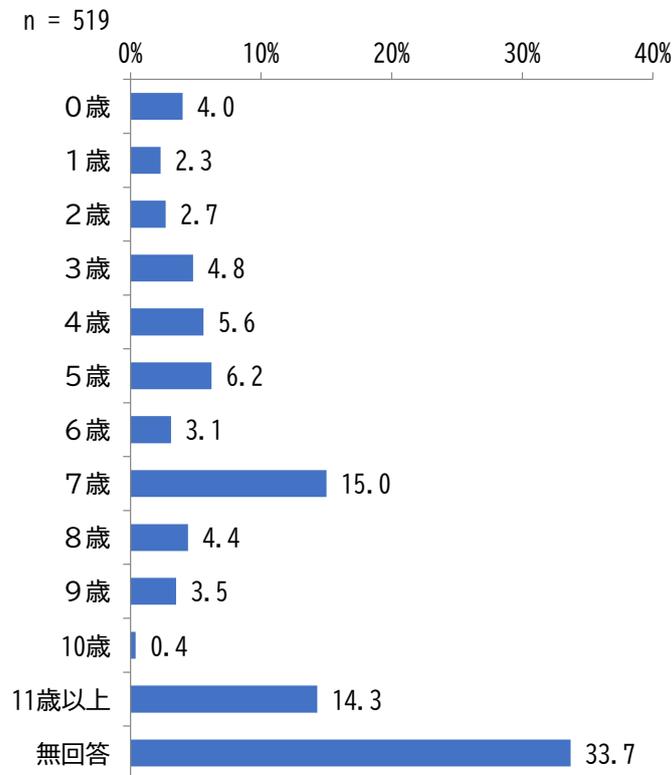
問3 きょうだいの人数

- 「2人」が56.5%で最も多く、次いで「3人」が23.3%、「1人」が17.3%となっています。



問 3-1 末子の年齢

➤ 「7歳」が15.0%で最も多く、次いで「11歳以上」が14.3%、「5歳」が6.2%となっています。



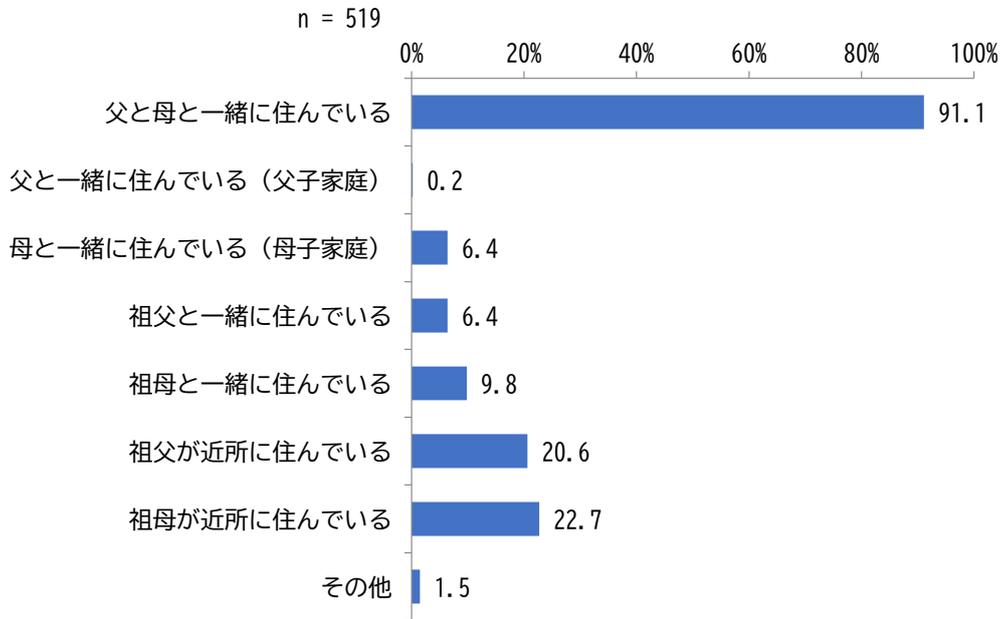
問 4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。
(あてはまる番号1つに○)

➤ 「母親」が93.1%、「父親」が6.4%となっています。



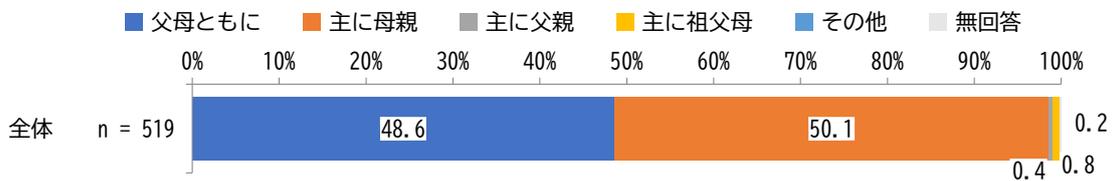
問5 お子さんと一緒に住んでいる人はどなたですか。また、近所に祖父母が住んでいますか。
(あてはまる番号すべてに○)

➤ 「父と母と一緒に住んでいる」が91.1%で最も多く、次いで「祖母が近所に住んでいる」が22.7%、「祖父が近所に住んでいる」が20.6%となっています。



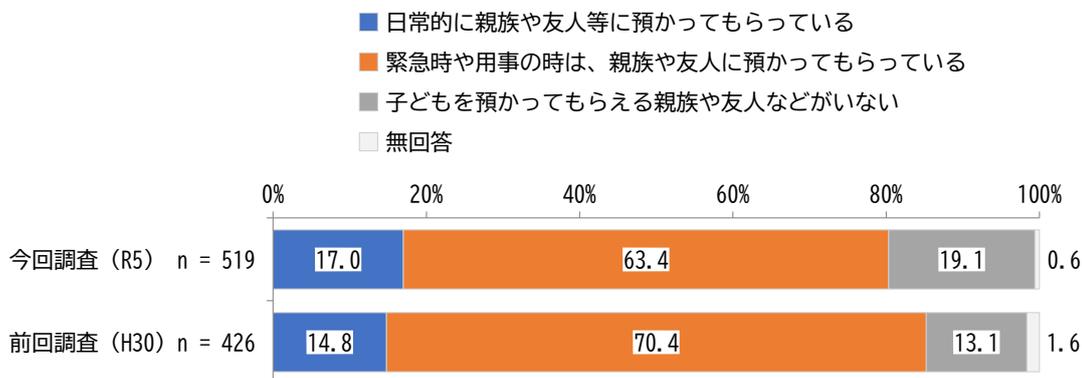
問6 お子さんの子育て (教育を含む) を主に行っているのはどなたですか。 お子さんからみた関係でお答えください。(あてはまる番号1つに○)

➤ 「主に母親」が50.1%、「父母ともに」が48.6%となっています。



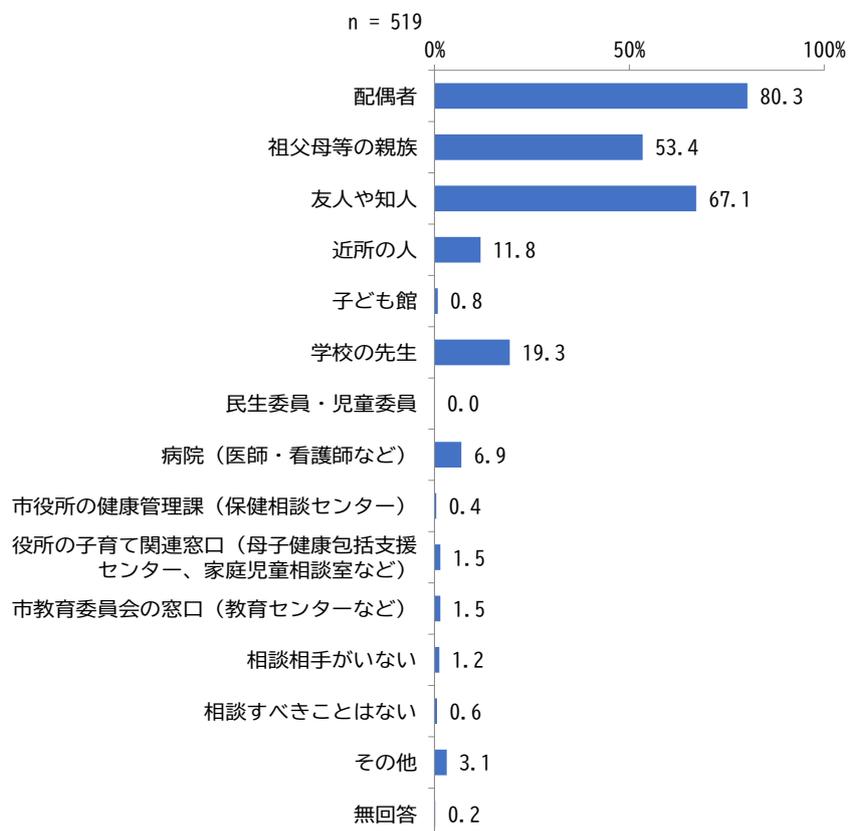
問7 日頃、お子さんを祖父母等の親戚や友人・知人などに預かってもらっていますか。（あてはまる番号1つに○）

- 「緊急時や用事の時は、親族や友人に預かってもらっている」が63.4%、「子どもを預かってもらえる親族や友人などがいない」が19.1%となっています。
- 前回調査と比較すると、「子どもを預かってもらえる親族や友人などがいない」の割合が増加しており、「緊急時や用事の時は、親族や友人に預かってもらっている」の割合は減少しています。



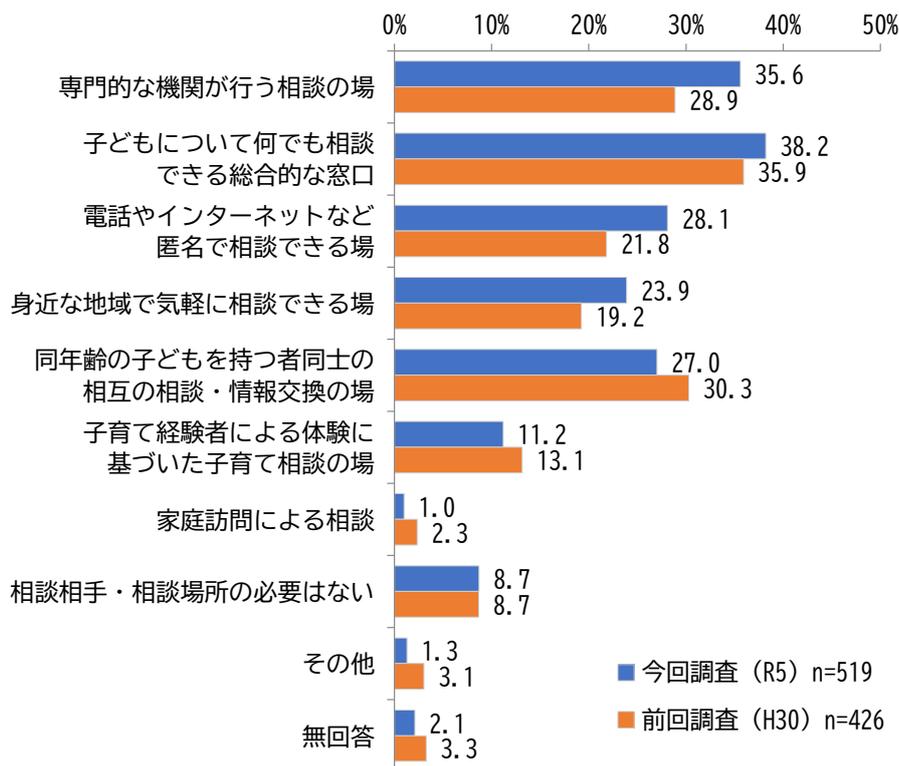
問8 あなたは、日頃、子育てに関する悩みや不安を誰か（どこか）に相談していますか。（あてはまる番号すべてに○）

- 「配偶者」が80.3%で最も多く、次いで「友人や知人」が67.1%、「祖父母等の親族」が53.4%となっています。



問9 今後、子育てについての相談先として次のどれを希望しますか。（あてはまる番号すべてに○）

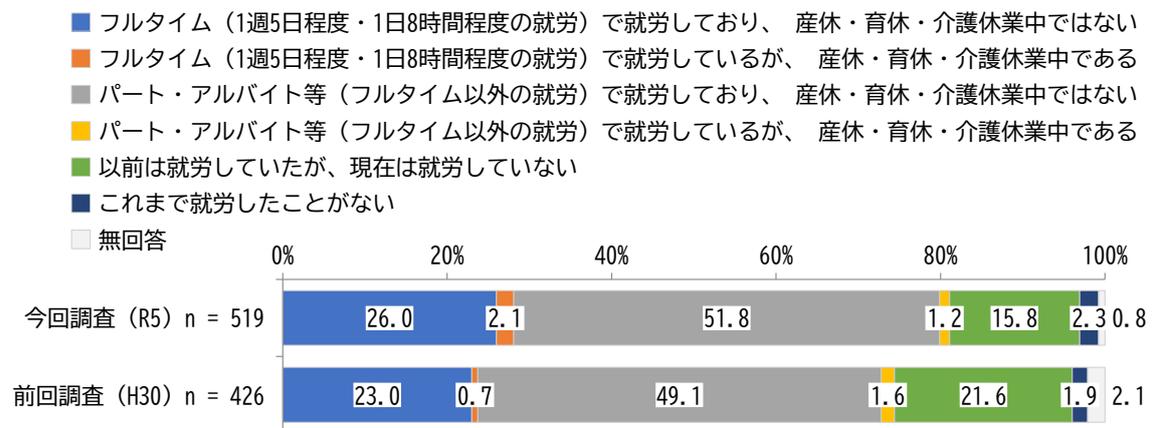
- 「子どもについて何でも相談できる総合的な窓口」が38.2%で最も多く、次いで「専門的な機関が行う相談の場」が35.6%、「電話やインターネットなど匿名で相談できる場」が28.1%となっています。
- 前回調査と比較すると、「専門的な機関が行う相談の場」「電話やインターネットなど匿名で相談できる場」の割合が増加しています。



お子さんの保護者（母親）の就労状況について

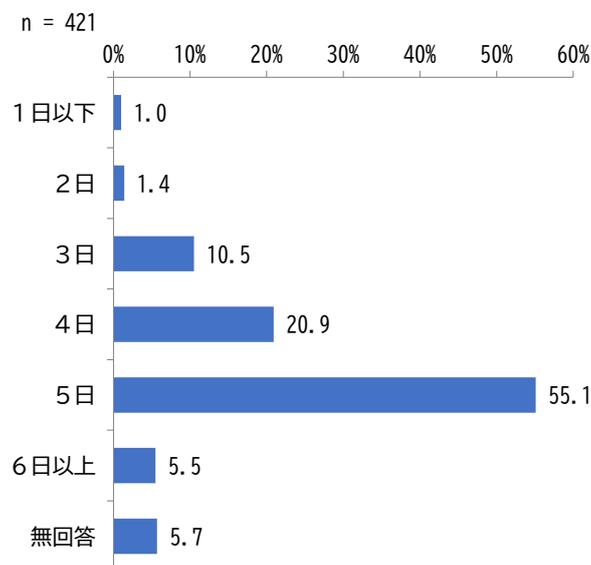
問 10 【母親】宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。（あてはまる番号1つに○）

- 「パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が51.8%で最も多く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が26.0%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が15.8%となっています。
- 前回調査と比較すると、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が減少しています。



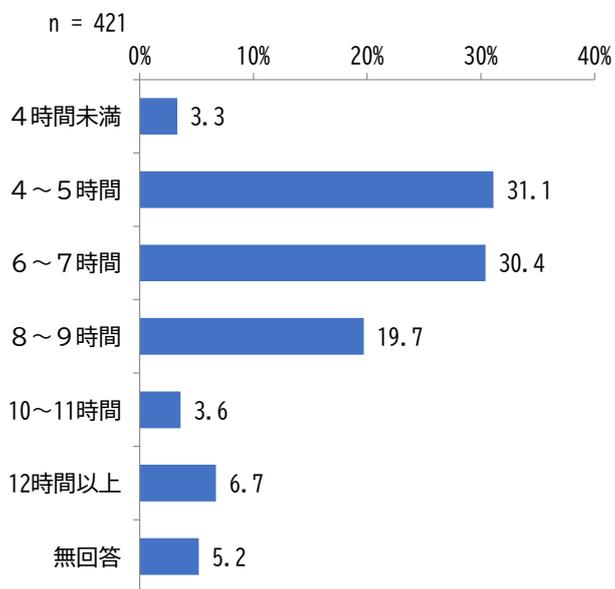
問 10-1(1) 【母親】1週当たりの「就労日数」

- 「5日」が55.1%で最も多く、次いで「4日」が20.9%、「3日」が10.5%となっています。



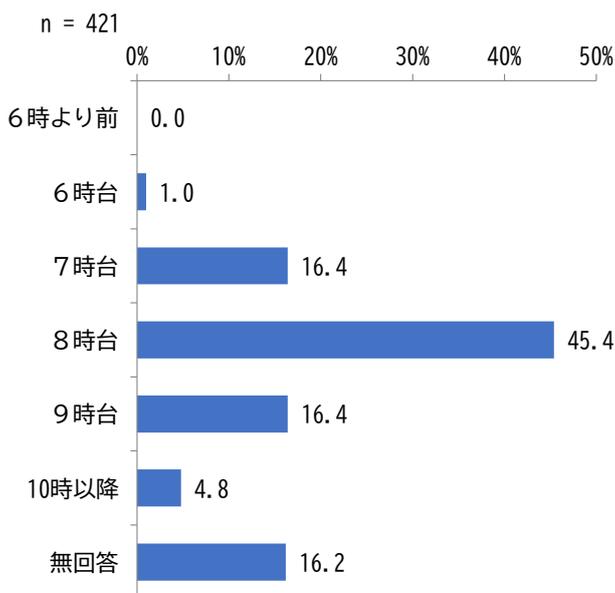
問 10-1(2) 【母親】 1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」

➤ 「4～5時間」が31.1%で最も多く、次いで「6～7時間」が30.4%、「8～9時間」が19.7%となっています。



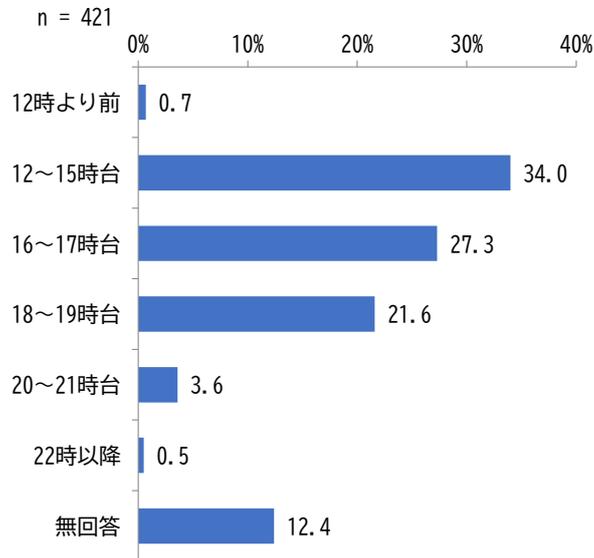
問 10-2(1) 【母親】 出勤時刻

➤ 「8時台」が45.4%で最も多く、次いで「7時台」「9時台」が16.4%となっています。



問 10-2(2) 【母親】 帰宅時刻

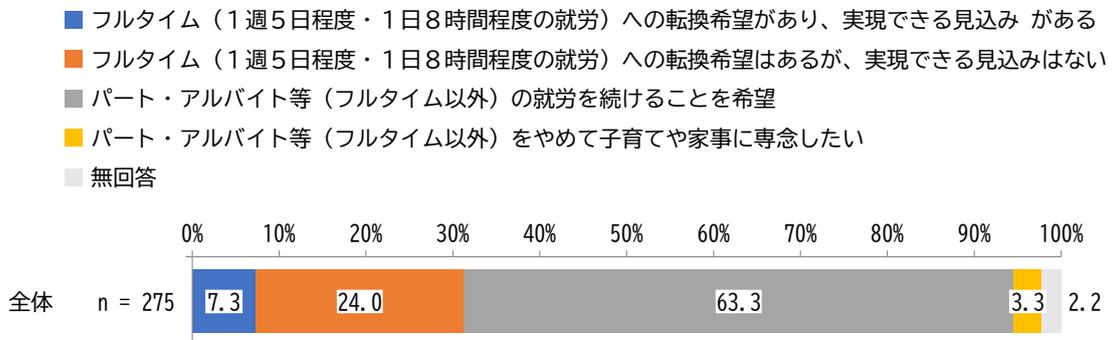
- 「12～15 時台」が 34.0%で最も多く、次いで「16～17 時台」が 27.3%、「18～19 時台」が 21.6% となっています。



【問 10 で「3. パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」または「4. パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中である」に○をつけた方】

問 10-3 【母親】フルタイムへの転換希望はありますか。（あてはまる番号1つに○）

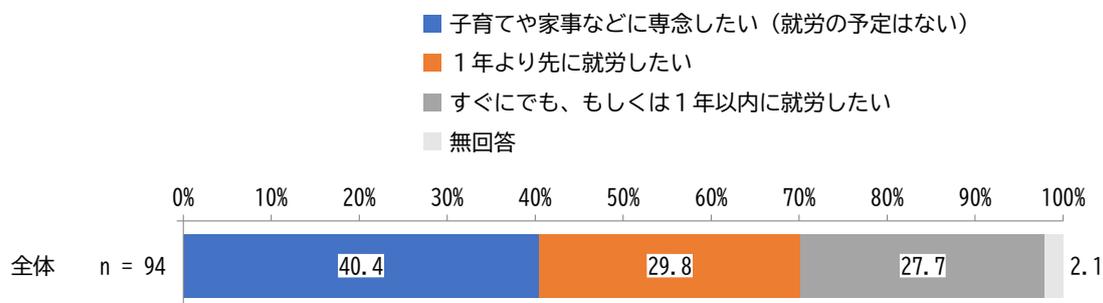
- 「パート・アルバイト等（フルタイム以外）の就労を続けることを希望」が 63.3%、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 24.0%となっています。



【問 10 で「5. 以前就労していた、就労したことがない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方】

問 10-4 【母親】就労したいという希望はありますか。（1つに○）

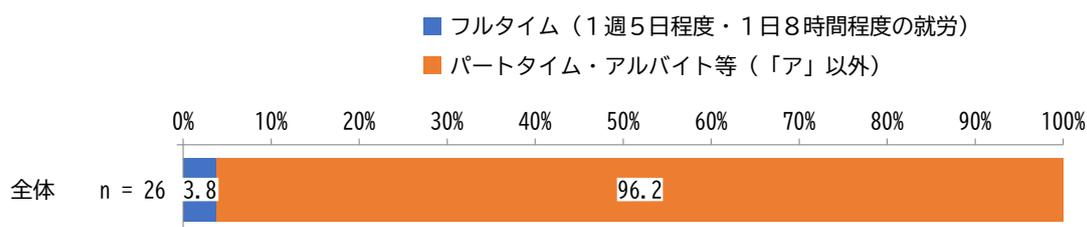
- 「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が40.4%、「1年より先に就労したい」が29.8%となっています。



【問 10-4 で「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選択した方】

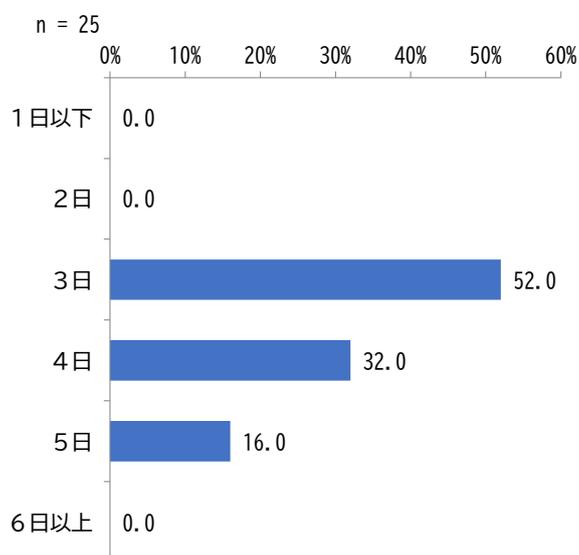
問 10-5 【母親】希望する就労形態

- 「パートタイム・アルバイト等（「ア」以外）」が96.2%、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が3.8%となっています。



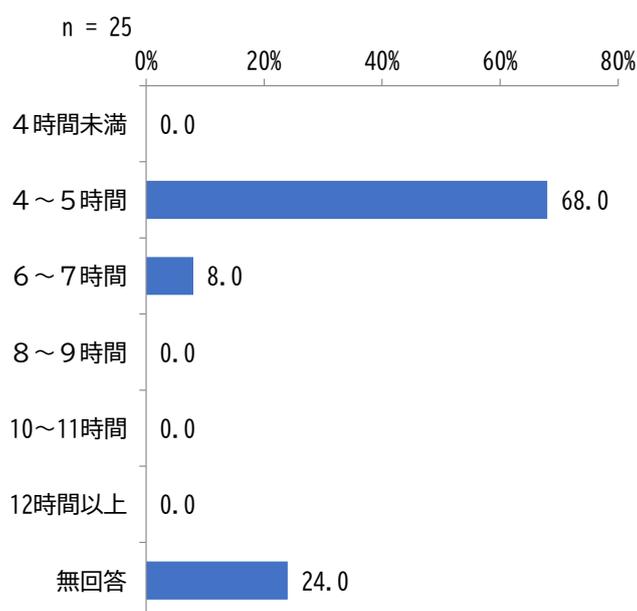
問 10-6 【母親】 1 週当たりの「希望就労日数」

➤ 「3日」が52.0%で最も多く、次いで「4日」が32.0%、「5日」が16.0%となっています。



問 10-7 【母親】 1 日当たりの「希望就労時間（残業時間を含む）」

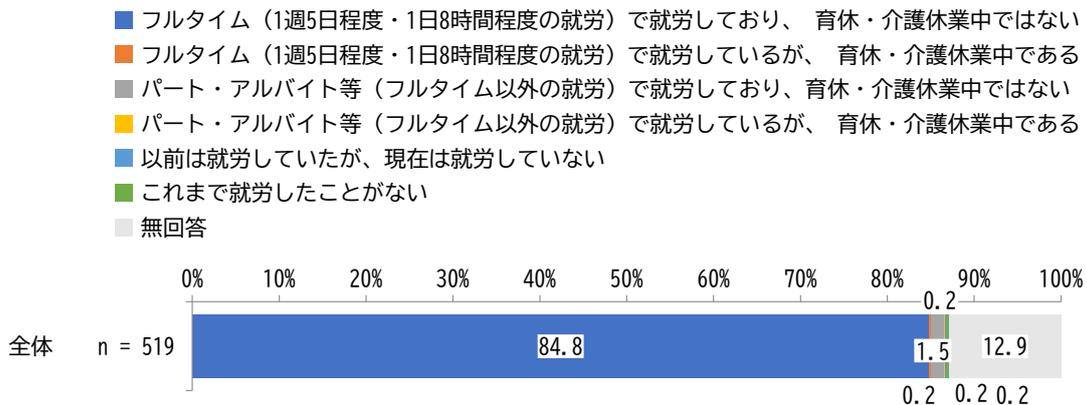
➤ 「4～5時間」が68.0%で最も多く、次いで「6～7時間」が8.0%となっています。



お子さんの保護者（父親）の就労状況について

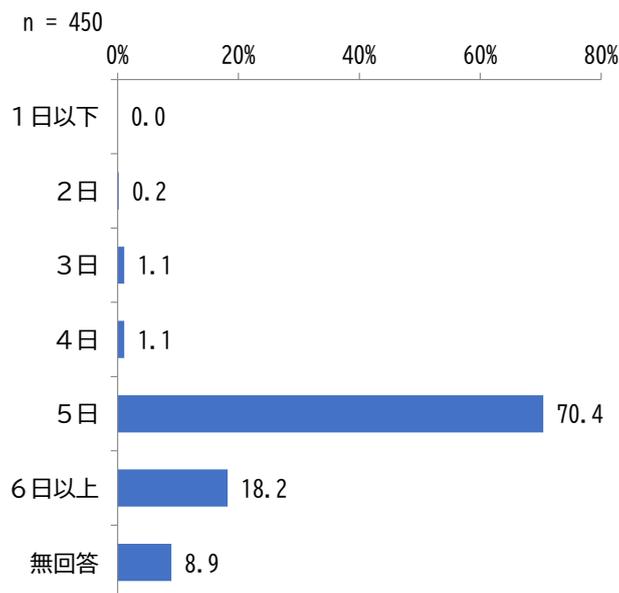
問 11 【父親について】お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。（あてはまる番号1つに○）

- 「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」が84.8%で最も多く、次いで「パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」が1.5%、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である」「パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である」「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」が0.2%となっています。



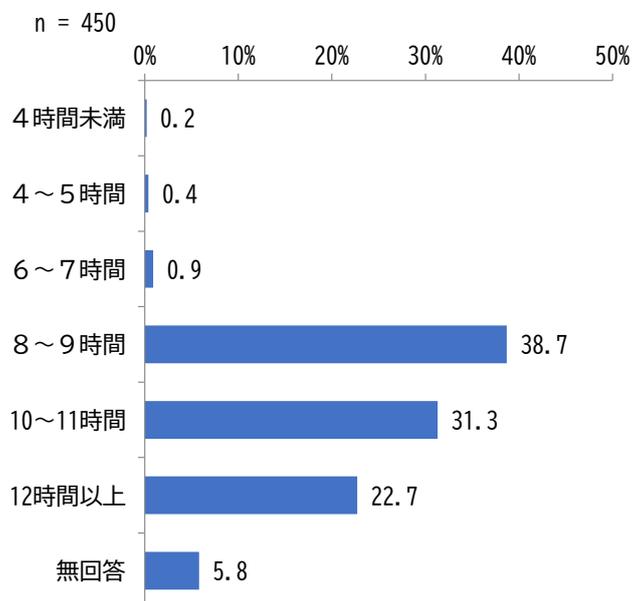
問 11-1(1) 【父親】1週当たりの「就労日数」

- 「5日」が70.4%で最も多く、次いで「6日以上」が18.2%、「3日」「4日」が1.1%となっています。



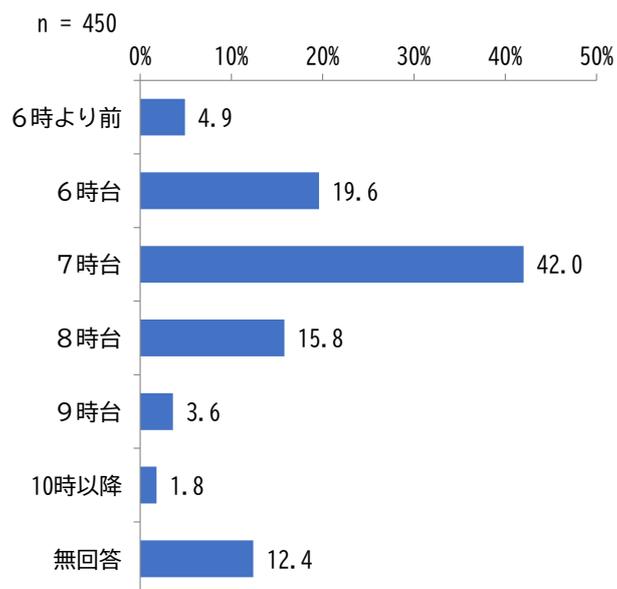
問 11-1(2) 【父親】 1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」

- 「8～9時間」が38.7%で最も多く、次いで「10～11時間」が31.3%、「12時間以上」が22.7%となっています。



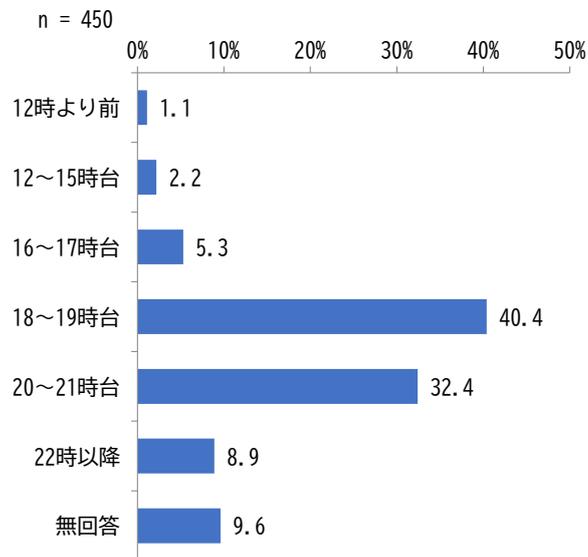
問 11-2(1) 【父親】 出勤時刻

- 「7時台」が42.0%で最も多く、次いで「6時台」が19.6%、「8時台」が15.8%となっています。



問 11-2(2) 【父親】 帰宅時刻

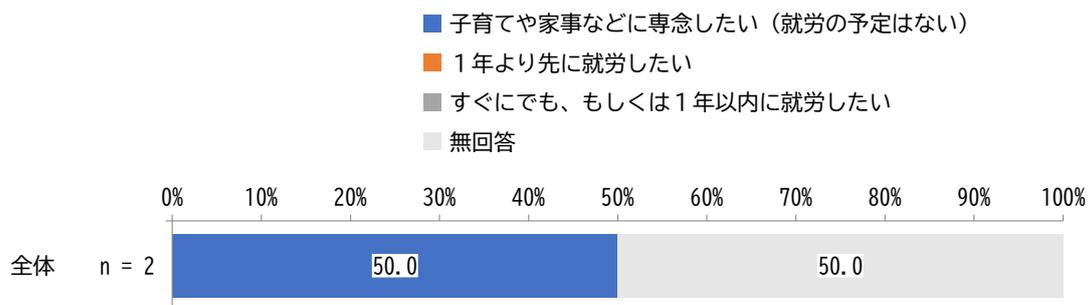
- 「18～19 時台」が 40.4%で最も多く、次いで「20～21 時台」が 32.4%、「22 時以降」が 8.9% となっています。



【問 11 で「5. 以前就労していた、就労したことがない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方】

問 11-3 【父親】 就労したいという希望はありますか。(それぞれ1つに○をつけ、該当する日数、時間を数字でご記入ください)

- 「子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)」が 50.0%となっています。



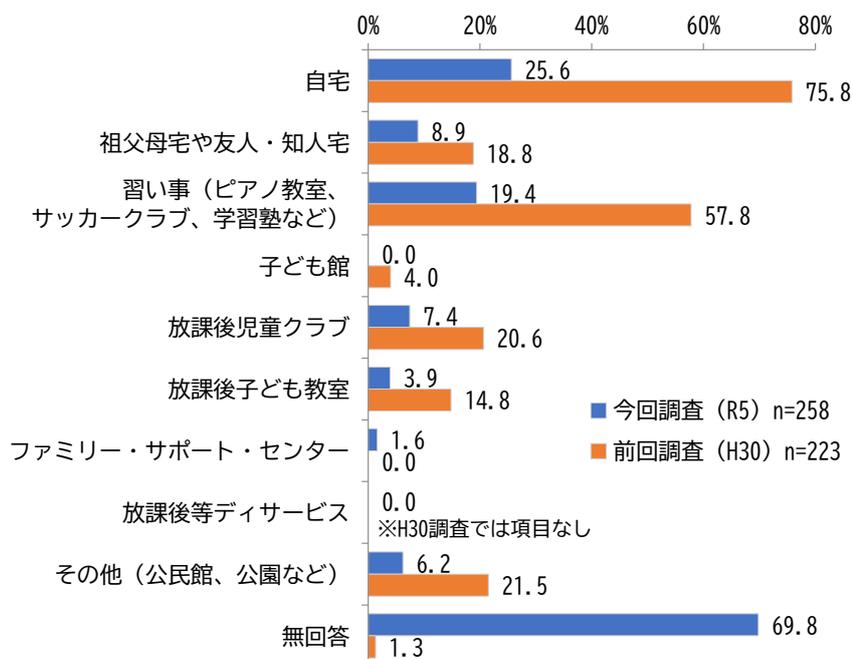
放課後の過ごし方について【お子さんが小学校1～3年生の方】

【お子さんが小学校1～3年生（低学年）の方】

問 12 放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。

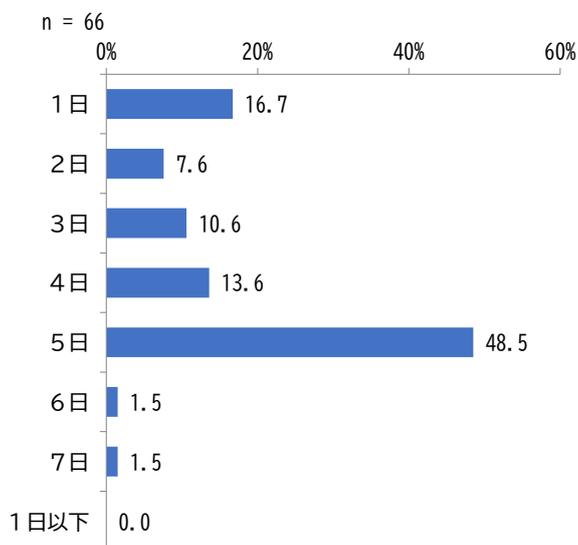
（あてはまる番号すべてに○）

- 「自宅」が 25.6%で最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が 19.4%、「祖父母宅や友人・知人宅」が 8.9%となっています。



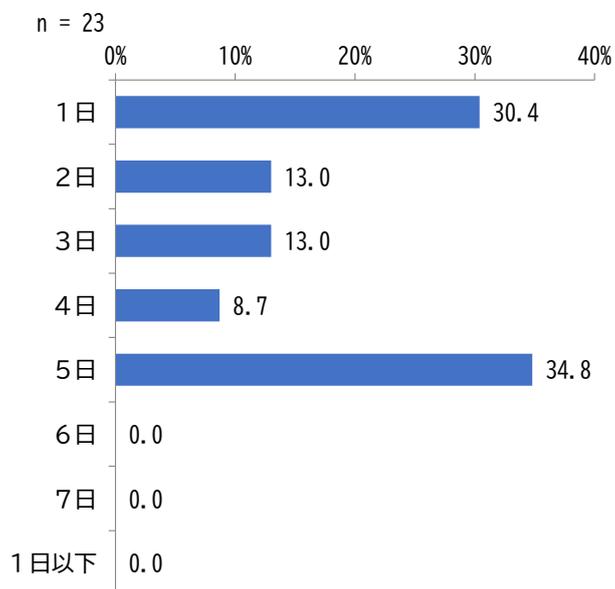
問 12-1-1 【放課後の過ごし方（低学年）】自宅

- 「5日」が 48.5%で最も多く、次いで「1日」が 16.7%、「4日」が 13.6%となっています。



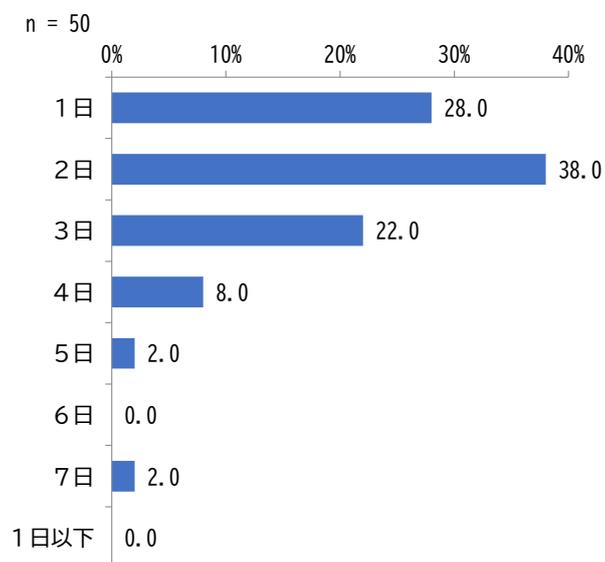
問 12-1-2 【放課後の過ごし方（低学年）】祖父母宅や友人・知人宅

➤ 「5日」が34.8%で最も多く、次いで「1日」が30.4%、「2日」「3日」が13.0%となっています。



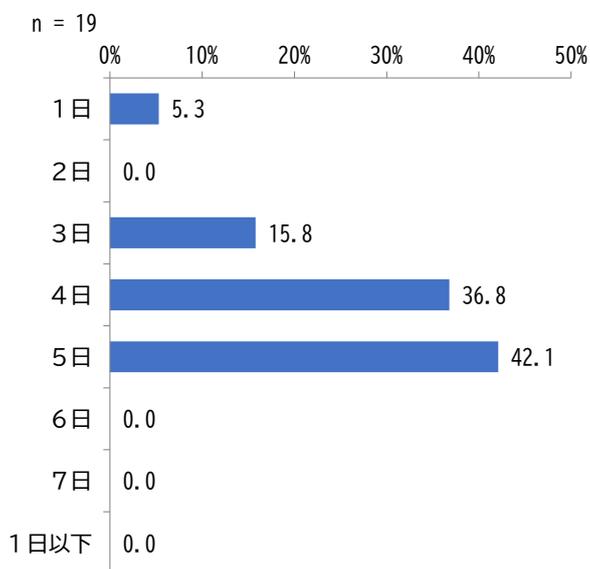
問 12-1-3 【放課後の過ごし方（低学年）】習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）

➤ 「2日」が38.0%で最も多く、次いで「1日」が28.0%、「3日」が22.0%となっています。



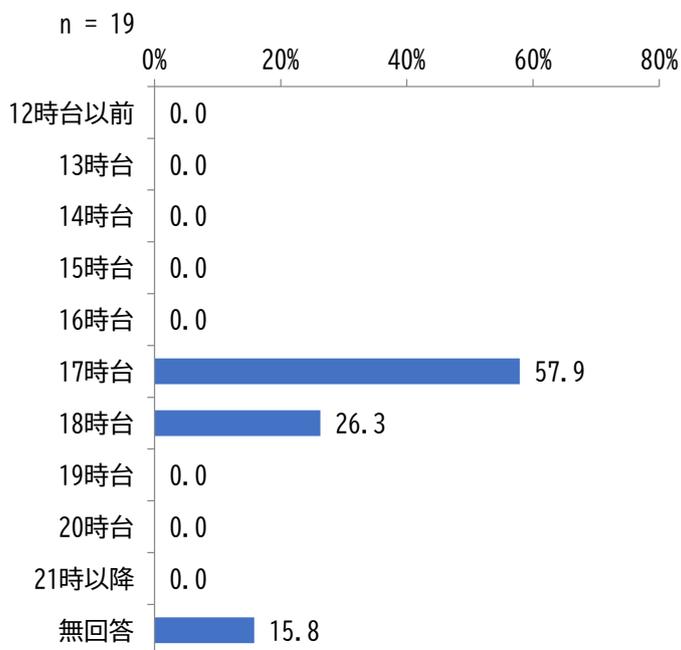
問 12-1-4 【放課後の過ごし方（低学年）】放課後児童クラブ

➤ 「5日」が42.1%で最も多く、次いで「4日」が36.8%、「3日」が15.8%となっています。



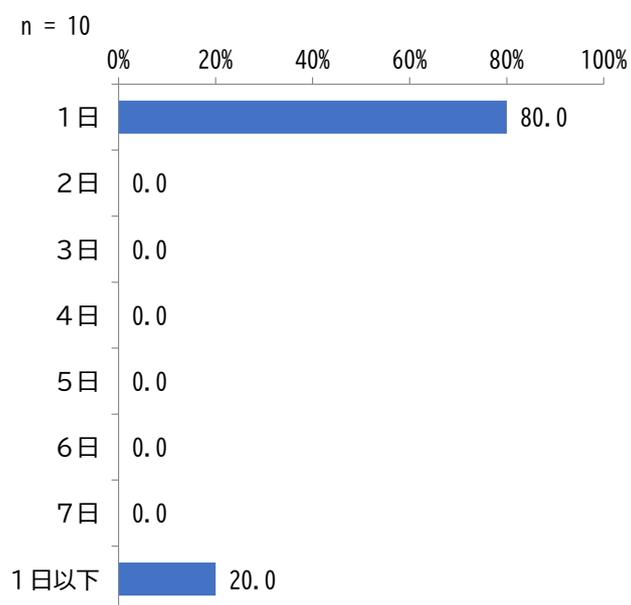
問 12-1-5 【放課後の過ごし方（低学年）】放課後児童クラブ 下校時からの利用希望時間

➤ 「17時台」が57.9%で最も多く、次いで「18時台」が26.3%となっています。



問 12-1-6 【放課後の過ごし方（低学年）】放課後子ども教室

➤ 「1日」が80.0%で最も多く、次いで「1日以下」が20.0%となっています。



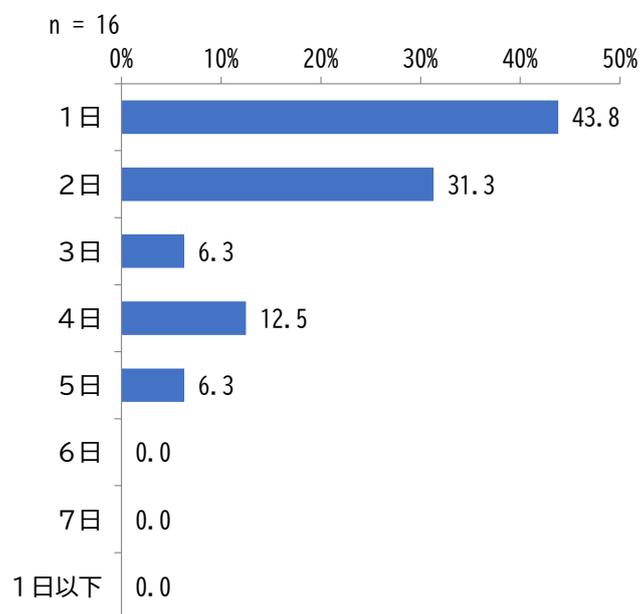
問 12-1-7 【放課後の過ごし方（低学年）】ファミリー・サポート・センター

➤ 「1日」「2日」「3日」「4日」が25.0%となっています。



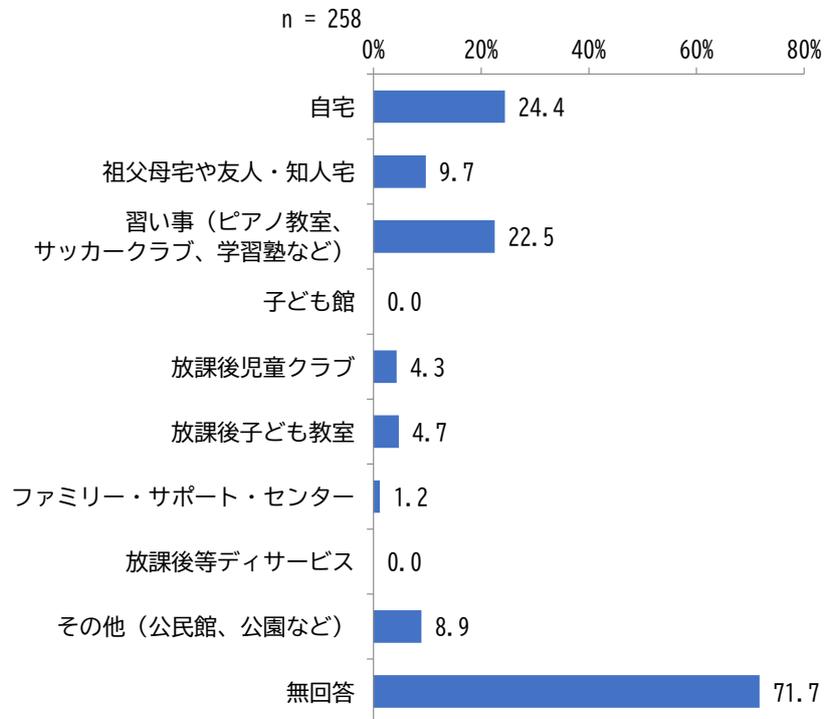
問 12-1-8 【放課後の過ごし方（低学年）】 その他（公民館、公園など）

➤ 「1日」が43.8%で最も多く、次いで「2日」が31.3%、「4日」が12.5%となっています。



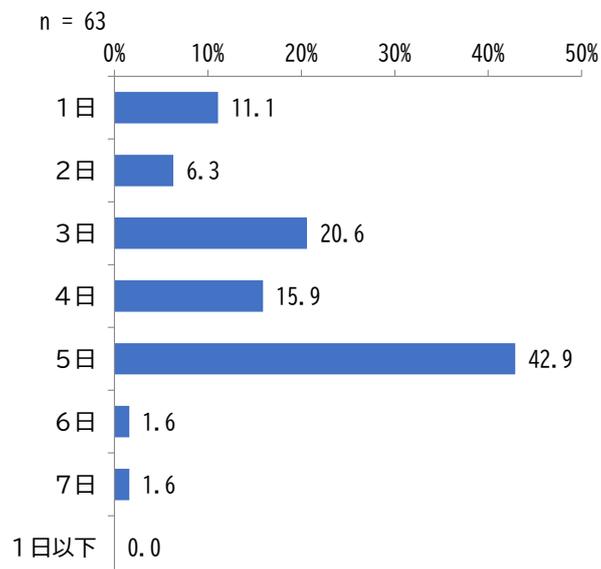
問 12-2 小学校1～3年生の間は、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

➤ 「自宅」が24.4%で最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が22.5%、「祖父母宅や友人・知人宅」が9.7%となっています。



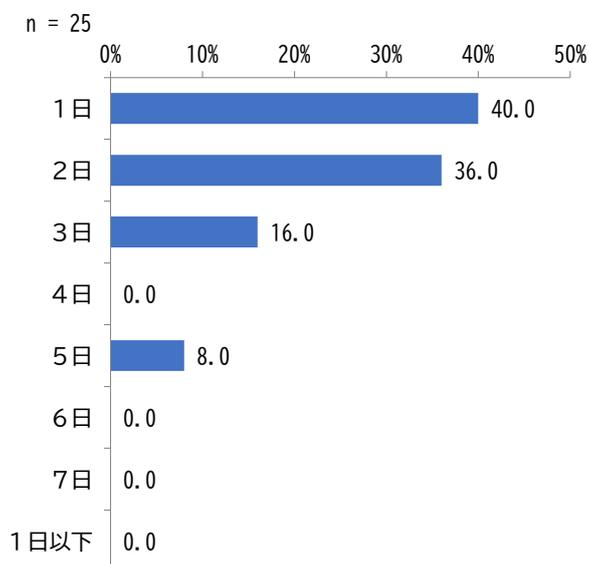
問 12-2-1 【放課後に過ごさせたい場所（低学年）】 自宅

➤ 「5日」が42.9%で最も多く、次いで「3日」が20.6%、「4日」が15.9%となっています。



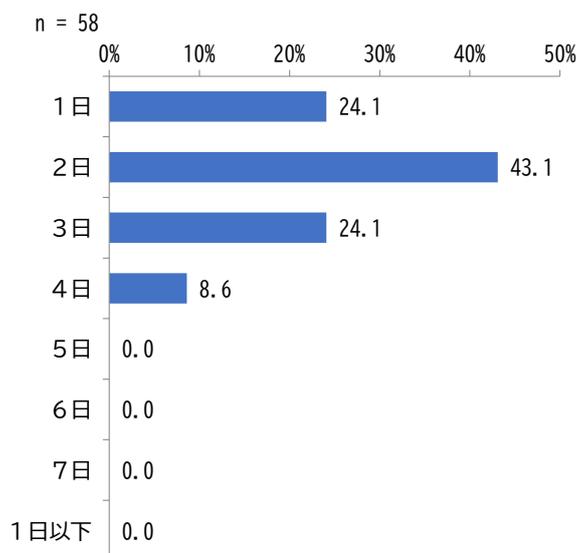
問 12-2-2 【放課後に過ごさせたい場所（低学年）】 祖父母宅や友人・知人宅

➤ 「1日」が40.0%で最も多く、次いで「2日」が36.0%、「3日」が16.0%となっています。



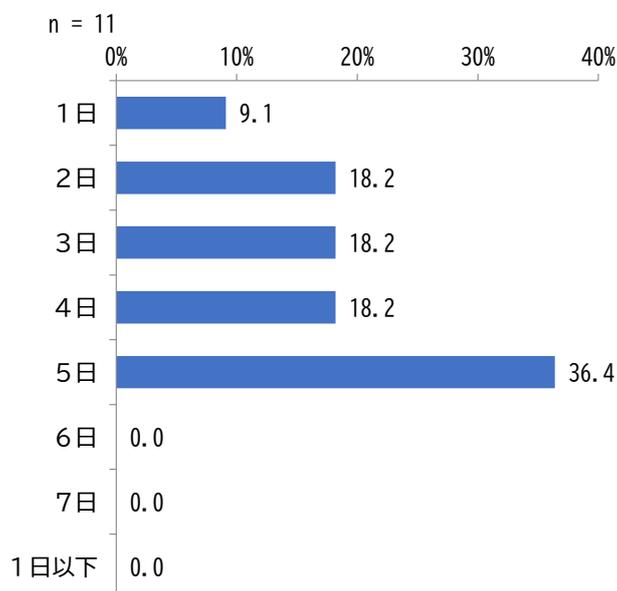
問 12-2-3 【放課後に過ごさせたい場所（低学年）】 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）

➤ 「2日」が43.1%で最も多く、次いで「1日」「3日」が24.1%、「4日」が8.6%となっています。



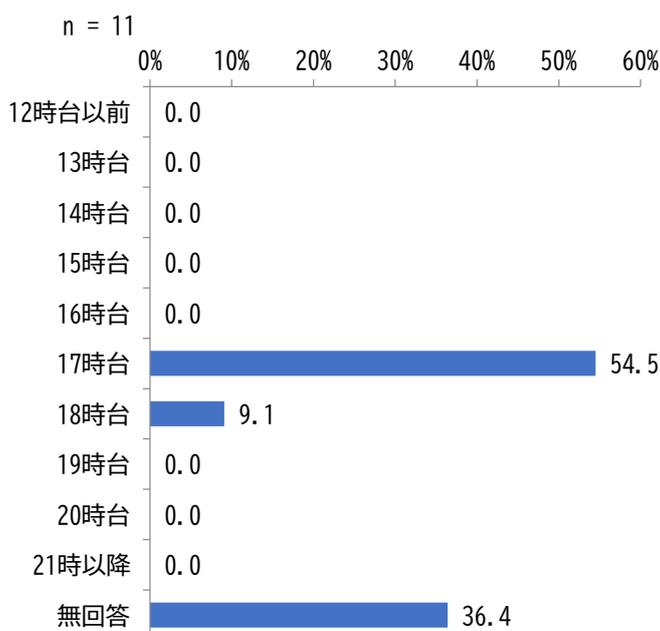
問 12-2-4 【放課後に過ごさせたい場所（低学年）】放課後児童クラブ

- 「5日」が36.4%で最も多く、次いで「2日」「3日」「4日」が18.2%、「1日」が9.1%となっています。



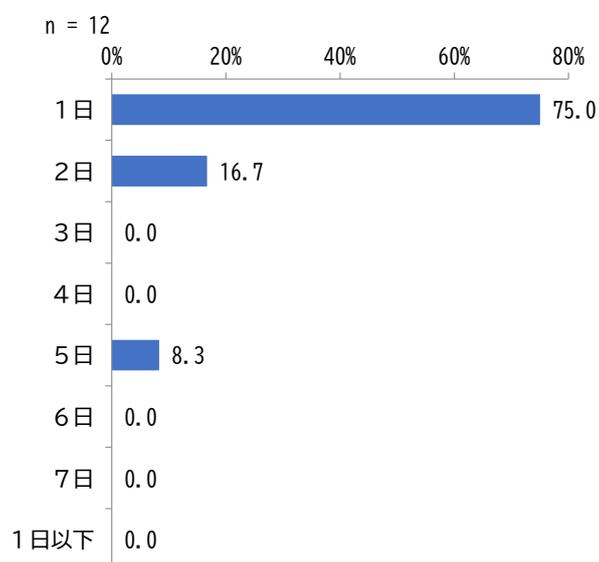
問 12-2-5 【放課後に過ごさせたい場所（低学年）】放課後児童クラブ 下校時からの利用希望時間

- 「17時台」が54.5%で最も多く、次いで「18時台」が9.1%となっています。



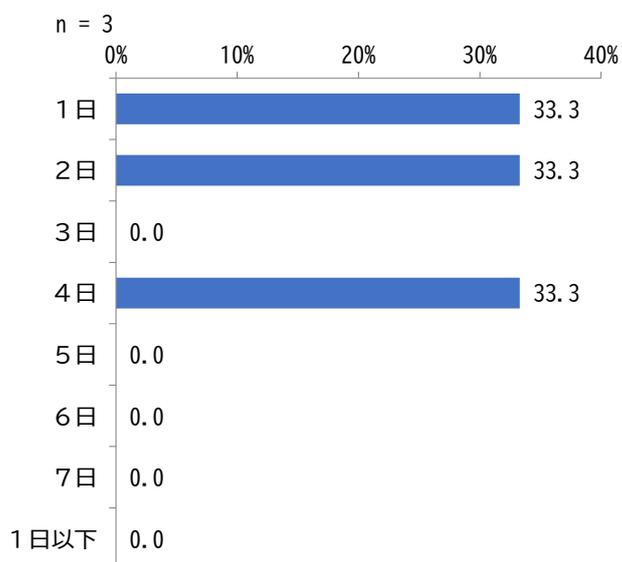
問 12-2-6 【放課後に過ごさせたい場所（低学年）】放課後子ども教室

➤ 「1日」が75.0%で最も多く、次いで「2日」が16.7%、「5日」が8.3%となっています。



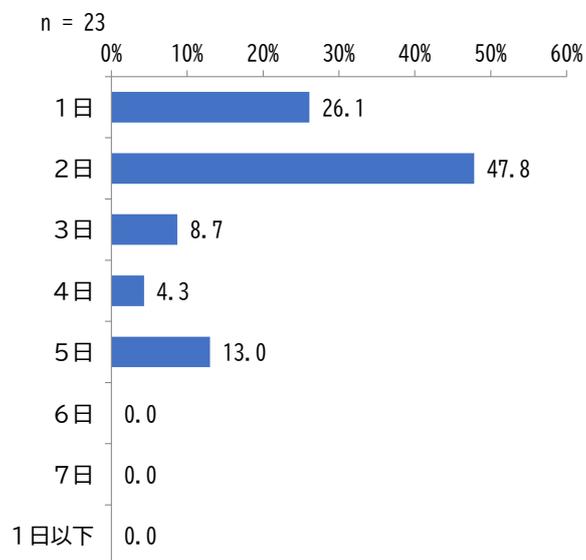
問 12-2-7 【放課後に過ごさせたい場所（低学年）】ファミリー・サポート・センター

➤ 「1日」「2日」「4日」が33.3%となっています。



問 12-2-8 【放課後に過ごさせたい場所（低学年）】 その他（公民館、公園など）

➤ 「2日」が47.8%で最も多く、次いで「1日」が26.1%、「5日」が13.0%となっています。

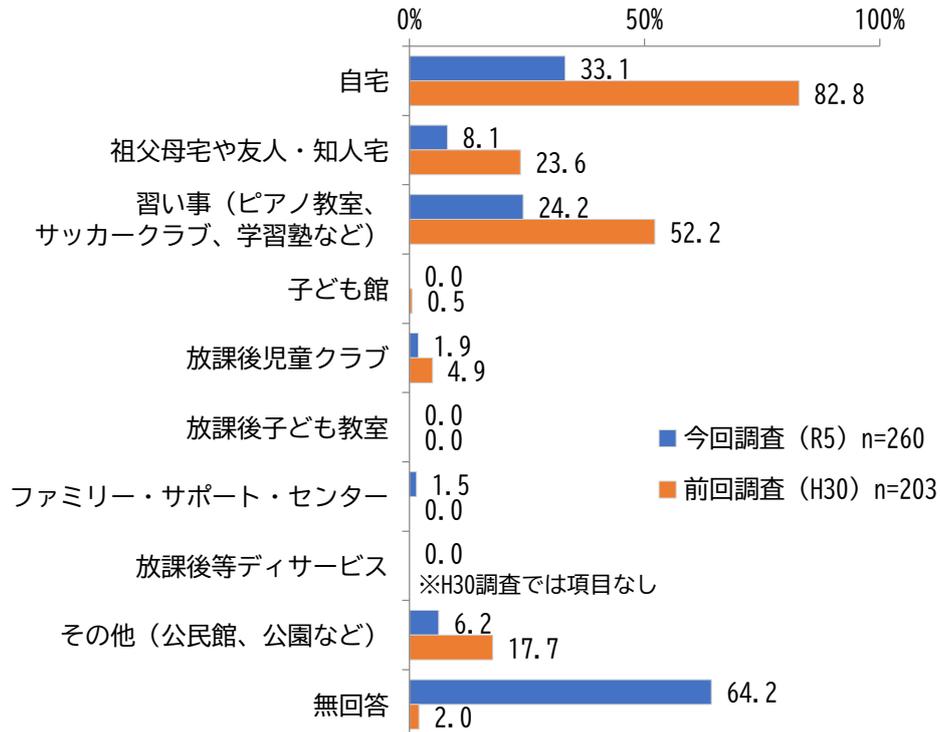


放課後の過ごし方について【お子さんが小学校4～6年生の方】

【お子さんが小学校4～6年生（高学年）の方】

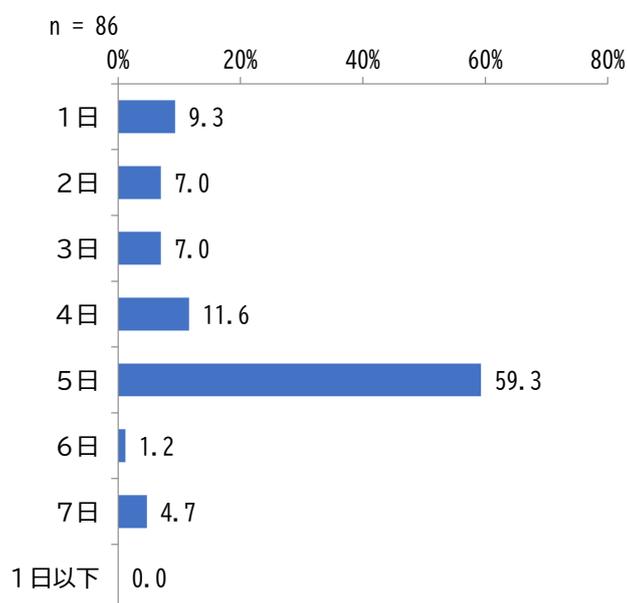
問 13 放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。
（あてはまる番号すべてに○）

- 「自宅」が 33.1%で最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が 24.2%、「祖父母宅や友人・知人宅」が 8.1%となっています。



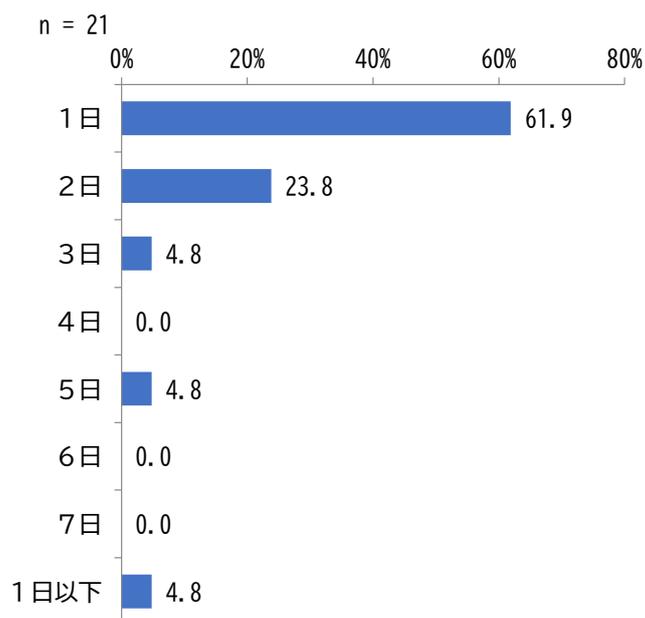
問 13-1 【放課後の過ごし方（高学年）】 自宅

➤ 「5日」が59.3%で最も多く、次いで「4日」が11.6%、「1日」が9.3%となっています。



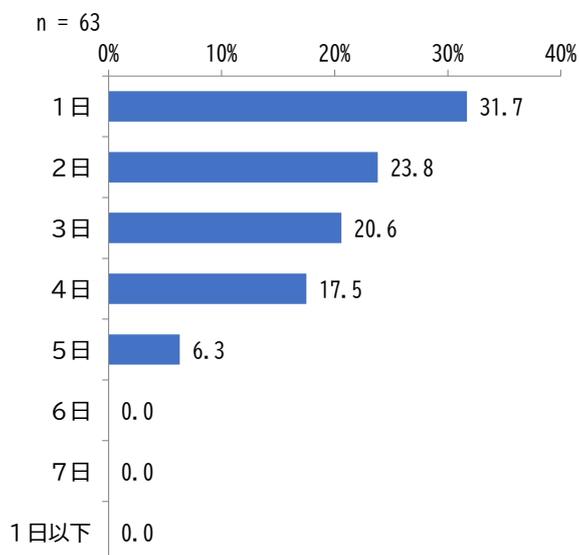
問 13-2 【放課後の過ごし方（高学年）】 祖父母宅や友人・知人宅

➤ 「1日」が61.9%で最も多く、次いで「2日」が23.8%、「3日」「5日」「1日以下」が4.8%となっています。



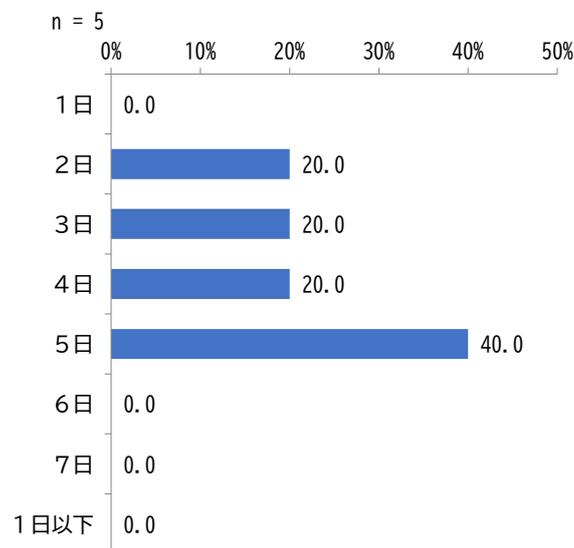
問 13-3 【放課後の過ごし方（高学年）】 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）

➤ 「1日」が31.7%で最も多く、次いで「2日」が23.8%、「3日」が20.6%となっています。



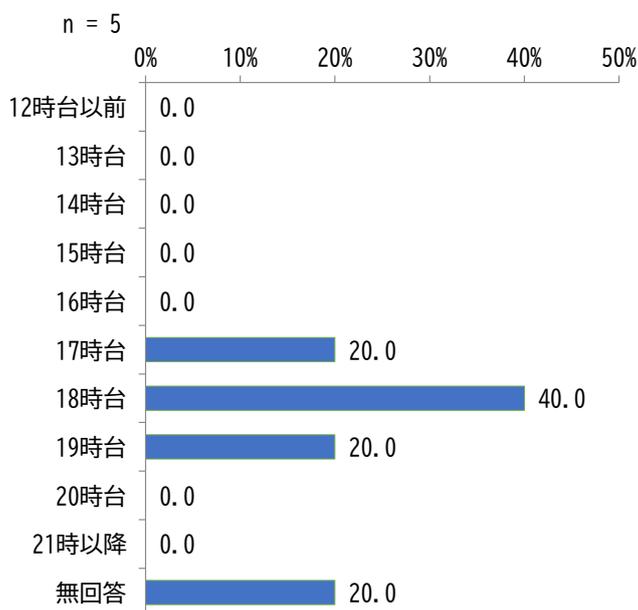
問 13-4 【放課後の過ごし方（高学年）】 放課後児童クラブ

➤ 「5日」が40.0%で最も多く、次いで「2日」「3日」「4日」が20.0%となっています。



問 13-5 【放課後の過ごし方（高学年）】放課後児童クラブ 下校時からの利用希望時間

➤ 「18 時台」が 40.0%で最も多く、次いで「17 時台」「19 時台」が 20.0%となっています。



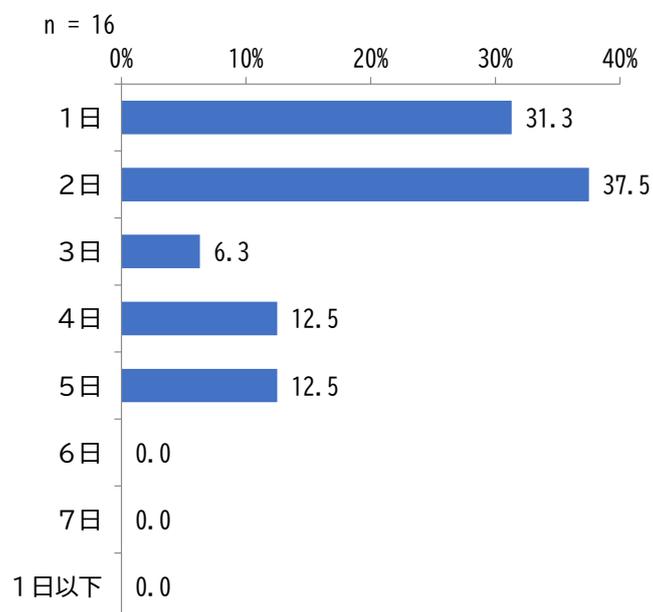
問 13-6 【放課後の過ごし方（高学年）】ファミリー・サポート・センター

➤ 「1日」「2日」「3日」「5日」が 25.0%となっています。



問 13-7 【放課後の過ごし方（高学年）】 その他（公民館、公園など）

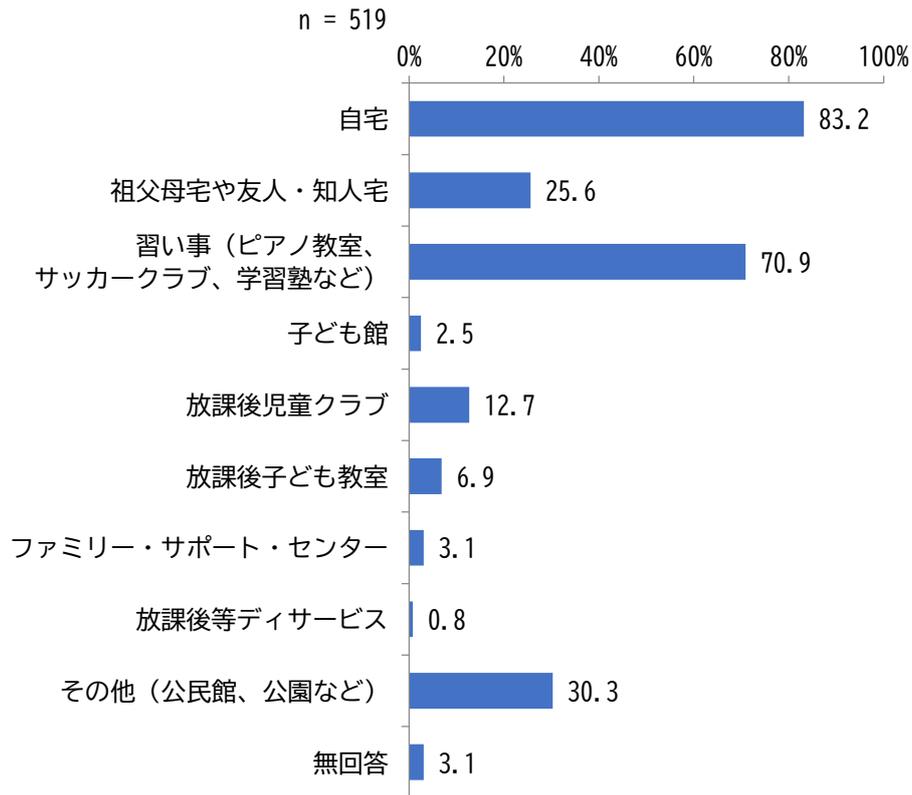
- 「2日」が37.5%で最も多く、次いで「1日」が31.3%、「4日」「5日」が12.5%となっています。



放課後の過ごし方について【全員の方】

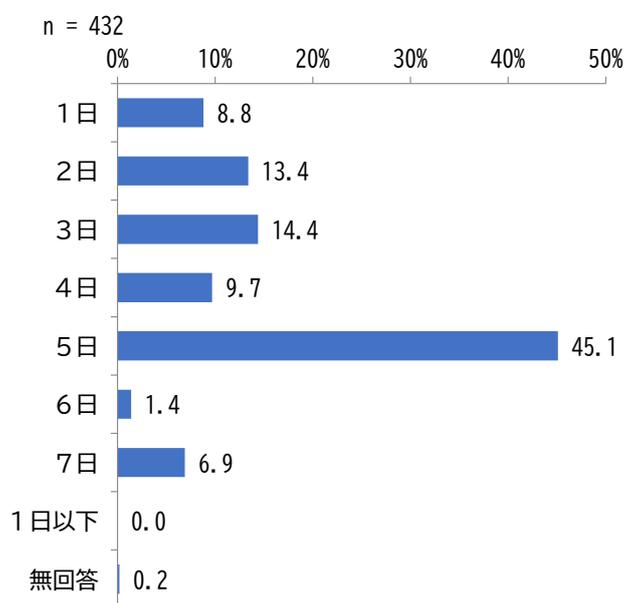
問 14 小学校4～6年生の間は、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

- 「自宅」が83.2%で最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が70.9%、「その他（公民館、公園など）」が30.3%となっています。



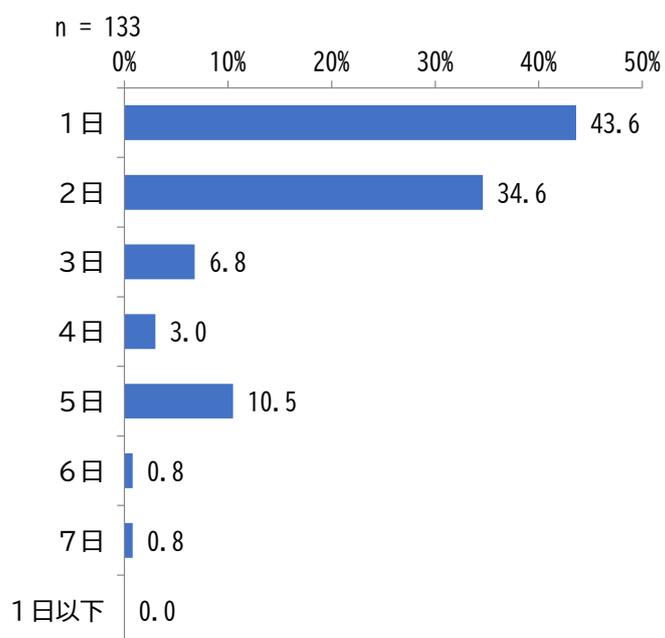
問 14-1 【放課後に過ごさせたい場所（高学年）】 自宅

➤ 「5日」が45.1%で最も多く、次いで「3日」が14.4%、「2日」が13.4%となっています。



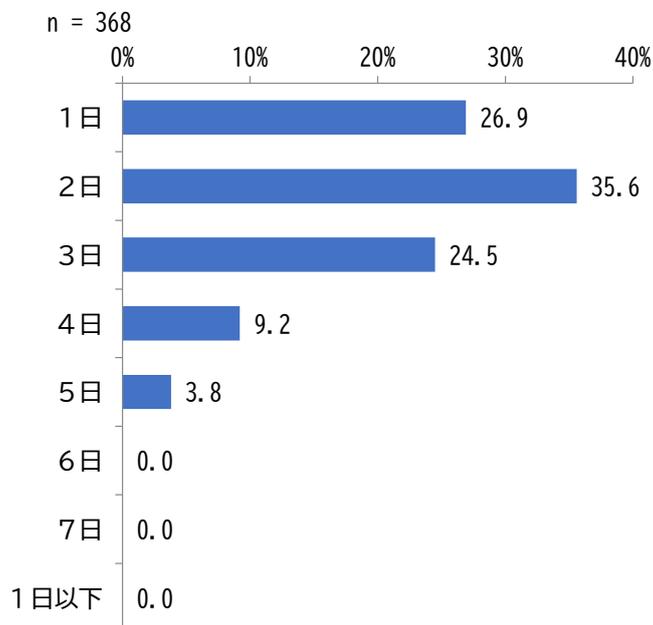
問 14-2 【放課後に過ごさせたい場所（高学年）】 祖父母宅や友人・知人宅

➤ 「1日」が43.6%で最も多く、次いで「2日」が34.6%、「5日」が10.5%となっています。



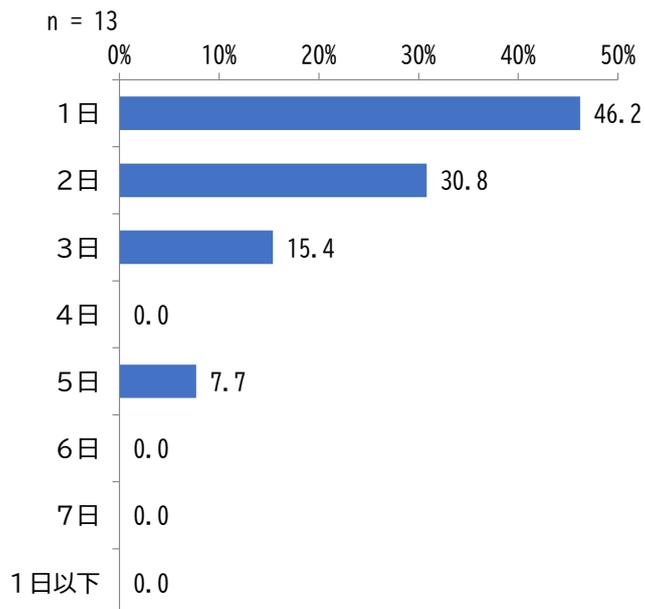
問 14-3 【放課後に過ごさせたい場所（高学年）】習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）

➤ 「2日」が35.6%で最も多く、次いで「1日」が26.9%、「3日」が24.5%となっています。



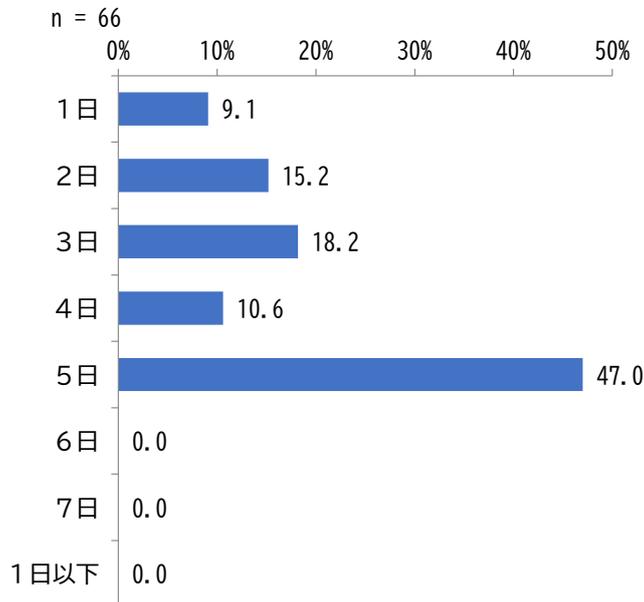
問 14-4 【放課後に過ごさせたい場所（高学年）】子ども館

➤ 「1日」が46.2%で最も多く、次いで「2日」が30.8%、「3日」が15.4%となっています。



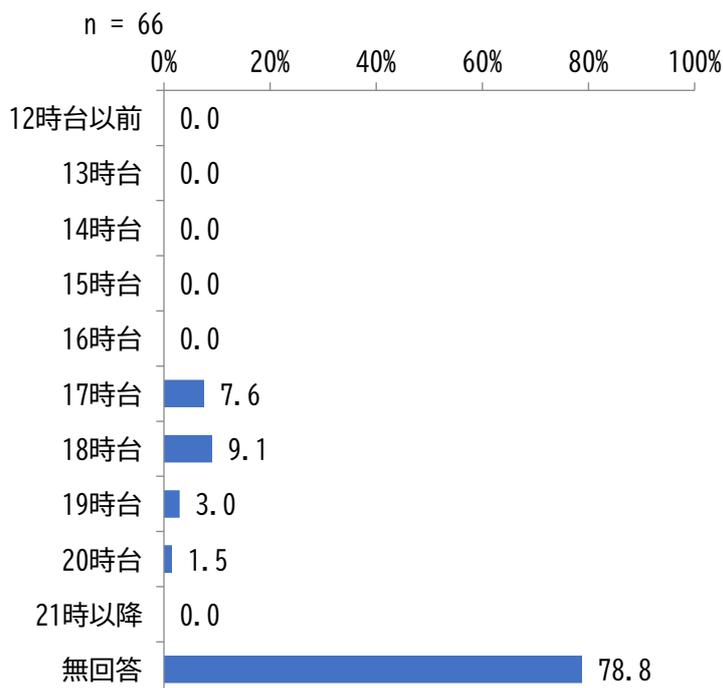
問 14-5 【放課後に過ごさせたい場所（高学年）】放課後児童クラブ

➤ 「5日」が47.0%で最も多く、次いで「3日」が18.2%、「2日」が15.2%となっています。



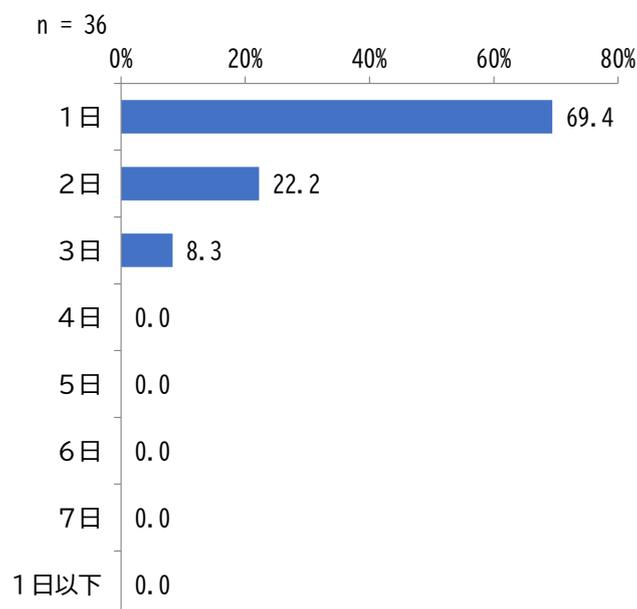
問 14-6 【放課後に過ごさせたい場所（高学年）】放課後児童クラブ 下校時からの利用希望時間

➤ 「18時台」が9.1%で最も多く、次いで「17時台」が7.6%、「19時台」が3.0%となっています。



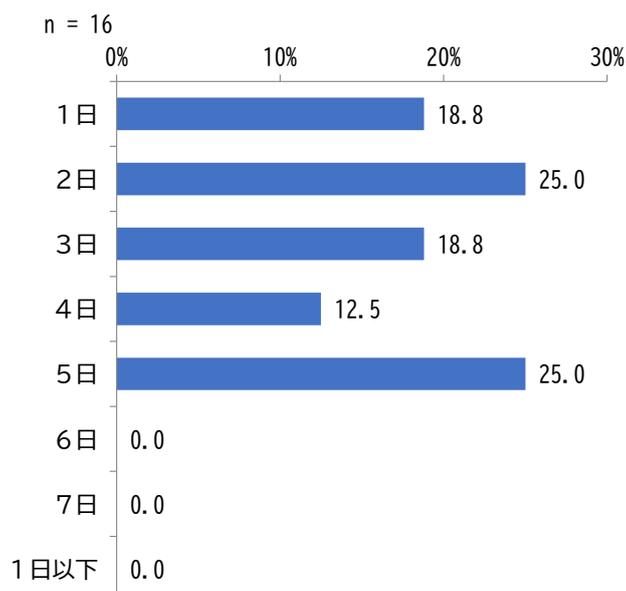
問 14-7 【放課後に過ごさせたい場所（高学年）】放課後子ども教室

➤ 「1日」が69.4%で最も多く、次いで「2日」が22.2%、「3日」が8.3%となっています。



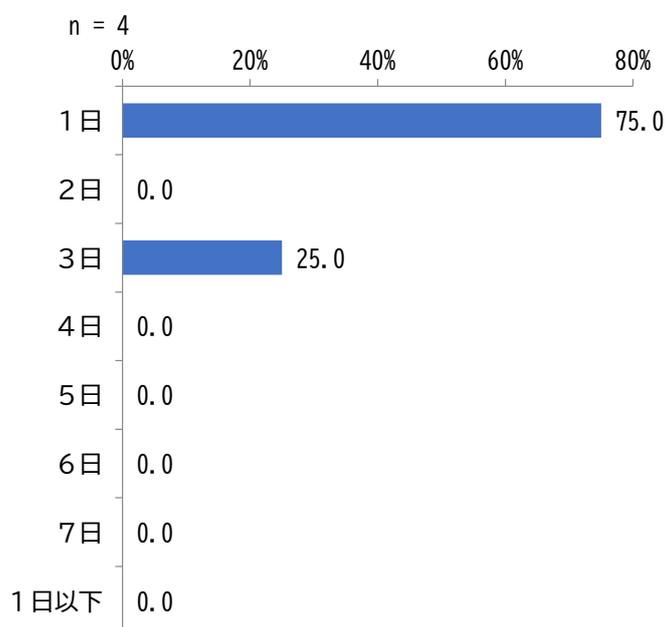
問 14-8 【放課後に過ごさせたい場所（高学年）】ファミリー・サポート・センター

➤ 「2日」「5日」が25.0%で最も多く、次いで「1日」「3日」が18.8%、「4日」が12.5%となっています。



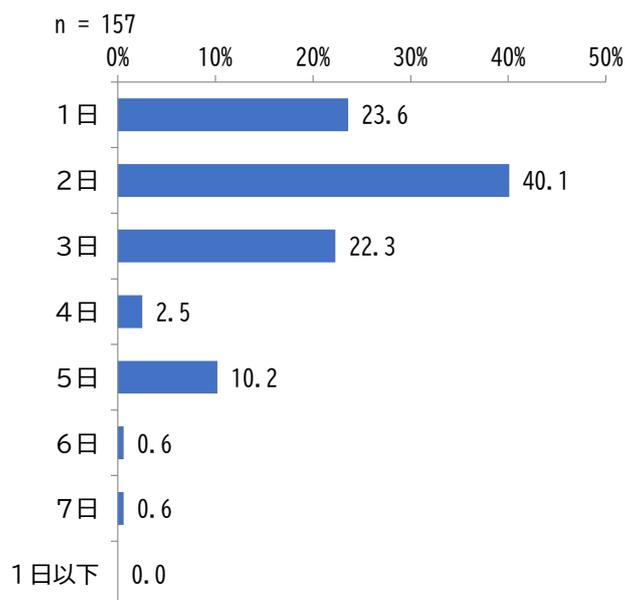
問 14-9 【放課後に過ごさせたい場所（高学年）】放課後等ディサービス

➤ 「1日」が75.0%で最も多く、次いで「3日」が25.0%となっています。



問 14-10 【放課後に過ごさせたい場所（高学年）】その他（公民館、公園など）

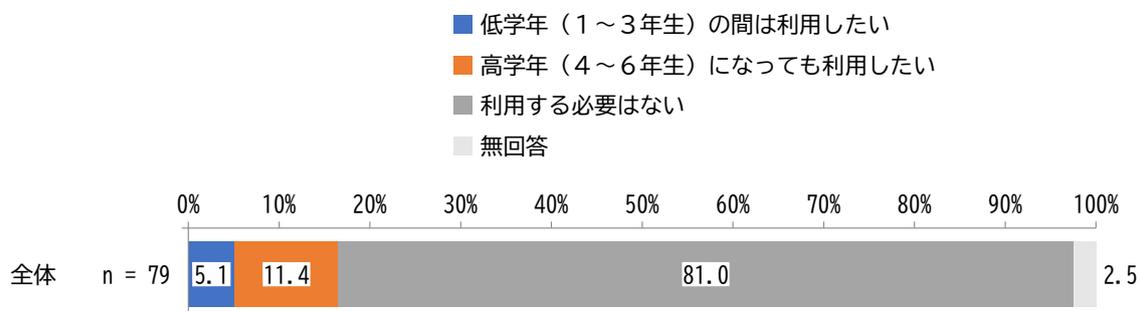
➤ 「2日」が40.1%で最も多く、次いで「1日」が23.6%、「3日」が22.3%となっています。



【放課後児童クラブを選択した方】

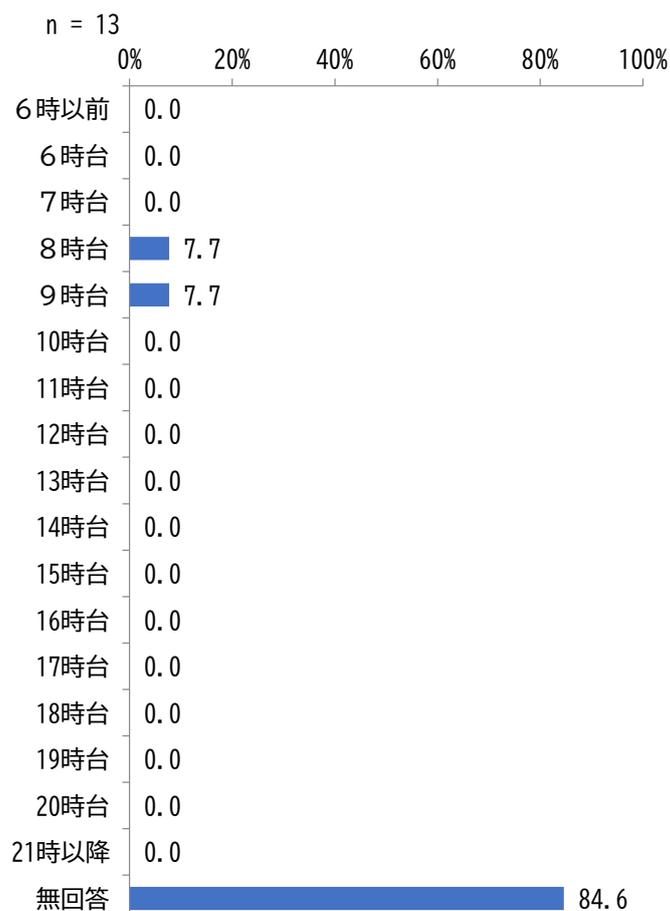
問 15-1-1 お子さんについて、【土曜日】に放課後児童クラブの利用希望はありますか。(1つに○)

- 「利用する必要はない」が81.0%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が11.4%となっています。



問 15-1-2 【放課後児童クラブ（土曜日）】希望開始時間

- 「8時台」「9時台」が7.7%となっています。



問 15-1-3 【放課後児童クラブ（土曜日）】希望終了時間

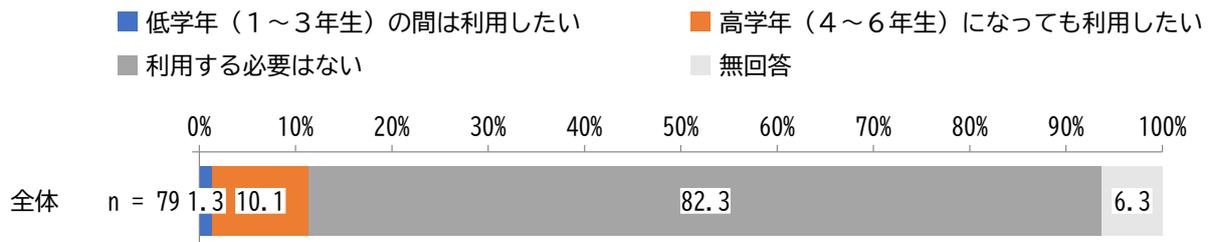
➤ 「15時台」「17時台」が7.7%となっています。



【放課後児童クラブを選択した方】

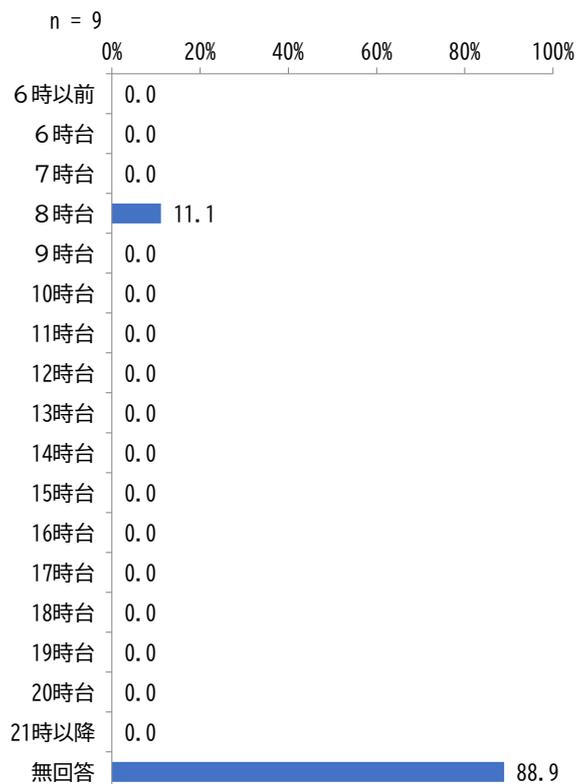
問 15-2-1 お子さんについて、【日曜日・祝日】に放課後児童クラブの利用希望はありますか。（1つに○）

➤ 「利用する必要はない」が82.3%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が10.1%となっています。



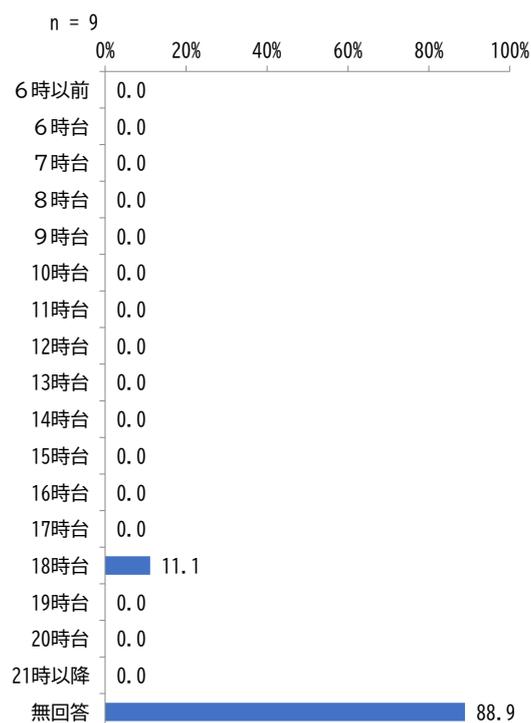
問 15-2-2 【放課後児童クラブ（日祝）】希望開始時間

➤ 「8時台」が11.1%となっています。



問 15-2-3 【放課後児童クラブ（日祝）】希望終了時間

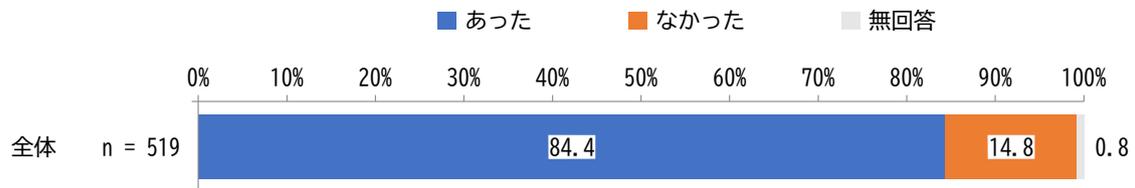
➤ 「18時台」が11.1%となっています。



お子さんの病気の際の対応について

問 16 この1年間に、お子さんが病気やケガにより、平日、小学校へ行けなかったことはありますか。（あてはまる番号1つに○）

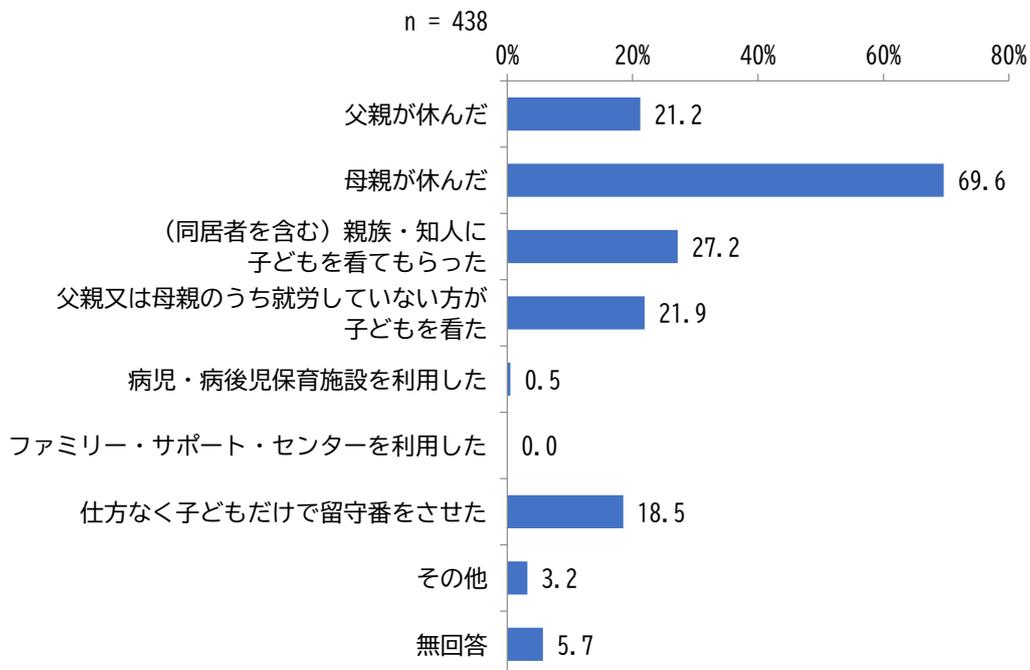
➤ 「あった」が84.4%、「なかった」が14.8%となっています。



【問 16 で「1. あった」に○をつけた方】

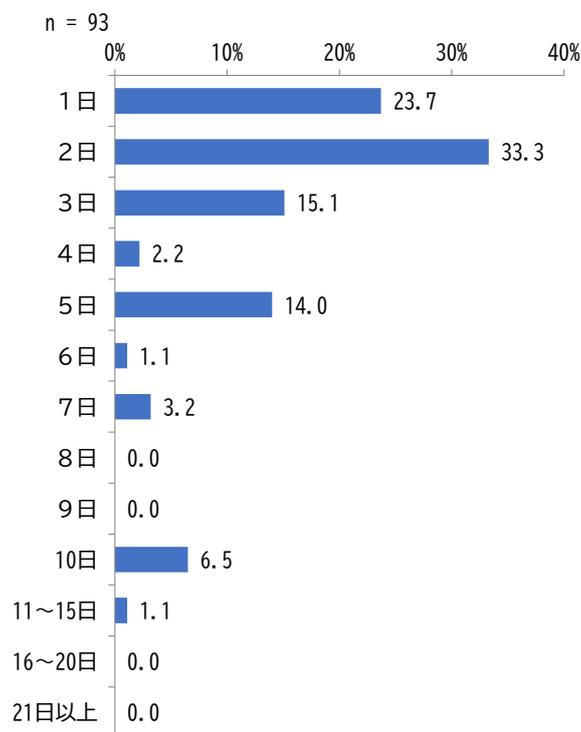
問 16-1 お子さんが病気やけがで小学校へ行けなかった場合に、この1年間に行った対処方法はどれになりますか。（あてはまる数字すべてに○）

➤ 「母親が休んだ」が69.6%で最も多く、次いで「(同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった」が27.2%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもを看た」が21.9%となっています。



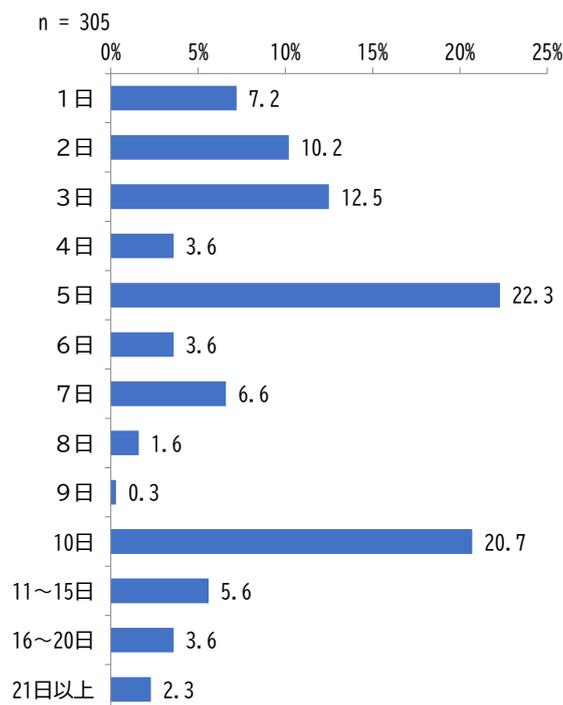
問 16-1-1 【この1年間の対処方法（日数）】父親が休んだ

➤ 「2日」が33.3%で最も多く、次いで「1日」が23.7%、「3日」が15.1%となっています。



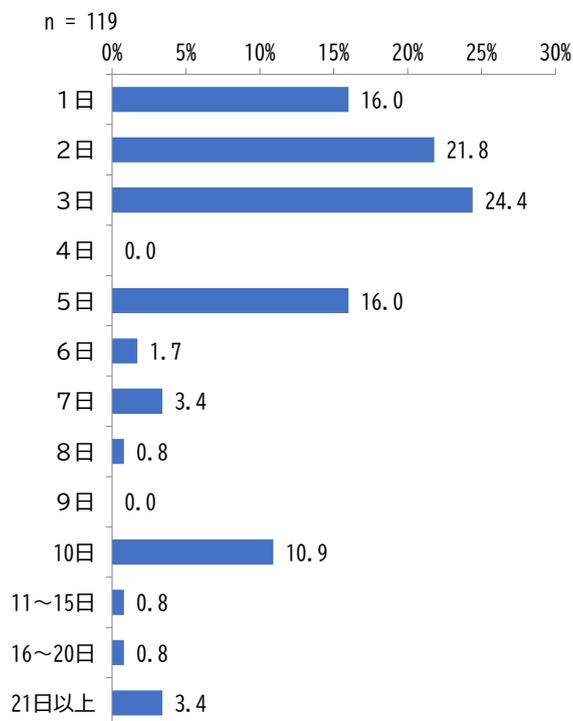
問 16-1-2 【この1年間の対処方法（日数）】母親が休んだ

➤ 「5日」が22.3%で最も多く、次いで「10日」が20.7%、「3日」が12.5%となっています。



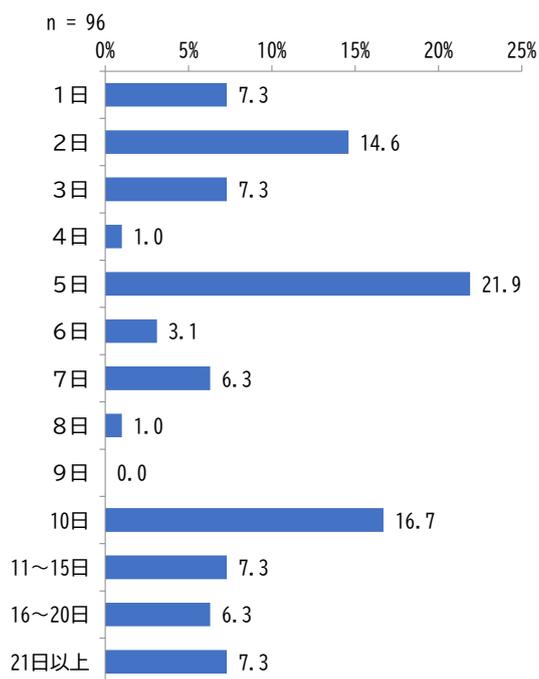
問 16-1-3 【この1年間の対処方法（日数）】（同居者を含む）親族・知人に子どもを看てもらった

➤ 「3日」が24.4%で最も多く、次いで「2日」が21.8%、「1日」「5日」が16.0%となっています。



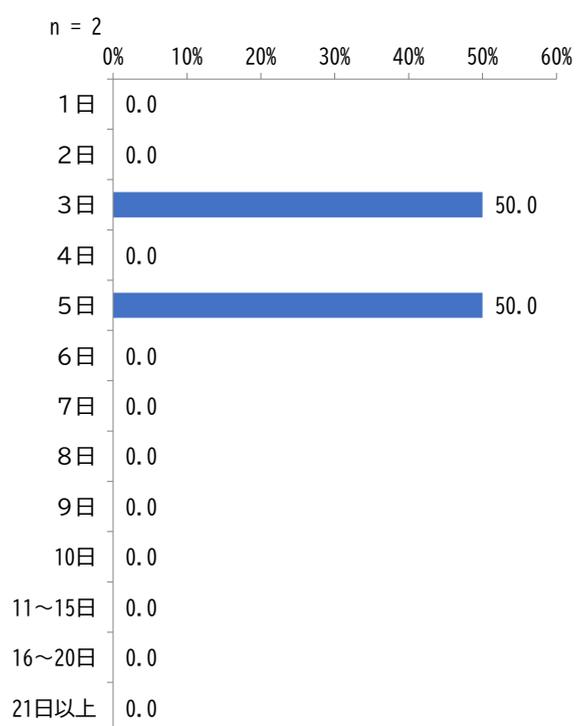
問 16-1-4 【この1年間の対処方法（日数）】父親又は母親のうち就労していない方が子どもを看た

➤ 「5日」が21.9%で最も多く、次いで「10日」が16.7%、「2日」が14.6%となっています。



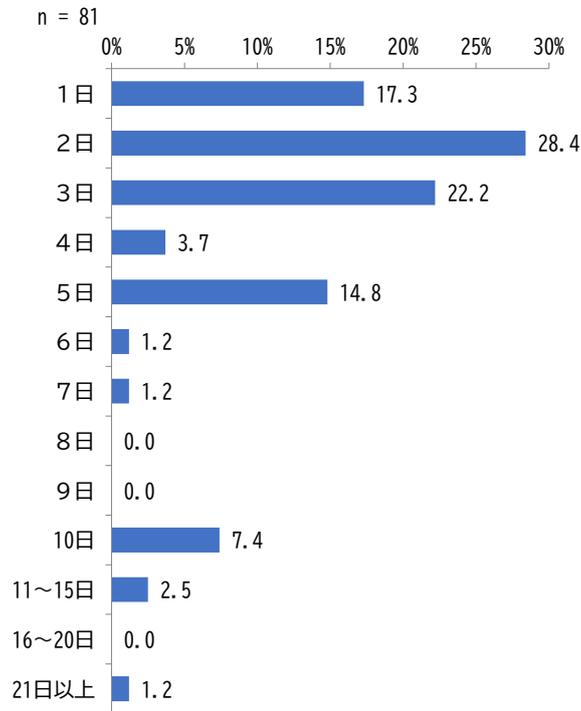
問 16-1-5 【この1年間の対処方法（日数）】 病児・病後児保育施設を利用した

➤ 「3日」「5日」が50.0%となっています。



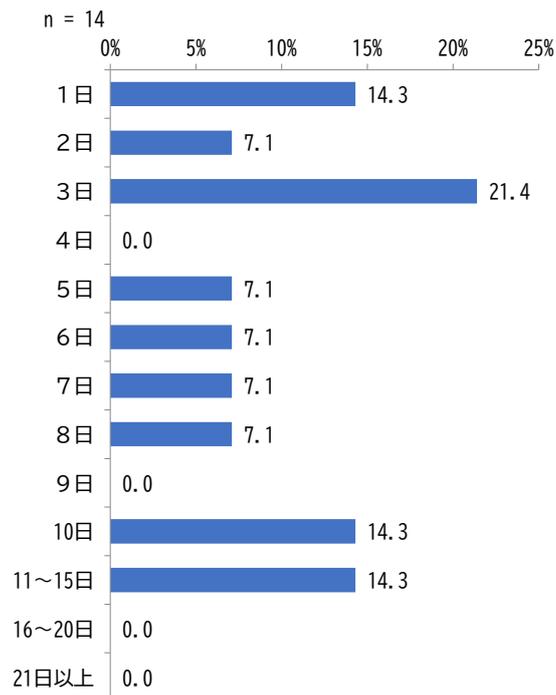
問 16-1-6 【この1年間の対処方法（日数）】仕方なく子どもだけで留守番をさせた

➤ 「2日」が28.4%で最も多く、次いで「3日」が22.2%、「1日」が17.3%となっています。



問 16-1-7 【この1年間の対処方法（日数）】その他

➤ 「3日」が21.4%で最も多く、次いで「1日」「10日」「11~15日」が14.3%、「2日」「5日」「6日」「7日」「8日」が7.1%となっています。



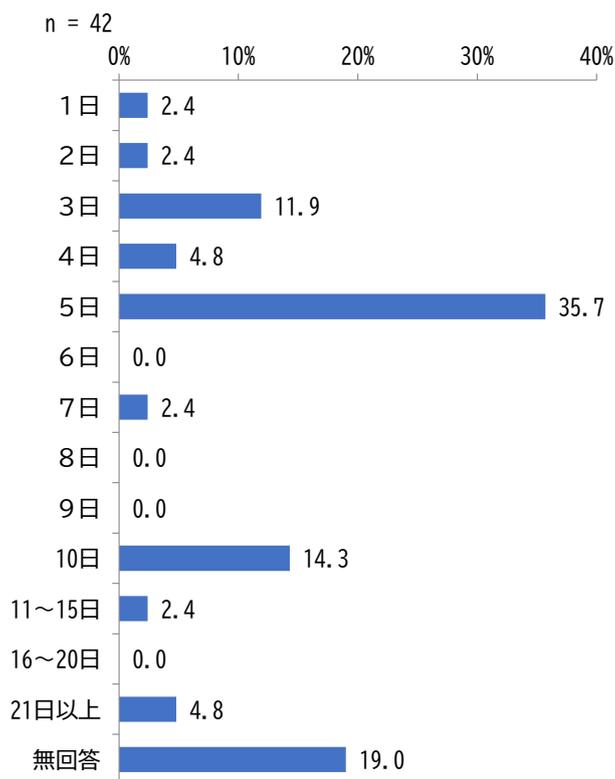
【問 16-1 で「1. 父親が休んだ」「2. 母親が休んだ」のいずれかに○をつけた方】
 問 16-2 その際、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と思われましたか。（あてはまる番号1つに○）

➤ 「利用したいとは思わない」が 80.4%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 13.3%となっています。



問 16-2-1 父親・母親が休んだ際の病児・病後児保育施設の「利用したい日数」

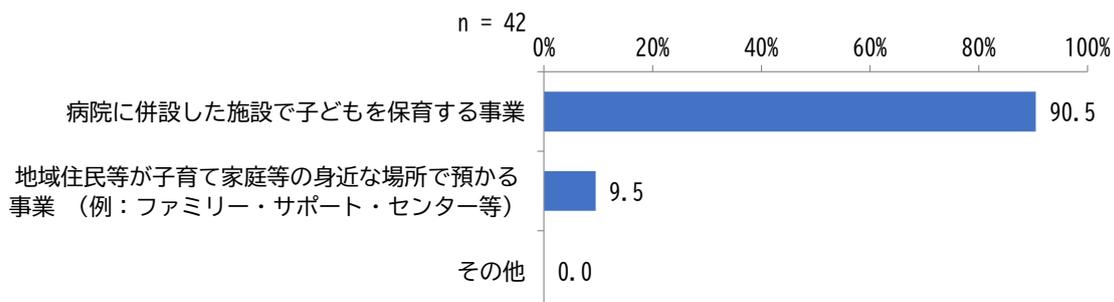
➤ 「5日」が 35.7%で最も多く、次いで「10日」が 14.3%、「3日」が 11.9%となっています。



【問 16-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方】

問 16-3 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。
(あてはまる番号すべてに○)

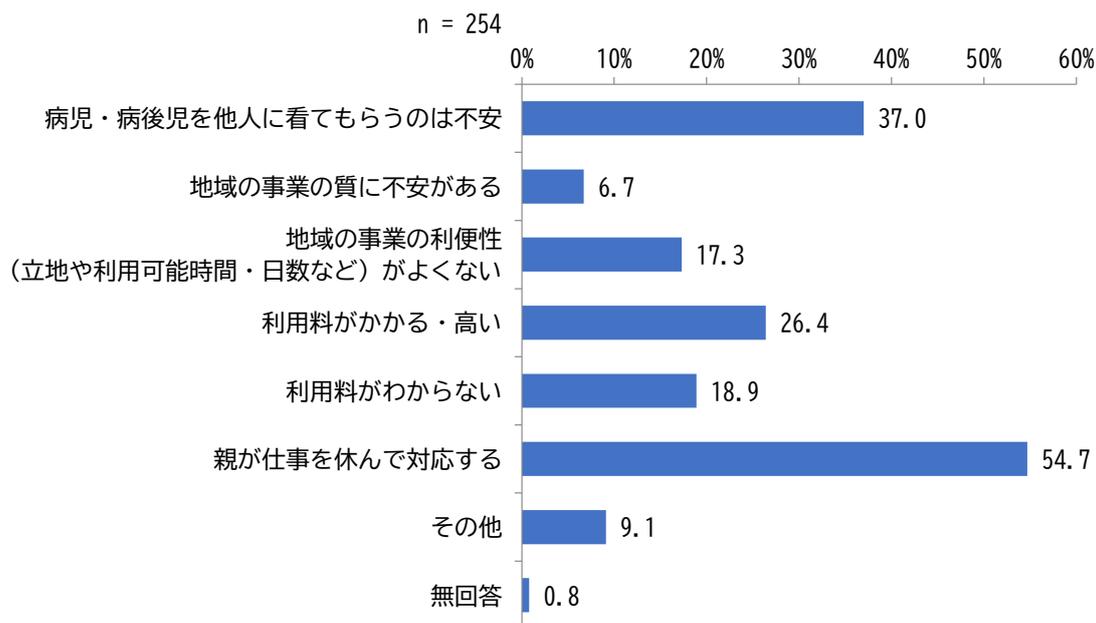
- 「病院に併設した施設で子どもを保育する事業」が 90.5%で最も多く、次いで「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で預かる事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」が9.5%となっています。



【問 16-2 で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方】

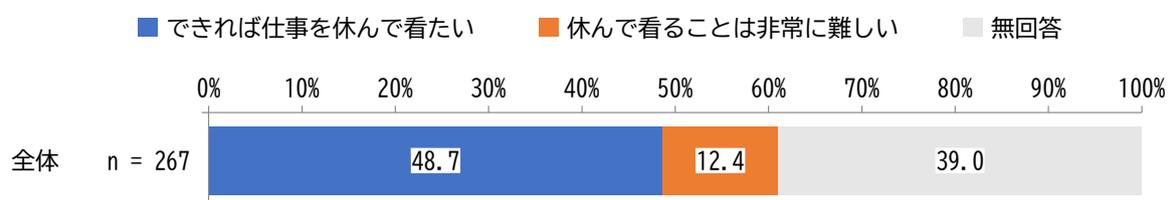
問 16-4 そう思われる理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- 「親が仕事を休んで対応する」が 54.7%で最も多く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が37.0%、「利用料がかかる・高い」が26.4%となっています。



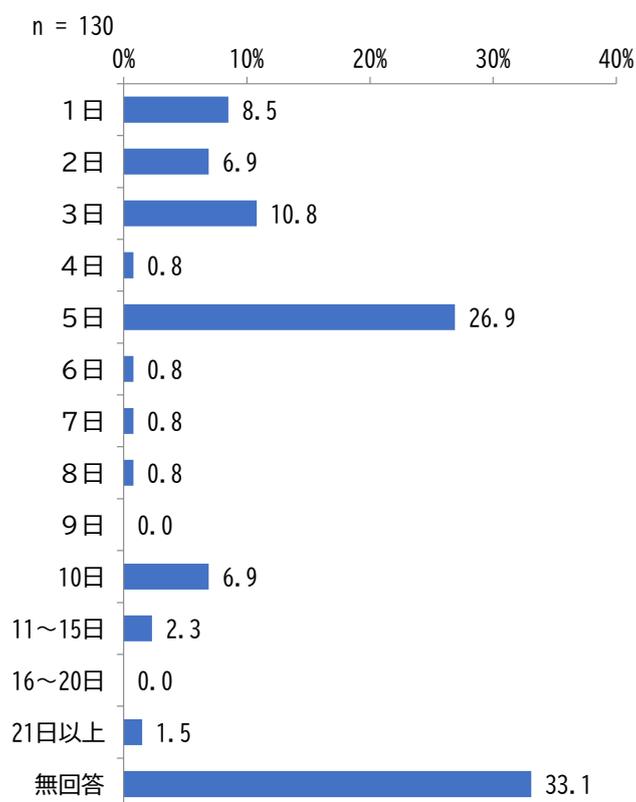
【問 16-1 で「3.」から「8.」のいずれかに○をつけた方】
 問 16-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。（あてはまる番号1つに○）

➤ 「できれば仕事を休んで看たい」が48.7%、「休んで看ることは非常に難しい」が12.4%となっています。



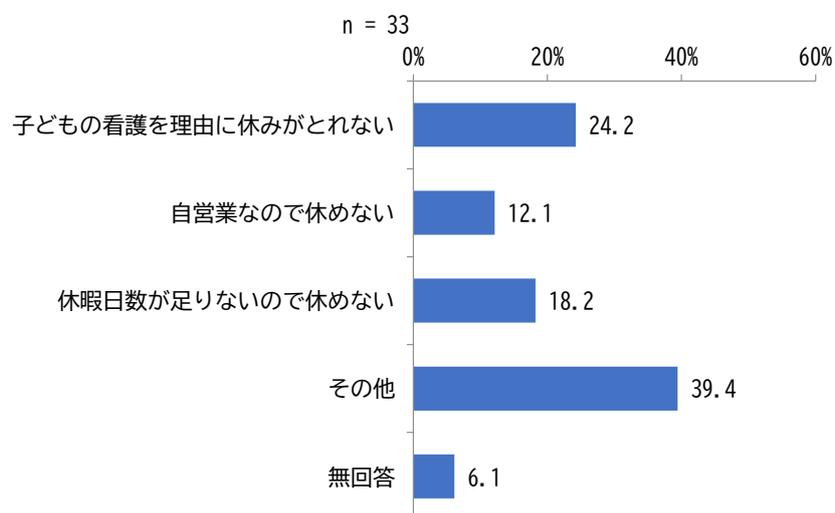
問 16-5 父母が休む以外の対処方法を選んだ方の「父母が休んで看たい日数」

➤ 「5日」が26.9%で最も多く、次いで「3日」が10.8%、「1日」が8.5%となっています。



【問 16-5 で「2. 休んで見ることは非常に難しい」に○をつけた方】
 問 16-6 そう思われる理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

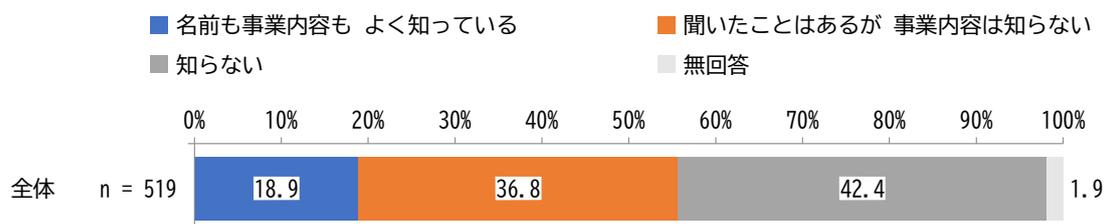
➤ 「子どもの看護を理由に休みがとれない」が 24.2%で最も多く、次いで「休暇日数が足りない
 ので休めない」が 18.2%、「自営業なので休めない」が 12.1%となっています。



ファミリー・サポート・センターの利用について

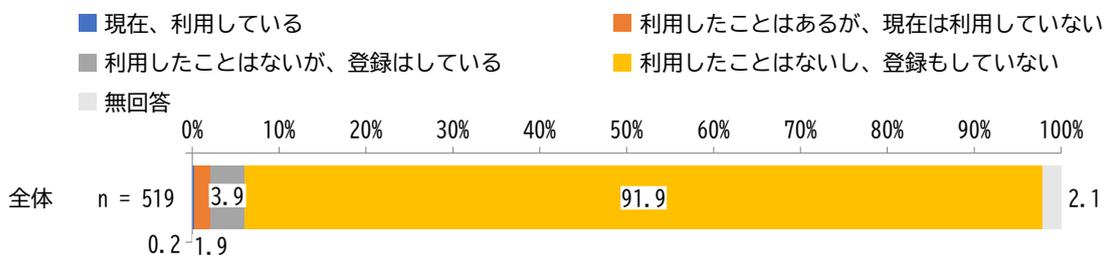
問 17 ファミリー・サポート・センター事業を知っていますか。(あてはまる番号1つに○)

➤ 「知らない」が 42.4%、「聞いたことはあるが 事業内容は知らない」が 36.8%となっています。



問 18 お子さんはファミリー・サポート・センターを利用していますか。または、利用したことがありますか。(あてはまる番号1つに○)

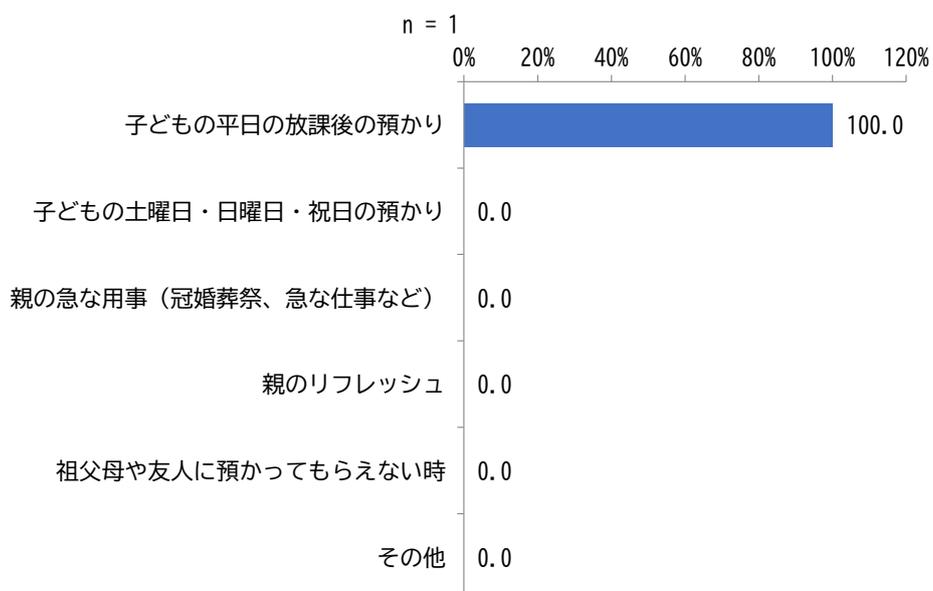
➤ 「利用したことはないし、登録もしていない」が91.9%、「利用したことはないが、登録はしている」が3.9%となっています。



【問 18 で「1. 現在、利用している」に○をつけた方】

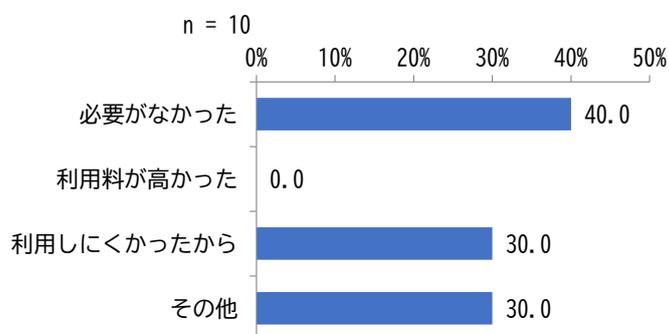
問 18-1 どのような目的で利用していますか。(あてはまる番号すべてに○)

➤ 「子どもの平日の放課後の預かり」が100.0%となっています。



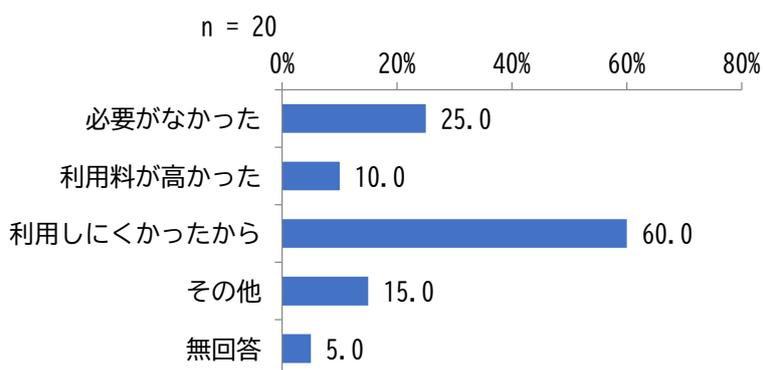
【問 18 で「2. 利用したことはあるが、現在は利用していない」に○をつけた方】
問 18-2 現在、利用していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

➤ 「必要がなかった」が40.0%で最も多く、次いで「利用しにくかったから」が30.0%となっています。



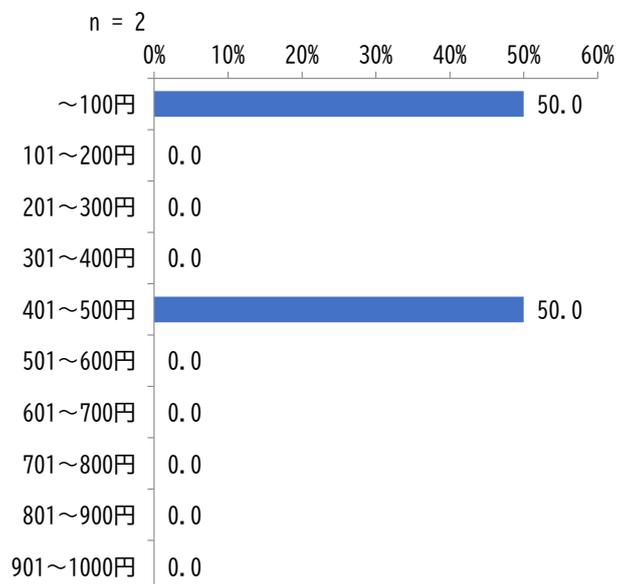
【問 18 で「3. 利用したことはないが、登録はしている」に○をつけた方】
問 18-3 登録はしているけど、利用していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

➤ 「利用しにくかったから」が60.0%で最も多く、次いで「必要がなかった」が25.0%、「利用料が高かった」が10.0%となっています。



問 18-4 ファミリー・サポート・センターに登録はしているが利用していない人が利用する際の希望金額

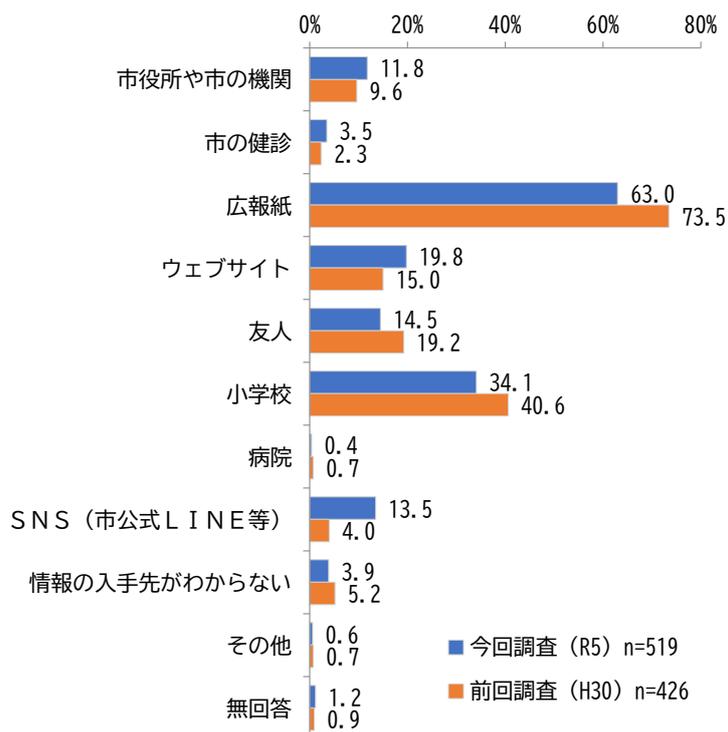
➤ 「～100円」「401～500円」が50.0%となっています。



その他のことについて

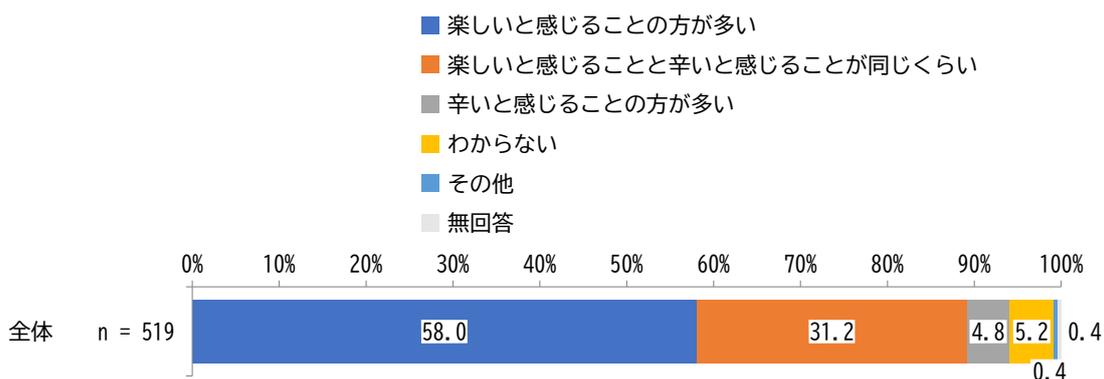
問 19 市の子育てに関する情報をどのように入手していますか。(あてはまる番号2つまでに○)

- 「広報紙」が63.0%で最も多く、次いで「小学校」が34.1%、「ウェブサイト」が19.8%となっています。
- 前回調査と比較すると、「SNS（市公式LINE等）」の割合が増加しており、「広報紙」「小学校」の割合は減少しています。



問 20 自分にとって、子育てを楽しんでいることが多いですか、それとも辛いと感じることが多いですか。(あてはまる番号1つに○)

- 「楽しいと感じることの方が多い」が58.0%、「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」が31.2%となっています。

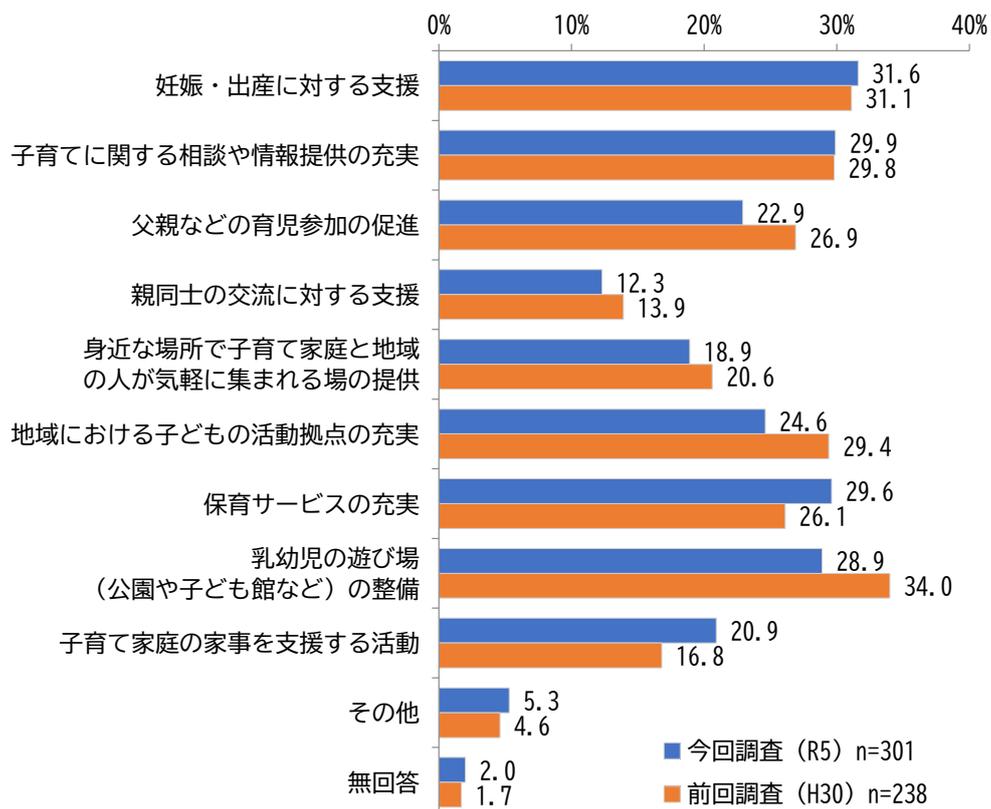


【問 20 で「1. 楽しいと感じることの方が多し」に○をつけた方】

問 20-1 子育てをする中で、どのような支援・対策が有効と感じますか。

(あてはまる番号3つまでに○)

- 「妊娠・出産に対する支援」が 31.6%で最も多く、次いで「子育てに関する相談や情報提供の充実」が 29.9%、「保育サービスの充実」が 29.6%となっています。
- 前回調査と比較すると、「乳幼児の遊び場（公園や子ども館など）の整備」「地域における子どもの活動拠点の充実」の割合が減少しています。

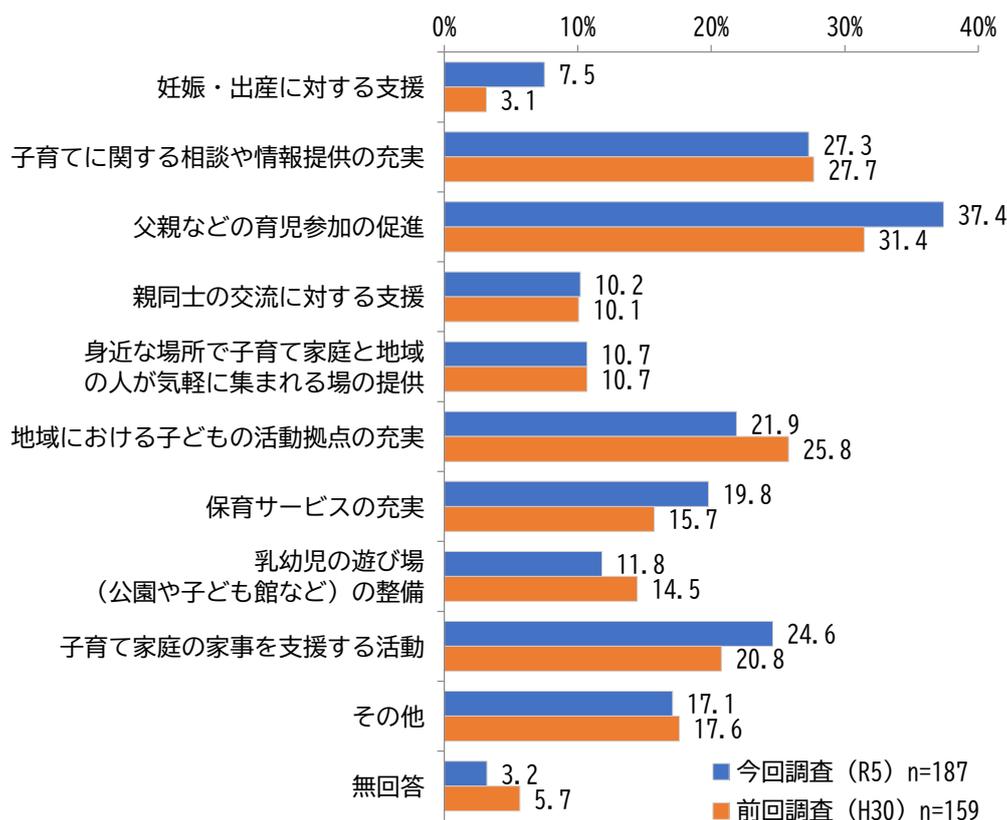


【問 20 で「2. 楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」もしくは「3. 辛いと感じることの方が多い」に○をつけた方】

問 20-2 自分にとって子育ての辛さを解消する為に必要なことは何ですか。

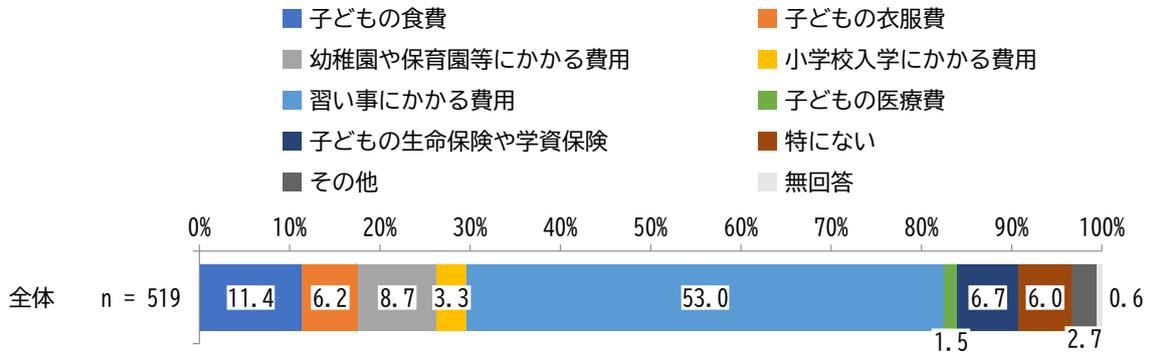
(あてはまる番号3つまでに○)

- 「父親などの育児参加の促進」が 37.4%で最も多く、次いで「子育てに関する相談や情報提供の充実」が 27.3%、「子育て家庭の家事を支援する活動」が 24.6%となっています。
- 前回調査と比較すると、「父親などの育児参加の促進」の割合が増加しています。



問 21 子育てにかかる費用のうち、特に負担を感じる費用は何ですか。(あてはまる番号1つに○)

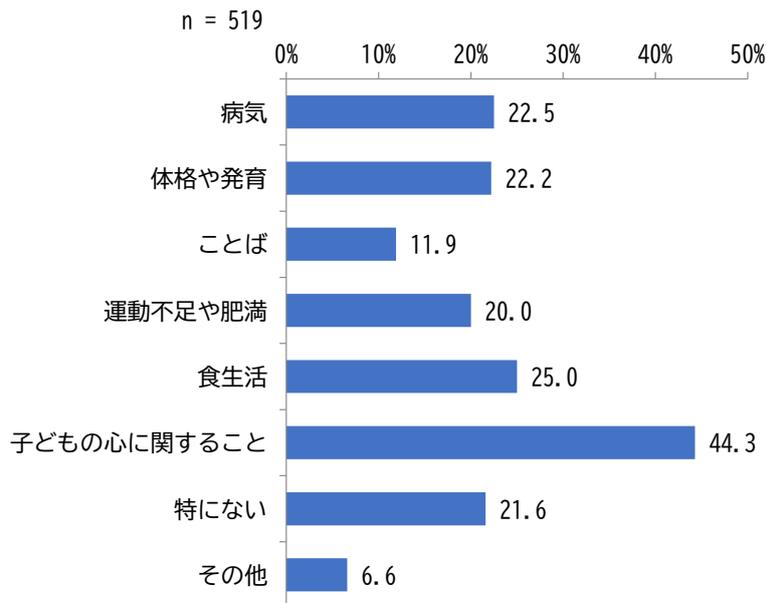
➤ 「習い事にかかる費用」が53.0%で最も多く、次いで「子どもの食費」が11.4%、「幼稚園や保育園等にかかる費用」が8.7%となっています。



問 22 子育てに関して日常悩んでいること、また気になることはどのようなことですか。

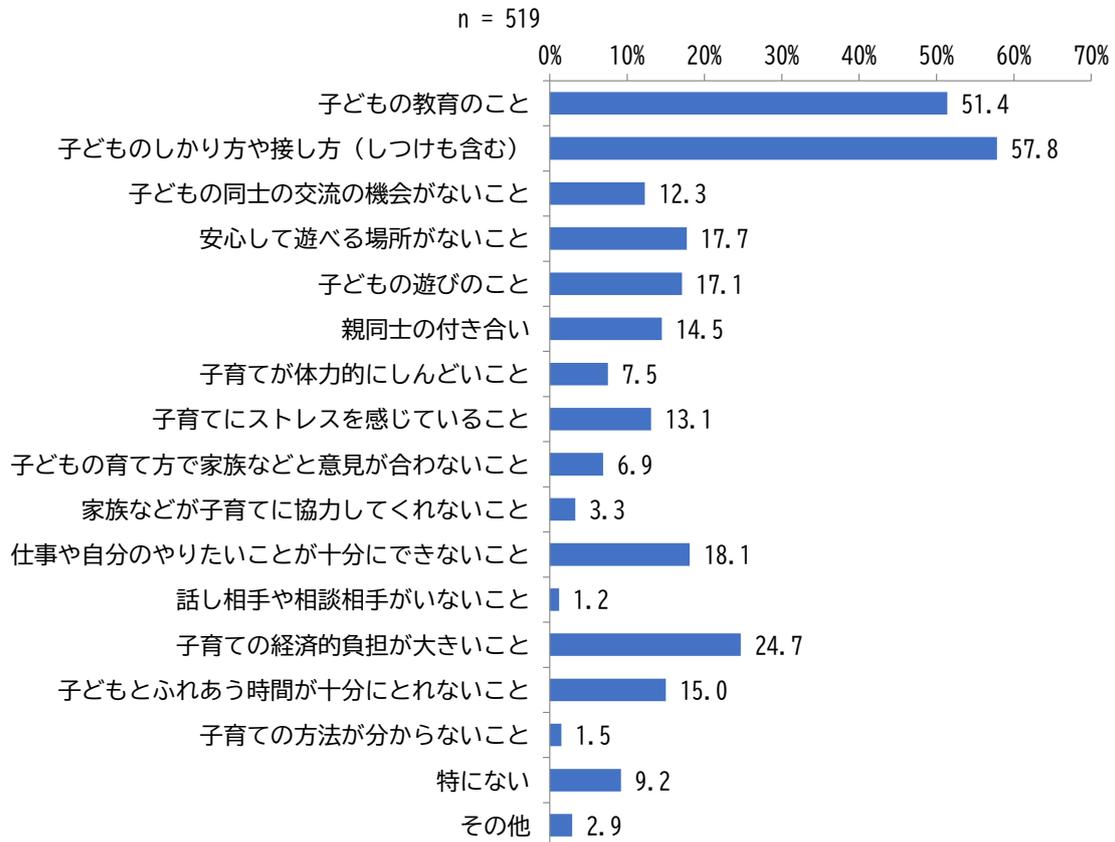
(あてはまる番号すべてに○)【子どもの病気や健康、発育のこと】

➤ 「子どもの心に関すること」が44.3%で最も多く、次いで「食生活」が25.0%、「病気」が22.5%となっています。



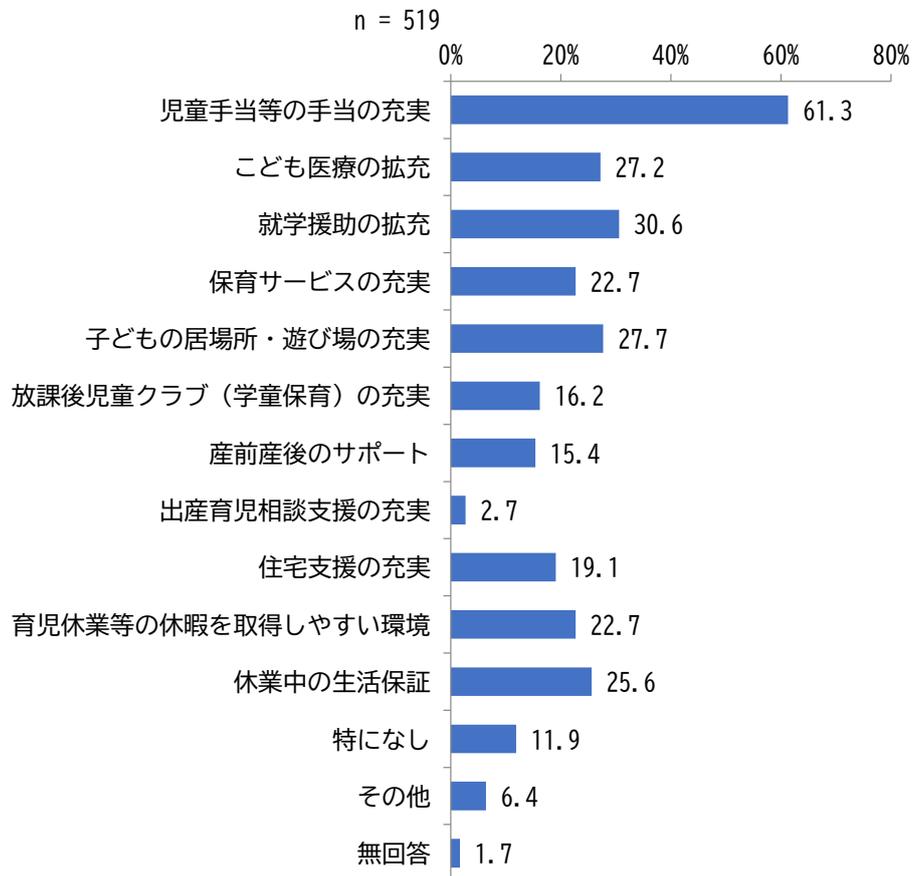
問 23 子育てに関して日常悩んでいること、また気になることはどのようなことですか。
 (あてはまる番号すべてに○)【子どもの病気や健康、発育以外のこと】

➤ 「子どものしかり方や接し方(しつけも含む)」が57.8%で最も多く、次いで「子どもの教育のこと」が51.4%、「子育ての経済的負担が大きいこと」が24.7%となっています。



問 24 市からどのような支援があれば、更にもうひとりの子どもを授かりたいと思いますか。
(あてはまる番号すべてに○)

➤ 「児童手当等の手当の充実」が61.3%で最も多く、次いで「就学援助の拡充」が30.6%、「子どもの居場所・遊び場の充実」が27.7%となっています。



IV. 子ども・子育て支援に関する自由意見

就学前児童の保護者の自由意見

子ども・子育て支援に関連する主な意見を記載しました。

▶ 金銭面について、支援について（43件）

学費等の無償化（10件）
子育てにあたって1番の不安要素は学費なので、経済的な不安を軽減できるような措置を求めます。
子供が3人以上は大学費用が無料だとか、児童手当が増えるというのは、どうかと…子供が2人が1番損な感じがします。子育て給付金は一律にしてほしいです。
児童手当もありがたいですが、未満児0歳から高校まで無償化で子供の全てのお金がかからないほうがありがたいです。税金があがったとしても。職場として子供は年中風邪ひいて、いつ熱が出るかわからないので、それを理解してくれる環境作り。お互い様だと思ひ合える環境作り。
少子高齢化の中、子供を育てる事は国の発展に寄与しているはずだが、実際はとてつもなくお金がかかるため、生活に余裕がない。よって心に余裕もない。現在検討中である、複数子供がいる世帯には上限なく大学無償化を実施して欲しい。
多子世帯への支援（7件）
低所得者だけの支援が多いので、中間層も多子世帯は子供に応じて学費等がかかるため、経済的な面をもっと支援してほしい。金銭面で不安が大きくて子育てにゆとりがもてない。家事、育児でも大変なのに仕事の事も考えないといけなくて精神的にきつい。
育児をしながらでも無理なく働ける場所を作ってほしい。子連れ出勤ができて周りの理解がえられる場所。
子供が3人いるので、時間的にも金銭的にも大変です。働かなくては育てられないし、働いているので子供と触れ合う時間が無くつらいです。働く時間を短くしたいですが、金銭的に厳しくそれも難しいです…。
子供が複数いる家庭にもっと金銭的支援を希望します。子供がほしいと思っけていても金銭的に厳しくてやめたという人が多すぎます。各務原市なら子供を安心して産める、育てられるというふうになってほしいです。
保育料の負担を少なくして欲しい。4人子供がいるが、第一子、二子、三子と四子の年の差があるので、保育料が高い。年の差があっても、同じ様にお金がかかるので、保育料免除等の支援をして欲しい。
明石市のような支援が欲しい。市役所の職員の対応が悪い。親身になってくれない。多子世帯の経済的な支援が欲しい。低所得世帯限定とかではなくて中間層もきつい。育児休業何て取得出来ない。派遣だから切られてしまう。
給食費の無償化（3件）
3人育児の経済的支援が、年齢が離れているとあまり受けられないので、年齢制限なしで支援して欲しい。例えば、給食費とか。子どもを何人も産みたくなる事も大事かも知れませんが、まずは1人を安心して余裕を持って育てられる環境があると嬉しい。3人産んだら…2人産んだら…と多子世帯に特化した支援では1人だけの方への支援が不十分に感じます。
給食費の無償化や、習い事費用助成など、幅広い世帯が恩恵を受けられる支援であってほしいです。
高校卒業まで医療費無償化（2件）
他市のように高校卒業まで医療費を無料にしてほしいです。

所得制限の撤廃（2件）
国には期待できないので、市で出来ることはどんどん支援を拡充してほしい。 子育て支援に所得制限は不要ですし、どの家庭の子どもでも平等に支援やサービスが受けられることが望ましい。
その他（19件）
0・1・2才の保育料が高いと思いました。また第二子の保育料半額とあるが、年が離れているためあまり恩恵を感じられません。
育児休業中の生活保障を強く望みます。
経済の支援が増えなければ結婚しようとする若者が少なくなるだけで高齢社会になります。
現在3人目妊娠中だが出産支援金は頂けるのはありがたいがプラスオムツクーポンなど子育てはお金がかかるのでもっと支援してほしい！
子どもが2人でも3人でも等しく金銭的支援をしてほしい。
習い事をしたい！と言ってくれることが増えたが、金銭的に難しくやりたいことをさせてあげられない辛さがあります。 幼稚園の無償化も今後の入学に関しても、負担額がもう少し減ると助かります。 もう1人子どもが欲しい気持ちが金銭的に大学まで行かせてあげられるか不安で一歩前に進めません。
発達障がいがあり、放課後デイサービスの利用が必要な子です。母子家庭ですが世帯主が祖父であり、収入の関係で、月に4万円弱かかります。親にこれ以上頼るのも心苦しくとても払えず通う事ができません。世帯収入ではなく、個人の収入で金額を決めて欲しい。
物価高のために生活が苦しいので支援してほしい。

▶ 施設整備、環境整備について（26件）

公園や自由に過ごせる場所（11件）
市民公園の遊具がだいぶ劣化で使えなくなっているのでこれを機に小さい子ども安全に遊べるようなスペースが作られるといいなと思います。
市民公園やかさだ広場のような大きな公園ではなく、地域にある小さな公園にもいろいろと行ってみたいと思っておりますが、駐車場がなく断念することが多いです。1.2台でも駐車スペースがあり無料だと助かります。ただ公園に関係のない方がずっと停める可能性も高いため、30分過ぎたら有料など対策をしてくださるとなお嬉しいです。
市民公園を頻繁に利用していますが遊具が壊れて使えないものが多いです。子育てに非常に役立っておりますので直していただきたいです。また、大型の遊具を増やしてほしいです。 病児保育やファミサポなどは登録が必要だったり、当日に突然使えないので突発の用事や病気に対応することができずとても困ったことが複数回ありました。急に預かってもらえる先があると非常に有難いです。
室内で無料で遊べる所が子供館のみですが、大きい子では子供館では体力を持て余してしまうので、体を動かして遊べるようなところを作って欲しいです。できれば市内の方は無料や低価格など良心的な値段だとより助かります。 また3人目を産んだ方は給食費無料、幼稚園のバス代無料など子供が増える取り組みを市でも行なってほしいです。
川島地区に公園（滑り台やぶらんこなどの遊具がある公園）が少ない。小さい子どもでも外で遊べる場を増やしてほしいです。また、公園マップがあると嬉しい。
放課後に子供達が十分に体を動かし遊べる公園や場所が近くに欲しい。 特別支援学校や市民サービスセンターの中に、子供がのびのびと楽しく絵本を選べるような（静かに

<p>するなど気を遣わなくてもいい)絵本図書館を作って欲しい。小牧の絵本図書館が子供の興味を惹き手に取りやすいようにとても工夫されていて利用しやすいです。</p>
<p>道路、交通について (2件)</p>
<p>妊娠中や子どもが生まれて間もないからなどにタクシーまたは専用バスなどが利用できると嬉しいです。運転手が女性の方や、設備、料金など。</p>
<p>その他 (13件)</p>
<p>各務原市は公共のプールが非常に少ないです。市民プールも、古いので劣化がはげしく、至急改装を願います。市民プール以外にも、公共のプールを作って下さい。</p>
<p>休日対応してもらえる病院の拡充 ワクチンの無償化 (おたふく風邪)</p>
<p>金銭的な理由で塾などに通えない家庭の子供に、学校で分からない勉強などを教えてくれる場があればと思います。中学校の部活も、とても金銭的に負担になるので、義務教育の間は、誰でもが入れるようになればと思います。</p>
<p>室内に遊具があるような広い遊べる施設や未就学児でも工作、体験ができる場所があるといい。</p>
<p>病児ベビーシッターや土日も含めて緊急で預かって貰えるサービスが欲しい。コロナ期間は本当に大変だった。保育園には本当に感謝しているが、小学校に入るとまた別世界で大変だと実感している。不登校児が通える岐阜市のような中学校を立ち上げて欲しい。</p>

▶ 保育園・幼稚園について (25件)

<p>保育環境について (10件)</p>
<p>0歳児クラスの定員を増やしてほしい</p>
<p>教育・保育関係のお仕事に従事している方の待遇(給与など)を向上してあげてほしい。それが巡り巡って子供たちのためになると思う。</p>
<p>子育て家庭への支援と同様に、保育所や幼稚園、こども園への支援にも注力いただきたい。保育士が足りておらず、労働環境が悪化しているにも関わらず、賃金が安い。余裕のある保育が実現するよう、支援いただきたい。</p>
<p>働かないといけない状況だから、働くも保育料は未満児だと、高い。働けば働くほど、料金は、高くなる。一時は、月子供2人で8万近く、最近でも、月1人6万ちかく払っていた。また、流行病だと、保育園は最短6日~となり、いくら理解ある職場でも2日で心理的に負担。また、祖母へも心理的負担がのしかかる。また、6日休めないわが子へも後ろめたい気持ちでいっぱい。病児保育あるのは、知ってるが、利用したことない。</p>
<p>預けられない状況、待機児童について (6件)</p>
<p>隠れ待機児童がたくさんいるのに、待機児童0を謳うのはやめたほうがいい。</p>
<p>前に、保育園の申し込みに関して市役所に行った時、「各務原市は待機児童はいない」と説明があった。しかし、私は1度全ての保育園に落選したことがある。それに、近くの保育園(那加・蘇原地域)はどこも定員いっぱいのところが多く、申込書に遠くの保育園を書かざるを得ない部分があった。市が毎月発表している保育園の空き状況を見ると、空きはあるのだが、私と同じような経験をし、入園を諦めている家庭は少なくないと思う。那加・蘇原地域は新しいアパートや一軒家が次々と建って若い家族がよく見られる地域であるため、今後今以上に激戦区になるのではと心配している。</p>
<p>兄弟を同じところに通わせたい (3件)</p>
<p>小規模保育園が多くなり、産休に入ったら退園、という制度がなくなったことはありがたい。ただ、一方で、退園者がいなくなったことで、兄弟別々の保育園に通わざるを得ない家庭もでてきた。せめて兄弟は同じところに通わせてほしい。</p>
<p>その他 (6件)</p>
<p>もう一人欲しいと考えていますが、産休、育休を取りたいのに、取ってしまったら上の子が保育園を退園させられてしまうので無理だなと諦めています。子どもの病気で仕事を休む月が増えた時に市役</p>

<p>所からなぜ就労日数が足りないのかと連絡が来たとき驚きました。事情を話すと、日数が足りないなら別の日に働くよう言われました。なぜそこまで言われなければならないのか。サポートセンターや病理はいっぱい利用できませんでした。病気によっては断られました。それを伝えても働くようお願いするしかと言われました。相談をしてくださいと言われた市役所でこのような対応なので、サポートセンターを利用したくない人が増えるのではないのでしょうか。まずはサポートする人への良識ある教育が必要なのではないかと思います。</p>
<p>育休復帰は延長希望であれば、その旨を一筆できる欄を設けて保育園申請出すも選考審査の対象外になるようにしてほしい。</p>
<p>自営業などの保育料は前年度の年間の年収で決まるけど、自営業は収入のなみが激しいので今年度が下がっていると保育料はきつい。 育児休暇中に預けるのはとてもありがたいが、収入も少ないので保育料がきつい。 でも、2歳と0歳もみるのたいへんだから保育園を辞めるわけにもいかないしもう少し考えて欲しいです。</p>

▶ 子育て環境について (12件)

<p>ベビーシッターや家事代行サービスが気軽に受けられると良いです。 また、息抜きでの一時保育利用ができることは知っており登録もしておりますが、その保育所が忙しいという話をよく聞くので、一度も利用したことはありません。まずは保育士の方の待遇改善ののち、さまざまなサービスが受けやすくなるとありがたいです。金額は上がっても構いません。 一時保育の空きも簡単に確認できるといいなと思います。</p>
<p>各務原市はとても子育てしやすい地域だと感じています。子ども館も土日も開放されているため、父親がいない日などには子供を連れてよく行くため助かっています。 現在では子どもが2人なのでなんとかワンオペの日も2人を連れて子ども館に行ったり出かけることは可能ですが、3人目となるとワンオペのことを考えると難しいと感じます。 なかなかベビーシッターや、少し誰かに預けたいと言う時もお金がかかると思うと躊躇します。 また仕事復帰をした時にフルタイムが8時から18時になるため、とてもこれ以上子どもが増えると子育てと家事と仕事がこなせる自信がありません。時短勤務を希望しようかと思いますが、どれだけ給料が減るのかまた、時短で働いても自分の仕事が他の人にやってもらったりできないため、自分が余計に苦しくなるのではないかと考えてしまうため、時短も躊躇してしまいます。</p>
<p>現在のところ、とても住みやすく感謝しています。</p>
<p>祝日や年末年始等関係ない仕事を夫婦でしています。なので子供には幼稚園が休みの日なども寂しい思いをさせてます。なのに給料は安い。ちなみに医療職です。夜勤もあります。夜ママがいなくて寂しい思いをしています。パパが居ない夜はワンオペです。それでもギリギリで生活しています。もっと給料があれば手当があれば仕事の時間を減らせるし、子どもに寂しい思いをさせずにすむのに、、、子ども館も土日やっているのはありがたいです。しかし祝日や年末年始等もできたらやってほしい。行く場所に困ります。</p>

▶ アンケートについて (9件)

<p>アンケートの仕組みが答えにくい</p>
<p>このアンケートは項目が多すぎて、忙しい子育て世代向けではない気がした。</p>

▶ 放課後児童クラブについて (7件)

<p>学童に預けたとしてもフルタイムでの育児両立はしんどかったのと、子どもとゆっくり過ごす時間も欲しいので、遅くまで働くつもりや自身にキャパもないのでパート勤務に切り替えたが、小学校の帰りが早いし、特に1年生の4月5月は早帰りばかりで、働く人にとっては厳しいと思う。(条件的に</p>
--

<p>学童には入れられないので)学校の先生の働き方ばかり改革されているが、親も同じように働いているのだから、学校の仕組みを変えないと働きたい人も働けないと思う。こども園は仕事時間に応じて預けられるので助かっています。</p>
<p>学童の夏休みの開始時間を保育園同様の7時からの預かりにすることを強く希望します。学童の先生の質を高くしてほしい。</p>
<p>放課後児童クラブのスポット利用ができると助かります。またはそのような利用環境ができると良いなと思います。</p> <p>兄弟の通院や療育などで下校時間にどうしても間に合わないが一人で留守番は心配である、頼る人はいない、という時に学校敷地内にある放課後児童クラブが一時的に利用できると助かります。</p>

▶ 一時預かりについて（ファミサポ等）（7件）

<p>ファミサポの制度がよくわからない。使いたいけどどうしたらよいかわからない</p>
<p>ファミリーサポートのような一時的なサービスを利用したいが、敷居が高い。民間のサポートではなくてもよいので、気軽にすぐ使えるようなシステムにして欲しいです。</p>
<p>専業主婦であったとしても、3歳(幼稚園入園まで)になるまでのこどもと24時間365日つきっきりでいることはストレスを感じる場面も多く、息が詰まる時がある。</p> <p>美容院に行きたい、など『息抜き』という理由であっても気まずさを感じることなく預けられる環境作りをして頂けると嬉しい。</p>

▶ 放課後の子どもの居場所（6件）

<p>各務原市も、名古屋市のような小学校授業後のトワイライトスクールを作ってほしい。</p>
<p>小学生の子どもが1人で行き、帰ってこれるような（公民館のような距離感）居場所的だけで施設（管理人の大人が常駐）が各地域にあるとよい。急な予期せぬ留守番をさせなければならない事態に有効であり、また放課後日常的に家庭以外で誰でも理由問わず安心できる過ごせる場がほしい。</p> <p>小学校に学童とは別で放課後一部屋でもそのような場を開放してもらえただけでも良いと思う。</p> <p>子ども館は遠く、車でないと行けないし保護者の送迎でないと利用できず、予期せぬ事態には利用できず、そのため日常的に利用できないため。</p>
<p>民間学童が全くなく、小学校の学童以外選択肢がない状況である。</p> <p>桜木町は子どもが増えてきており、鶉沼第三小学校までの登下校時、すごい人数で細い道を歩いている、安全面からもスクールバスの運行も検討してほしい。</p> <p>鶉沼駅周辺はスーパー、コンビニが何もなく、帰り道にお惣菜等買って帰る先もないので商業施設も増やして欲しい。</p>

▶ 病児・病後児保育について（6件）

<p>現在の病児保育は、病院での診察後でないと預けられない。事前申請をしなくてはいけないという手間さがある。仕事で休めない状況の親には体調が悪い時にすぐに預けられる場が欲しい。</p> <p>祖父母が高齢で体調が悪く、また体力的にも預けにくい状況であるため、そういう保護者を助けて欲しい。</p> <p>未満児は保育料が高い。経済的に厳しい。未満児も無料にして欲しい。または、オムツやお昼寝布団などの準備や費用がかかるため、補助して欲しい。</p> <p>働く親のための保育所でもある。年末年始、お盆休みなどでも仕事で休めない時にお弁当の準備は大変なので、希望保育でも給食を提供して欲しい。</p>
<p>病児保育ができる場所の増加、あるいは預かり人数を増やしてほしい。また小学校の学区で、隣の小学校の境界にいる子どもは通学距離などをふまえ、小学校を選択できるようにしてほしい。</p>

病児保育の利用がしにくい。もっと預かれる場所や数を増やして欲しい。利用したくてもいつもいっぱい5年間で一度も利用できなかったことがない。

▶ 職場環境について (5件)

共働き世帯への負担軽減や子どもが安心して過ごせる環境であるとありがたい。

仕事復帰を考えると母親の負担が多いと感じるため、もっと仕事復帰がしやすいように小さい子供がいる世帯の働き方を見直して欲しい。

保育所、幼稚園で働く全ての方が有休を取りやすく、日中で仕事を終わらせて持ち帰る仕事も無い、負担の無い働きやすい環境作り。

▶ 悩みを相談できる場・交流の場について (4件)

AIによるQ&A

のびのび計測のときに保健師や栄養士等の方に、相談しても一辺倒な回答だけしかありませんでした。形式だけの相談窓口なら無い方がマシだと思いました。真剣に向き合ってくれる人材が窓口となるような人事にも力をいれて欲しいです。

新生児訪問の時に、1日あたりの体重の増え方が多いと言われ、その後ミルクや母乳のあげ方に悩んだ。もっと優しく、寄り添った対応をして欲しかった。

▶ こども館について (3件)

こども館は土日も空いているので、幼稚園に通わせている今も時々利用しています。ありがたいです。下の子もいるので平日よく利用しますが、祝日は幼稚園もお休みなのにすべてのこども館が閉館で少し困ります。できれば祝日は交代で開館するなどしていただけるとありがたいです。

現在子供は2人いて、3人目も…とは思いますが、やはり不安なのは経済面です。

幼稚園に入れたことでよく分かりましたが、幼稚園無償化とはいえ施設維持費等、結局結構な額が必要になるんだなと感じます。

▶ 配慮が必要な子どもの環境について (3件)

障害がある子の保護者(特に母親)は就労に関して超えなければいけないハードルがいくつもある。療育ありきで(もちろんその子にあった発達を促す為に必要だが)母子通園は必須、分離は短時間。保育園や幼稚園に通わせようと思っても、“前例がない”、“加配を配置する予算がない”、“看護師が常駐出来ない”等途方に暮れるしかない。“できない”から切り捨てるのではなく、一緒に打開策を考えてくれるだけでも、保護者は救われると思う。そんな相談員がいてくれると有難い。

▶ 行政からの情報提供について (3件)

定期検診や予防接種など、まとめて管理してくれるアプリがあると嬉しい。子供に合わせて、時期になったら通知してくれるような。

▶ ぎふっこカードについて (2件)

ぎふっこカードでは第3子からプラスに変わるが、特に優待されている感じが無い。ぎふっこカードプラスになった特典がもう少し増えると嬉しい。

▶ 行政について (2件)

子どもが減ることが分かっているのに、なぜ何も対策をしないのでしょうか？「次に子どもを産んだら」の事業よりも、今、子育てをしている人が楽になる事業をしなければ、また次産もうとはなりません。他の市がやっていないような事業が作られることを期待します。

▶ その他 (7件)

「父親の育児参加」という言葉が、質問項目の中にありましたが、その言葉遣いはとても違和感を感じます。シングル家庭等を除いて、育児は、母親と父親が共に協力して、それぞれが、その時に、できる事をしていくというのが大切だと思っています。

母親には、「育児に参加する」という言葉は使わないのに、なぜ父親には【参加】という言葉を使い、母親と対等な立場として扱わないのでしょうか？【父親は育児に参加するだけでOK、メインは母親が背負うもの】という意識感覚が、文面から表れています。

昨今、共働き家庭が多い中で、父親には参加だけしてもらおうような状況は、時代錯誤も甚だしいです。女親も男親も、1人の子どもの親として、対等であるべきですし、どうか母親に責任が重くのしかかるような表現は控えていただきたいです。

子育てがしにくい世の中。毎日、子供のことや、行事、地域の役員などにおわれている毎日。主人の実家に近く、主人の実家の義父、母は、自分たちの生活があり、孫の面倒をみたりすることもなく、別々の生活をしている為、何か子供を見てもらいたくても、気をつかって、お願いしないといけなく、見てもらえる環境でもない。もし、母方の実家だったら、見てもらえると思うが、そうでもない為、役員や行事や仕事、家事をしていると、正直、キャパオーバー。

自治会などの役員、学校でのPTAや幼稚園の役員なども強制感がある中。家のローンを抱えると、仕事もしないといけない。学校でも、学級閉鎖などにも対応するのは母親で、子育てには、うんざりな世の中だと感じました。

子供の検診、保健師さんがもう少し親身になって話しをしてくれる相手だといい。遠い検診場所に行くだけでも大変なのに、教科書通りただ説明だけの内容で毎回がっかりする。

小学生の保護者の自由意見

子ども・子育て支援に関連する主な意見を記載しました。

▶ 金銭面について、支援について (58件)

高校卒業まで医療費無償化 (13件)
<ul style="list-style-type: none">・高校卒業まで医療費を無料にしてほしい。・小学校のプールを屋内もしくは屋根をつけるなど、夏休みの猛暑でも行えるように、改修していただきたい。夏休みのプールがないと、子ども同士の遊ぶ機会も減り、家にこもってゲームをする子どもが増える気がする。・市民公園をもっと綺麗にしてほしい。・中学の制服のブレザー化が遅い(関市のように一斉に切り替えて欲しかった)
高校生も病気をするから、高校、大学生も医療費補助を受けたい
子供の医療費助成を18歳まで引き上げて欲しいと思います。定期的な歯科受診をして、歯の健康を守る事も健康の為に必要だと、未成年のうちにしっかりと自覚して大人になって欲しいと思います。それと歳が大きくなる事で抵抗力が付いて風邪等かかりにくくはなりますが、生理の問題やスポーツによる怪我等、通院が必要になる事があります。お金の問題で我慢することなく、未成年の子供達が適切な医療を受けれる事を望みます。
就学支援金など収入に関係なく出来るようになって欲しい。医療費を高校生まで支援して欲しい。
学費等の無償化 (11件)
学費、給食費を全て無償化してほしい。習い事の援助。
高校まで授業料(公立、私立とも)無償化などが実現したら保護者の負担も減り心のゆとりが生まれ子育てにも良い影響があると考えます。
国が子ども3人以上の家庭は大学費用を無料にするとの話です。我が家は子ども2人ですが、なぜ3人なのかわかりません。2人も3人も膨大な費用が必要なのには変わらないです。是非子ども2人の家庭にも支援をお願いしたいです。
小学校から大学まで無償化して欲しい
大学の授業料、3児以上の家庭は無料とかおかしい。無料なら全てを対象にするか国公立だけ無料にすべき。
母子に対してもっと支援をして欲しい。中学、高校への進学は制服が必須、自転車購入、今の支援では全然足りず途方に暮れるばかりです。なぜ、制服が必要なのかと疑問もあります。せめて高校無償化にしてほしい。
給食費の無償化 (10件)
とにかく金銭面で大変なので、病気などで休むのも業務的な問題もあるが、給料面でも減るので金銭的な問題もある。学級閉鎖はやむを得ないとは思いますが、非常に困るので選択できるようにして欲しい。給食費も無料な市もあるので、無料にして欲しい。
給食費が無料の市町村があるが、各務原市も無料にしてほしい。岐阜市の草潤中学校のような不登校児童のための学校をもっと増やしてほしい。
小学校、中学校の給食費を無料にしてほしい。登校距離が遠いので、バス通学にしてほしい。
物価があがり、生活が苦しい。給食費の無償化、子供世帯への経済的支援などおねがいしたい。教育格差がなくなるよう、学校で、スタディサプリなどの自主的な教育機会の提供をして欲しい。

多子世帯への支援 (5件)
3人目を考える際、一番気にしてしまうのが金銭面です。その次に3人を育てることへの精神的負担を考えてしまい、2人でいいかなという結論に至ります。3人以上の子供を育てている世帯へのあこがれや尊敬、少子高齢化に貢献したい思いはありますが、現実には厳しいなと感じています。
こどもが1人の世帯と、2人、3人、4人以上の世帯とで、手当などに大きな違いがないので、金銭的な負担も大きく、こどもを産む人が少ないのではないかと感じる。多子世帯への支援を充実してほしい。
子どもが沢山いる家庭への支援が手厚くなってくれるといいです。
所得制限の撤廃 (4件)
子供に関する所得制限をなくしてほしい。税金はとて高いのに補助はなし。高校無償化も対象外。子供は公立しか受験できない環境、節約のために塾に行くのも中3になってからだと言っています。子供が3人いるのに、扶養控除もなくこの理不尽な所得制限を今すぐなくしてほしい。
児童手当、高校の無償化等に関して所得制限をなくしてほしい 小学生の子供が安心して遊べる場を充実させてほしい
ひとり親世帯への支援 (3件)
子供の預け先、特にひとり親に対してサービスが少ない。学童の金額もひとり親でも収入が少ない人のみ減額で、中間層になると夫婦がいる家庭と変わらない。
その他 (12件)
ぜひ高校、大学等進学していく中で様々な支援があると、各務原市が子育てしやすい市となり人口が増えていくと思います。人口が増えれば市も潤いますよね…ぜひ効果的な税金の使い方をして頂きたいです。
金銭的支援をするのであれば子供の人数にかかわらずしてほしい。
子どもの習い事にかなりお金がかかる。この先中学高校となれば塾も高額になり、送迎や体調管理など親の負担は増える。 生まれてすぐの支援も有難いが、その先の方が支援してもらいたいことが多いと感じる。
子育て(出産～大学進学)に費用がかかりすぎる事に対する支援(全て無料で良いと思う)や子育てに関する有給や休業制度の拡充、就業時間(残業含む)の短縮、所得の増大。 部活への部外力の投入(先生の労働時間短縮も含めて)と充実 中学生、高校生の海外短期留学枠の拡大(希望者は全員行けるようにしても良いと思う)
保険適用外の歯の矯正の負担を少しでもしていただけるとありがたいです。
幼稚園や小学校、入学入園時にかかる諸費用がとて負担になったなあと感じています。制服、体操服、鞆、ランドセルこの辺りのお金がかからなくなると本当に助かります。幼稚園は無理でも小学校はもう少し減らせるのではないのでしょうか。お金を補助してくれるよりお金がかからない方がお母さん的には安心です。

▶ 学校について (29件)

PTAについて (5件)
PTAは任意と言いつつ強制的 心身の負担が大きくてストレス
学校のPTA等役員がクジで当たるのをどうにかして欲しい。入会は自由となっているが、入るのが当たり前という半強制状態だと思う。そもそも必要ないのではないかと感じる。負担が大きく、どうにかして欲しい。子供が放課後等、安心して体を動かして友達と遊べる場所が欲しい。
放課後の子どもの居場所 (4件)
学校終わりに学校で習い事ができないか検討願います。
放課後の小学生の居場所が欲しい。

<p>こども館は校区にないし、乳児が多く、小学生が行っても思い切りは遊べない。可児や小牧は体育館のようなホールを使えたり、学習の部屋がある支援センターもありますよ！小学校では、名古屋のトワイライトのようなのがいい。放課後こども教室の取り組みはいいと思うので、他の学年もたまにあるといいと思います。</p>
<p>不登校について (3件)</p>
<p>小学校、中学校で不登校の生徒が年々増加していると聞きます。各務原市には適応指導教室がありますが、利用するには在籍している校長先生からの許可が必要だったりと手続きが多く、それでは気軽に足を向けることができないのではないのでしょうか。もっと手続きを簡素にしていただけたら利用者も増えるのではないかと思います。</p> <p>また、不登校の子どもたちは外へ出かけるにも勇気が必要な場合もあります。そのような子どもたちが適応指導教室に通うのは、精神的に難しいのではないのでしょうか。フリースクールもありますが、各務原市にはその数はなく、あったとしてもフリースクールは費用が高いです。適応指導教室のひとつ前に当たるような、気楽に通えて社会復帰を目指す市の施設があれば、不登校の子どもを育てる親御さんたちの不安も和らぐのではないかと思います。</p>
<p>登下校の見守りについて (2件)</p>
<p>小学校の登下校に関して、通学班があるが、通学班で登校させたい場合は自治会に入会し、更に子供会に入会、しないと通学班に入れないのはおかしいと思います。後、朝の旗持ち当番も素晴らしいと思いますが、昨今、通学中の列に車が突っ込むなど交通事故が多くある中、就学前の子供を連れての旗持ちや妊婦さんなどが旗持ちするのは、とても危険だと思います。就学前の子供がいる家庭や妊婦さんはその期間は免除で、免除年数分を上乗せでしてもらおうとか、臨機応変に対応すべきです。いくら、子供と手を繋いでいるからと言っても、急に走り出したり、なきにしもあらず。</p>
<p>その他 (15件)</p>
<p>1クラスの子どもの数が多すぎます。授業参観に行くと、35人で教室はパンパンです。これでは、子どもはのびのびと過ごすことができず、トラブルが起きるのだと思います。国の基準の35人ではなく、市が独自に1クラスの人数を30人以下にすれば、子どもはゆとりのある教育を受けられると思います。</p>
<p>各務原市の公立小学校について、共働き世帯が増えている中、秋休みは家庭に大変な負担です。2期制のまま、秋休みをなくしてほしいです。また、熱中症でなくなる子どものニュースもある中、8月に授業日があるのはとても心配です。見直してほしいです。</p>
<p>学校の設備(トイレ、水道など)を新しくしてあげてほしい。</p>
<p>希望者に帰りのスクールバスを検討して欲しいです。夏場は熱中症が心配です。</p>
<p>小学校に入って、振替や早帰りが本当に多くてビックリでした。先生方の学校以外での負担が大きいのではないかと思います。</p>
<p>低所得者や支援級などに通っている子、3人以上子供のいる家庭への支援などは、よくあるがアレルギーの子がいる家庭には何も無い。給食費も限られたものみの返金で献立で半分以上持たせているがほとんどが給食費と持参の給食の材料費の2倍かかっている。簡単に安いもの他のものに代用が難しく、家計への負担は大きい。</p>
<p>勉強の理解が、早い子に、たいしてより進んだ勉強をできたり学校のなかで出来ない子に、合わせて我慢するのではなくより学べる環境を整えて欲しい</p>

▶ **施設整備、環境整備について (19件)**

<p>公園や自由に過ごせる場所 (15件)</p>
<p>ボール遊びができる場所を増やしてほしい。高学年になるとボール遊びが増えますが、近所のゲートボール場ではグラウンドがボコボコになるからやめてほしいと言われ、庭も狭いので思いっきり遊べない。結局、家でゲームになってしまいます。学校は遠いので放課後は行きません。</p>

ボール遊び出来る公園が少なく、子供たちが困っています。自由に外遊びさせてあげられる環境作りを望みます。
公園が多いのは助かるのですが、回転遊具が少ないので増やしてほしいです。市民公園の遊具も増やしてほしいです。
子どもがのびのび遊べる場所が減ってきてる。特にボール遊びができない。やってほしくない場所でもされても困るし、トラブルが起こるし危険です。看板等で知らせてほしいです。
子どもが安心して遊べる場所を充実させてほしい。(特に室内)近隣の小牧や春日井には無料や100円程度で利用できる室内遊び場があり、広々として室内だが思い切り体を動かせるのでそちらまで行って利用している。小学生のような少し大きい子も1日楽しく過ごせてとても充実していた。各務原市は公園などの外の遊び場は市民公園や学びの森などあり整備され充実しているが、室内で思い切り体を動かして遊べる場所がなかなかない。遊び創造ラボはそれに近いが値段が高いので、小学生までが低価格もしくは無料で体を動かして楽しめる室内遊び場を作ってほしい。
小学生が自由に遊べる場所が少ない。未就園児はたくさんあるが、例えば天候に関係なく体を動かせる、児童センターのような場所があると良いと思う。お金を配られることも嬉しいが、衣食住、進学に関しては、現物支給でお金の心配がないと良いと思う。
道路、交通 (3件)
ちょっと違うかもしれませんが、先日子供が自転車に乗っている際、堤防道路から川に落ちていってしまいました。大安寺川は子供達が、多く行き来する所です。ガードをつけて転落を防止してほしい。ずっと、怖いなと思ってみてましたが、我が子が落ちて、更になんでガードがないのかと怒りを覚えました。
その他 (1件)
中学生から上の子ども達の体験できることや場所が増えるといいです。部活をクラブ化する方向なら特に。

▶ 子育て環境について (14件)

こどもが小さいときから男女関係なく、家事育児について学ぶ機会をたくさん作るべきだと思う。女にしかできないのは出産だけなので。両方の親に自覚を持たせるためにも小さい頃からの教育が大事だと思う。そして、産後も気軽に預けることが出来るサービスの充実や出産時や産後の費用の減額が出産のハードルを下げると思う。 また、同時に周囲の子育て世代への理解も進むとよい。
子どもの居場所作りや、みんなが顔見知りで声を掛け合える、助け合える、地域で支え合う子育てが必要だと思います。親も子どもも楽しめる町作りを期待しております。
子どもへの費用の直接的な援助もそうですが、母親が家事、育児を担うべきという意識を変えられるように、仕事へ意識を向けられるように、家事代行などのサポートがほしい。在宅での就労、自営業を援助するようなサービスがほしい。
子供がいと、自分たちの時間がとれないと感じるようになった。 家を購入すると、任意ではあるが、自治会にはいらないといけないという、暗黙の決まり。自治会の会長やら副会長は、強制的。子供が幼稚園だと、役員やら、ボランティアで幼稚園に行かないといけない。暗黙な決まり。小学校では、PTA とかの色々な役員。毎年毎年何かの役員。役員ばかりや、子供の何かしらの行事(運動会や参観日など)の行事も多く、仕事をしたくてもフルの仕事はできない。 近くには、祖父や祖母はいるが、あまり頼れない環境。正直、疲れる時代。子供がいなければ、家も購入も考えなくてもいいし、お金の悩み。地域の悩み。子供の親御さんの付き合いもなく。自分のゆとりができると思う。正直、こんな世の中だと、若い世代も結婚もしたいと思わないと思います。

子供が複数いる家庭において、全員がそれぞれの習い事をしている場合、母親1人での送迎がとても大変で、さらに病院予約と重なるときいつも自分がもう1人いたら良いのになって思います。

本当は子どもと過ごす時間が欲しいのに、働かないと生活出来ないのので仕事をしており、一緒に過ごす時間が確保出来ない。仕事を終えて急いで家事をしながら宿題を見るのは困難。働く時間が短くても生活出来るようにして欲しい。

▶ 放課後児童クラブ（学童保育）について（13件）

昼食について（4件）

児童クラブでお弁当持参ではなく、お昼ご飯を出して欲しいです。近年酷暑ですが、持参したお弁当は冷所保存されません。食中毒の心配もありますし、長期休みの弁当作りは大変です。

うちは子供が3人おり、下の子は幼稚園に通っているの、長期連休中は子供達のお弁当を毎日3個作ります。早朝から弁当作りして、仕事して、帰宅後はワンオペの家事をしています。正直ヘトヘトです。家庭の負担軽減を検討していただけるのであれば、お昼ご飯を出してもらおうのが、とても助かります。どうかご検討をお願いします。

児童クラブの長期休暇中のお弁当のサービスが欲しい。もちろん有料で良いので！

短時間勤務でも利用したい（3件）

学童保育の基準が厳しすぎて、平日週3でパートに出たいが、週4勤務が条件なので、働きに出れず困っています。近くに祖父母がいないため、預かり先がありません。仕事の為、預かり先のない人は、誰でも学童へ入れると良いです。

その他（6件）

学童の長期休業のみ利用していますが、小学校が早帰りの日や振替休業の日に、学童が利用できると有り難い。

放課後、児童クラブに行き狭い部屋の中で過ごしているのをみると、両親共に就労しているからしょうがないと思いつつ、外で遊んだり友達の家に行って遊んだり自由に過ごさせてあげられないかと可哀想で申し訳ないと感じる。児童クラブの環境もそれぞれで、外で毎日遊ばせているところもあるが、今通っているところは狭い部屋に子供達を閉じ込めているようで、決していい環境とは思えない。また、習い事も色々させてあげたいが、残業が当たり前にある今の職場環境では、習い事もさせてあげられない。児童クラブの在り方を見直して欲しいし、児童クラブにしか行けない子供達も習い事ができる環境を作ってもらい、学校以外でも有意義に過ごせるようにして欲しい。

放課後児童クラブの値段が高い。託児所的な子供を預けられる所が増えると良い。低所得者の父子母子に手当て出しすぎ。

▶ 配慮が必要な子どもの環境について（8件）

支援級にも支援学校にも向かない学校不適合な児童に対する支援がほしい。措置が必要なレベルの事件が起きない限り欲しい支援につながらない。

発達障害の子が遊べる場所が少ない。そういう子が増えているので支援を増やして欲しい。 学校関係の役員や子ども会の役員等は障害者の家庭は免除してほしい。負担がかかるので大変です

発達障害の子に対しての療育施設の充実や専門家の相談窓口を設置していただけると、ありがたいです。また、発達障害はどんなものかというのを多くの方に学んでいただける場もあるといいなと思います。

▶ 行政について（6件）

もっと子供の政策に予算を当てて欲しい 近隣の市町村の好事例をとりいれてください

母親であってもこれからの時代、経済的な自立は必須であると思います。しかし、現実には子育てや家事に介護と各ライフステージで次から次へと予期せぬ事態に見舞われるため、仕事を続けるのが困難

だと感じる場面が本当に多いです。正社員はおろかパートすら難しく、結果としてやりがいや収入の減少→子供を授かることを諦めるというパターンも多いように思います。晩婚化により祖父母の立場の人も高齢化しており、母親が1人でダブルケアをするケースも少なくないです。様々な問題が絡み合っていて現在の少子化という問題が起きているため、その場凌ぎのスポット的なサービスではなく、あらゆる方面から母親を包括的に支援する施策が必要だと感じています。女性が家庭を持ちながらも安心して子育てができ、負い目を感じず堂々と働き、生き生きと自分の人生を歩むことができるようなそんな社会を目指してもらえたらと思います。

▶ 一時預かりについて（ファミサポ等）（3件）

ファミサポに興味があるが、フルタイムで働いていると説明会にすら参加できない。乳幼児向けの子ども館とは別に小学生以上が過ごせる場所が学区に一つ欲しい。

一時保育があずけたくても予約がうまっていたりしたので、もっと預けやすくなると良いなと思う。

▶ 職場環境について（3件）

近年、子育て家庭に対する支援策が充実し、様々なサポートを受けられるようになったのは大変ありがたい事だと感じます。

ただ、せっかく法律で育児休業等を推進していても、実際の職場では『取得しにくさ』が残っているように思います。その要因の1つに人手不足があり、休んだ人の分のシワ寄せが周囲にのしかかる為、どうしても休みにくさが残るのではないのでしょうか。単身者や子供を持たない世帯などへの負担増による不満の声もよく聞きます。

子育て家庭への支援だけではなく、企業や教育機関・職場など周囲のサポートに対する支援や優遇などのWIN WINな関係性ができると、より支援を受けやすい社会になるように思います。

▶ 悩みを相談できる場・交流の場について（2件）

子育ては、思った以上に大変で、特に、子供への褒め方、叱り方、勉強の教え方、関わり方で、どうしたらいいのか悩みます。気軽に行けて、教えていただける場所があったらなあ、と思います。

▶ その他（2件）

進路などでの情報が分かると助かります。

東海中央病院の病児保育の時間を拡大して欲しい。もう現在は利用する子どもの年齢ではないですが、利用していた時は、もっと時間を拡大して欲しかったです。普通の保育所は7時から可能だったりするのに、なぜ病児保育だけ8時からなのか？子どもが病気でも健康でも会社の勤務時間は変わりません。

小学校の1クラスをもう少し少人数にして欲しいです。明らかに担任の先生の手がまわってないです。学習参観で見た時、学級崩壊してるのかと思いました。これからも更に子どもの人数は減っていくと思います。急には無理だと思いますが、全クラス30人以下にして欲しいです。可能なら、20人以下がいいと思います。

V. 調査結果からみた課題

1. 総括

今回の調査は、次期計画策定にあたり、生活実態や要望・意見などを把握し計画のデータとするため「子育ての環境」「主な保育者とその就労状況」「定期的な教育・保育事業の現状と今後の利用希望」「育児休業制度の利用状況」「子どもをめぐる環境」について調査を行いました。

育児休業取得率は上昇しているものの、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」や「収入減となり、経済的に苦しくなる」等により取得していない理由が多いため、職場環境の改善や積極的に育児休業を取得できるための取り組みや雰囲気づくりを進めていく必要があります。

また、育児の孤立感や不安感を招くことがないよう、保育サービスの充実や父親の育児参加に向けた取り組みを一層推進していく必要があります。

2. 調査結果からみた課題等

◆育児環境について◆

・日常的に子育てに関わっている割合は「父母ともに」が70.6%と前回調査の59.7%より高くなっています。また、「保育所」や「認定こども園」の割合も前回調査より増加しており、「母親」の割合は減少していることから、母親ひとりに子育ての負担が集中することは減ってきていることが伺えます。

・今後、子育てについての相談先として希望することは、「子どもについて何でも相談できる総合的な窓口」(39.0%)、「専門的な機関が行う相談の場」(37.9%)、「同年齢の子どもを持つ者同士の相互の相談・情報交換の場」(34.6%)となっています。

前回調査と比較すると、「電話やインターネットなど匿名で相談できる場」の割合が増加していることから、相談方法のデジタル化など子育て世代のニーズにあった相談支援事業の充実が求められています。

◆就労状況について◆

・母親の就労状況をみると、就学前児童の子を持つ母親の76.4%・小学生の子を持つ母親の82.1%が就労しており（産休・育休・介護休業中含む）、前回調査と比べて、就学前児童・小学生の母親いずれも高くなっています。

・小学生のお子さんがある母親の1日当たりの就労時間は「4～5時間」が31.1%で最も多く、次いで「6～7時間」が30.4%、「8～9時間」が19.7%となっています。帰宅時間も「12～15時台」が34.0%で最も多く、次いで「16～17時台」が27.3%、「18～19時台」が21.6%となって

います。就学前のお子さんがある母親では、就労時間は「8～9時間」が31.4%で最も多く、帰宅時間も「18～19時台」が34.2%で最も多くなっています。

母親の帰宅時間と預かり施設の開設時間帯が概ねマッチしている状況ですが、女性の就労率は今後も高くなることを見込まれるため、ニーズに即した預かり体制の検討や育児と仕事を両立できるための取り組みを検討していく必要があります。

◆保育事業の利用について◆

・国が検討している「こども誰でも通園制度（仮称）」が創設されるにあたり、仮に月10時間まで定期的に利用が可能な場合は、「曜日や時間を固定せず、月10時間の範囲で自由に利用したい」（65.1%）、「毎週1回定期的に利用したい」（11.6%）となっており、定期的に利用できることより曜日や時間など関係なく自由に利用できることを求めているため、ニーズに対応できるよう整備を進めていく必要があります。

◆育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について◆

・育児休業の取得率をみると、母親は55.3%、父親は17.7%となっています。前回調査と比較して母親の取得率は18.5ポイント、父親の取得率は15.2ポイント増加しています。

父親が育児休業を取得していない理由として、「仕事が忙しかった」（52.4%）、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」（46.7%）、「収入減となり、経済的に苦しくなる」（36.3%）があげられました。

父親が育児休業を取得しやすい環境になりつつありますが、職場環境の改善や積極的に育児休業を取得するための取り組みや雰囲気づくりを進めていく必要があります。

◆こどもをめぐる環境のことについて◆

・子育てに対する感じ方をみると、就学前児童・小学生の保護者いずれも「楽しいと感じることの方が多く」と回答した割合は半数を超えています。

子育てを辛いと感じることが多いと回答した保護者は5%未満（就学前4.0%・小学生4.8%）とわずかでした。楽しいと辛いが同じくらいと回答した保護者も合わせ、子育ての辛さを解消するために必要なことを聞くと、「保育サービスの充実」（就学前46.8%）、「父親などの育児参加の促進」（就学前46.2%・小学生37.4%）、「子育てに関する相談や情報提供の充実」（就学前29.7%・小学生27.3%）、「子育て家庭の家事を支援する活動」（小学生24.6%）をあげています。

子育てに関する情報、保育サービスの充実の強化、父親などの育児参加を促す取組が求められています。

各務原市 子ども・子育て支援に関するニーズ調査報告書

発行日 令和6年3月

発行者 各務原市 子育て応援課

住所 〒504-8555 岐阜県各務原市那加桜町1丁目69番地

TEL:058-383-1555 FAX:058-383-6365

<http://www.city.kakamigahara.lg.jp/>